

「大学等における多様な海外・社会体験活動プログラムの実施状況」一覧表＝プログラム名称・内容、単位認定、効果、問い合わせ先

◎4年制大学(短期大学はナンバー511から)

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
1	北海道教育大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	学生交流協定を結んでいる協定校(13地域・国、32大学)に6ヶ月間から1年間に交換留学生として派遣され、現地大学で開講される授業を履修する。大学によっては、語学や文化について中心に学ぶ交換留学生向けのプログラムに所属することもある。	6か月以上～1年未満	留学	不問	留学大学で履修した科目を申請により、本学のいずれかの授業科目として認定されることがある。	100名以上200名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	事後アンケートで満足度が高かった。	現地派遣の前に研修等を行っている	国際課
2	室蘭工業大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	海外大学における留学	6か月以上～1年未満	留学	不問	派遣先大学で取得した単位を個別に認定する。	定めていない	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	国際交流センター事務室
3	小樽商科大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学は、13カ国19大学と学生交換協定を締結している。英語圏への交換留学生は各地にある本学の提携大学で語学そのもののみならず英語を使って経済、商学等の専門科目を学修する。一方、非英語圏の国へ交換留学に行く学生はまずはその国の言語そのものをメインとして学修することとなる。正規の授業履修以外にも、各大学で開講している日本語の授業でネイティブとしてアシスタントを務める。授業の一環として地元の小学校で算数の授業補助に出向くといった多様な経験をしている。それ以外にも現地の日本友好協会に加わってイベントに参加したり、本学で受け入れた後、本国に帰国した元留学生と交流するといった交流を幅広くおこなっている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター事務室
4	帯広畜産大学	国	交換留学	半年～1年の期間で派遣先大学(交流協定校)の通常カリキュラム科目を履修します	6か月以上～1年未満	留学	3、4、5、6年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務課留学生係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
5	弘前大学	国	HIROSAKIはやぶさカレッジ	英語力を向上させるとともに、現地での活動を通じ異文化間コミュニケーション力の向上を図るとともに、自文化を相対的に捉えられるような能力を養成する	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 多文化理解・共生	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	弘前大学学務部教務課教務グループ 国際教育担当
6	岩手大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	岩手大学と学生交流協定を結んでいる海外の大学に、岩手大学に在籍したまま一定期間留学できる制度である。2013年10月現在の対象校は12カ国、24校。学生たちは留学先の学校で主に語学や文化に関する授業を受講し、得た単位は帰国後申請すれば岩手大学の単位として認められる場合がある。滞在期間が半年から一年と長期間であるため、学生は異文化生活に時間をかけて浸ることができる。学校で語学の研鑽を積むばかりでなく、日常生活においても、見知らぬ土地で自らを律する力、主体的に行動する力が身についたり、現地の学生との交流で見識が広がり国際感覚が養われたりと、全てが学びの機会になるようである。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している JASSOの海外留学支援制度を利用	研究交流部国際課
7	東北大学	国	交換留学	本学学生としての学生生活の一部(1学期又は1年間)を海外の大学で過ごし、現地の学生と共に自身の専門分野の授業履修や研究を行う。また、課外活動を通じて日本にいては得られない様々な経験を積むことができる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	単位認定可能だが、必ずしも認定されるとは限らない	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 一部の学生に給付型の奨学金を支給している	東北大学教育・学生支援部留学生課
8	宮城教育大学	国	宮城教育大学交換留学プログラム	本学の海外協定校に留学し、外国語の語学力向上、異文化理解の資質形成を行う。また、現地の小中学校を訪問し、海外の教育現場を実際に体験する。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される場合もある。	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課大学院教務係留学生担当
9	秋田大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	現地病院での臨床実習プログラムに参加する。	1か月以上～2か月未満	留学	5年	認定されない	1名以上10名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	医学部学務課、医学部総務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
10	山形大学	国	短期派遣留学	海外協定校において、語学力の鍛錬および専門分野の受講。また、海外生活を過ごしグローバル力(語学力・異文化への理解力・適応力・創意工夫力等)の向上。	6か月以上～1年未満	留学	不問	各学部の教授会にて単位認定を協議し、その後認定	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学OB会による支援金付与	渉外部渉外課国際交流室
11	福島大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学の学生交流協定校へ、交換留学生として在学し、語学や専門分野の学習を、現地学生と同じ学習環境で行う。滞在中は、大学の寮で様々な国からの留学生との共同生活を体験したり、お互いの文化や言語を教えあったりと、同年代の学生との交流を通して、語学力や国際的な視野を身につけることができる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	学生の所属部局の判断による	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	語学力の向上や国際的視野の獲得	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 航空費の一部補助	総務課国際交流センター
12	茨城大学	国	海外への協定校への派遣プログラム	協定校での交換留学を通じて、語学や専門について学び異文化体験をし、自己のキャリアアップにつなげる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	各学部での判断	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学務部留学交流課
13	筑波大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	日本とは異なる文化、システム等を体験するとともに、希望診療科での診療の流れやカンファレンスへの参加、及びスタッフ等との交流など。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	科目を設置している	1名以上10名未満	語学力 問題発見力 問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	医学教育企画評価室(PCME)
14	群馬大学	国	海外学生派遣プログラム	1ヶ月の英語研修においては英語の授業の他、小学校や企業、研究室訪問を行う。1年間の交換プログラムでは授業を履修する他、リクエストがあれば日本語学科のティーチングアシスタントを行う場合もある。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	学科の判断により異なる	10名以上50名未満	語学力 交渉力 問題発見力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務部国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	主体性	忍耐力			
15	埼玉大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定校において授業を履修する。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力	主体性	忍耐力	GPAの向上、大学の就職率の向上についてデータを蓄積中。	現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	埼玉大学国際室
16	千葉大学	国	大陸間デザイン教育プログラム(CODE)	日本にいる時点では英語でデザインを学び、ショートプログラムを何回も経験して、海外に留学。セメスターで留学先を変わり2つ以上の機関へ留学する	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	200名以上	専門的な知識			参加者のTOEICの平均が100点近く上がった。毎年、セメスター以上の留学をする学生が10名程度になった	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	工学研究科
17	千葉大学	国	植物環境デザインプログラム(P-SQUARE)	多面的な都市環境において「植物による環境への貢献」を促すことができる技術に関する国際的な人材の育成を目的として、海外の協定大学に学生を派遣している。活動としては、受入先大学の授業・ゼミへの参加、日本人学生によるプレゼンテーションを含む学生交流プログラム、共同ワークショップ、学内施設および周辺の関連施設見学などを実施している。	2か月以上～3か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力	主体性	学問への動機づけ	帰国後参加者全員にアンケート調査を行った。すべての参加者が派遣目的(語学力の向上、視野の拡大、研究等)を概ね達成しており、8割以上の学生が就職や学業面で役に立っていると回答した。また、約半数の学生が奨学金がなければ留学しなかったとする一方で、より長期の留学を希望すると回答した。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している JASSO短期派遣奨学金を給付	園芸学部
18	東京医科歯科大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学の臨床教育プログラムの一環として、特に優秀な学生が選抜され、海外の協定校で臨床実習を実施するものである。	2か月以上～3か月未満	留学	6年	認定される	1名以上10名未満	語学力	問題発見力	問題解決力	事後報告会を開催し、現地の体験を本学にフィードバックする機会を設けている。派遣された学生から、本プログラムは非常に高く評価されていて、本学のカリキュラムの改善にも資することとなっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部教務課医学教務掛
19	東京学芸大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	留学先で各国や地域の特徴ある教育制度を学ぶとともに大学や学校現場において多様な人々と交流し、実践力を養う。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	100名以上200名未満	問題解決力	主体性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際課 短期留学係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
20	電気通信大学	国	体験留学(語学留学)	体験留学(語学留学)は、夏季または春季休暇中に実施され、本学の協定校のうち、オーストラリアまたは中国へ、4～6週間程度派遣留学するプログラムで、主たる目的は、現地での生きた語学を習得することである。平日は、毎日数時間語学の授業があり、本人の能力にあったクラスで、世界各国からの留学生とともに学ぶ。中国への派遣留学生は寮生活、オーストラリアへの派遣留学生は協定校の斡旋により、大学から近くにある一般家庭でホームステイを体験する。それらにより、平日の夕方や休日にも寮の仲間やホストファミリーと接することができ、言語の習得に加え、異文化体験を経験することができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	検討中	定めていない	語学力 異文化体験	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
21	一橋大学	国	グローバルリーダー育成海外留学制度	一橋大学が目指す「スマートで強靱なグローバルリーダー」を育てるための留学制度のひとつが「グローバルリーダー育成海外留学制度」である。ハーバード大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学、ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスという世界有数のトップ校に毎年それぞれ1名を半年から1年程度派遣する。派遣のための授業料等は本学が支援。世界中から集まるグローバルリーダー候補生たちと切磋琢磨し、国際社会に羽ばたく力を身に付けてもらいたい。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	平成25年度より開始	問題解決力 専門的な知識	平成25年度より実施	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 参加者全員に本学独自の海外留学奨学金を支給している	学務部国際課派遣担当
22	一橋大学	国	一橋大学海外派遣留学制度	一橋大学には、海外の大学間学生交流協定校との1年間の交換留学を主とする「海外派遣留学制度」があり、この制度を利用した数多くの先輩達が海外で勉強し、卒業後、社会の第一線で活躍している。現在18か国1地域の50大学と学生交流協定を結んでおり、これらの学生交流協定校への交換留学に際しては、留学期間中も一橋大学に授業料を納めることになるが、留学先の大学の授業料を納める必要はない。また、一橋大学の同窓会である一般社団法人如水会、明治産業株式会社及び明産株式会社からの寄付による奨学金を備えており、留学を志す学生にとって大変魅力的な制度である。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	50名以上100名未満	問題解決力 専門的な知識	派遣留学帰国生に対して、派遣留学報告書の提出を義務付けており、履修概要や留学成果の確認のほか、各種アンケート項目から多くの情報を収集している。プログラムに参加した多くの学生からは、様々な国籍を持つ学生同士のディスカッションや現地企業との共同プロジェクトへの参画など留学ならではの貴重な経験できたことに加え、専門知識の深化や視野の拡大ができたことなど、高い留学効果が得られた旨報告を受けている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 参加者全員に本学独自の海外留学奨学金を支給している	学務部国際課派遣担当
23	富山大学	国	オルレアン研修プログラム	オルレアン大学での48時間の語学習得・文化学習プログラムを受講し、2時間の試験を受ける。宿泊先はホームステイで、授業時間以外にも家族の一員として迎え入れられることによって、フランス人の生活を知り、異文化交流を実地に体験する。また、現地で学生生活に関するインタビューを行わせたり、異文化体験を考察させる課題を出して、分析・考察結果を帰国後口頭発表の後報告書にまとめさせたりしている。さらに、任意ではあるが、週末には遠隔地への旅行を計画・立案・実施させている。事前に準備授業を行い、十分な語学力を身につけさせると同時に、現地の歴史・文化・習慣についての予備知識を授ける講義もしている。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 問題解決力	帰国後アンケートでの研修そのもの及び準備授業に対する満足度が高かった。帰国後のフランス語検定の合格率が向上した。研修に参加した学生の就職率が向上した。志望する就職先への就職率が向上した。研修に参加したことが学習意欲の向上につながり、帰国後の授業への出席・参加状況が向上した。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	人文系支援グループ
24	富山大学	国	マーレイ州立大学短期留学プログラム	協定校での英語学習、現地学生と2人部屋での共同生活、現地学生との交流、アメリカの都市(ニューヨーク)での実地研修等	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	事後アンケートを実施した。英語力全般、リスニング力、リーディング力、ライティング力、スピーキング力、英語学習へのモチベーション、国際交流に対する関心等で効果が確認された。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学務部学生支援グループ留学支援チーム

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
25	金沢大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	「金沢大学派遣留学プログラム」は、金沢大学と交流協定を締結している大学等へ金沢大学正規学生を派遣し、1学期または2学期の期間滞在し、学習する機会を提供する教育プログラムである。学生は、この経験を通じて、以下の能力を高める。(1) 外国語を用いて自らを表現し、他者と折衝し、交渉する力(国際コミュニケーション基礎力)(2) 自らのアイデンティティを土台に他者と協働する力(3) 海外体験や国際交流活動をもとに自主的に思考・行動し、社会に貢献する力(4) 自らの足場である地域、国、社会を世界につなぐ力(5) 専門的な知識をもとに、将来日本や世界の諸問題を解決する力	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	奨学金の付与、現地派遣後に報告会を開催	国際機構支援室留學生係
26	金沢大学	国	海外への語学研修プログラム	「語学研修プログラム」は、協定校大学等で主に学期休み中に行う語学留学プログラムである。金沢大学の授業として履修することができる。参加学生は日本で事前研修・事後研修に参加し、危機管理能力高めるとともに、プレゼンテーション能力・コミュニケーションの能力を高める。留学先では、語学を受講し、実践的語学能力の向上、異文化理解を深める。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 交渉力 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 奨学金の紹介	国際機構支援室留學生係
27	福井大学	国	ハンブルク大学ドイツ語サマースクール	本プログラムでは、本学の学術協定校であるハンブルク大学(ドイツ)にて1)現地のネイティブ教員および日本人教員による集中語学コース、2)ドイツ人チューターが主導で行う補修、文化体験、遠足等に参加する。1)ドイツ語集中コースは、8段階の習熟度別クラスに分けられ、コミュニケーション能力を中心としたドイツ語力の向上を目指す。2)の遠足は、ヨーロッパの文化体験を目的とし、エルベ川周遊旅行やリューベックおよび近郊の保養地などを訪れる。参加者は日本、韓国、台湾の大学生であり、プログラムを通して参加者間の国際交流が促進される点も大きな特色の一つである。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 柔軟性	本プログラムではドイツ語集中コースに参加し、8段階の習熟度別クラスに分けられる。研修への参加により、終了時までに初中級修了レベルに到達することが目標となり、過去の参加者はそれぞれの到達度によりレベルが向上した。本学が構築したグローバルコンピテンシー自己評価において、プログラム参加の前後で能力向上が図られたと評価している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部国際課
28	福井大学	国	英語教育サブコース・国際文化系・言語コミュニケーション系海外研修プロジェクト	本プログラムでは、研修先であるオカナガン大学ケローナ校(カナダ)にて、英語コミュニケーション能力と国際理解能力のなご一層の伸長を目標とし、英語の集中訓練に加えてホームステイを義務化し、英語漬けの環境を実現する。午前中は、主としてリスニングとスピーキングを中心とした集中訓練が行われる。午後は、校外実習としてプロジェクトワーク・地元小学校や先住民の学校訪問・地元市民との交流が盛り込まれ、就職した際に必要となる経験を提供する。	1か月以上～2か月未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 忍耐力	研修先であるオカナガン大学ケローナ校(カナダ)から、各参加学生の英語コミュニケーション能力が当該研修を通じてどれだけ工場したかを示した評価表が発行される。過去の参加者はそれぞれの到達度により能力が向上した。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部国際課
29	山梨大学	国	国際人養成のための学習ステップアッププログラム	グローバル社会に適応した人材養成を行うために、欧州、北米及びオセアニアの交流協定大学との連携により、本学からそれぞれの大学に学生が留学し、学生の興味のある事業、本学では受けられない授業等を履修する。後日、本学で単位認定ができるものについては認定される。また、事業に加え、課外活動や寮生活を含む日常生活の中で語学力を向上させるとともに異文化への対応力を養う。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	プログラム実施中の定期的なレポートにより、特に語学面において顕著な進歩があることがわかる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流室

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような能力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
30	岐阜大学	国	岐阜大学サマースクール	グリフィス大学のGriffith English Language Institute (GELI) が提供する海外からの学生用プログラム「General English(基本的な文法、スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングにおけるコミュニケーション能力の発達を目的とする)」に申し込みます。レベルによるクラス分けについては、到着後に行われるプレテストの結果をもとに決められます。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 学問への動機づけ 国際経験	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 危機管理、支援サービスの導入	学術国際部国際企画課
31	静岡大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	1ヶ月以上の海外の協定校への派遣プログラムには次の3つがあり、大学の授業の他、異文化交流・異文化理解、ボランティアなどの機会を活用して活動している。①大学間・部局間協定に基づく交換留学制度 ②留学先で自分の専門又は興味がある分野の学部・専攻に所属し、語学や専門科目を学ぶ。③ILUNO協定校であるネブラスカ大学オマハ校(アメリカ)における英語の集中学習プログラム ④VSCP 協定校であるアルバータ大学(カナダ)における語学研修と大学の授業を履修するプログラム	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	留学後アンケートで満足度が高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流課
32	浜松医科大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	海外の学術交流協定校において、日常診療の現場で医師のあり方を体験しながら、医師として必要な最新の知識や技能を修得するとともに、患者中心医療、患者さんと良好な信頼関係を構築するためのコミュニケーション能力、倫理観、多職種連携によるチーム医療等について学習する。国内の医療機関とは異なる海外の医療現場の実態を体験することにより、視野を広げ、将来に向けて、国際的に評価される研究者・臨床医となる礎を築く。	1か月以上～2か月未満	留学	6年	認定される	定めていない	問題発見力 問題解決力 主体性	海外臨床実習報告会を毎年開催	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 保険を紹介している 大学後援会等から支度金を支給	学務課国際交流・留学生係
33	名古屋大学	国	大学の世界展開力強化事業キャンパス・アジア中核拠点形成支援	留学前の1年間に英語及び現地語、現地の法・政治に関する講義を事前教育として行う。長期休業の際には2週間ほどの研修で留学希望の国を訪れ、現地での生活や勉学を体験するとともに、現地の裁判所、検察、大使館、企業を訪問し、専門的な知見を深める。留学期間中には、現地の企業・法律事務所などでのインターンシップを行う。留学後は、現地大学で英語による専門(法・政治)の講義を受講するとともに、現地大学の語学センター等において現地語の習得を進める。なお、現地で取得した単位は帰国後、大学の卒業単位としてほぼ認定される。	6か月以上～1年未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 渡航費用は自大学負担、宿舎代・奨学金は留学先大学が負担	名古屋大学法学研究所(キャンパス・アジア事務局)
34	名古屋大学	国	大学の世界展開力強化事業ASEAN地域発展のための次世代国際協力リーダー養成プログラム	短期受入活動において、経済・経営専攻の学生には中部日本モノづくりの特徴を持つグローバル企業(トヨタ自動車等)と協力し、社員を交えてグループ討議、価値創造セミナーを提供した。また、法学専攻の学生には企業の他に、名古屋地方裁判所や岐阜県裁判所等の法律機関訪問、国際的に活躍する研究者(弁護士を含む)を迎えた集中講義、ホームステイプログラム等を提供した。短期派遣活動において、開発専攻の学生には事前講義、事前研修、研究計画の作成、2週間のカンボジア現地調査等を含む海外実地研修を実施した。長期派遣・受入学生は自分の専門分野に適した授業を履修し、それぞれの文化を送受信しながら留学生活を送っている。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	平成24年度日本法SEN Dショートプログラム派遣学生11名の英語能力は、各種英語試験のスコアにて確認した。複数提出した学生もいるため一部重複するが、TOEICの成績を提出した学生は7名で全員730点以上で平均点は847点。TOEFL-ITPの成績を提出した学生は2名で平均は503、iBT-TOEFLの成績を提出した学生は2名で平均は85、英検の成績を提出した学生は3名で、2級1名、準1級2名である	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が全額費用負担をしている	文系教務課国際開発担当

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
35	三重大学	国	海外語学研修	月曜から金曜日までレッスングループ44.5、個人22の合計66.5レッスン実施します。また、パッケージフレックスが週15レッスン(リスニング、コミュニケーション&グラマー(週10レッスン)+個人レッスン(週5レッスン)となっている。レベルごとに別れて、他の国からの留学生と一緒に勉強します。1クラス上限17名の少人数制。個人レッスンは、それぞれのニーズによって指導されます。また、グループ英会話クラス(21レッスン:自由参加 個人評価 無)があります。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 柔軟性	約1ヶ月の語学研修を通じてアップした英語力につき、担当講師からのコメントや評価を入手している。それにより方向で成績をつけ単位認定している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	三重大学学術情報部国際交流チーム
36	三重大学	国	海外協定校への派遣プログラム	交換留学は、語学力の向上だけでなく、国際化や文化・伝統の異なりを肌で感じ取る機会になるよう多くの学生に参加してほしいプログラムです。参加した学生は出発前よりも自己管理能力を身につけて帰ってきます。半年や1年間という限られた時間の中で、それぞれの目標をどう達成するかを考えるからだと思えます。また、留学先でさまざまな国の学生と交流し、違った価値観を知ることで自分の視野を広げ、帰国後にボランティア活動やインターンシップ等に積極的に参加出来るようになった学生も多数下ります。このように交換留学は学生にとって自分の考え方や生き方、危機管理などに大きな影響を与えております。	6か月以上～1年未満	留学	不問	単位互換される場合がある	定めていない	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	事後アンケートを今後実施する予定である	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 奨学金制度(交通費往復15万円まで支給)	学務部学生サービスチーム 留学生支援室
37	滋賀大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学に在籍したまま、本学と学生交流協定を締結している海外の大学(協定校)へ留学(最長1年間)させ異文化・社会とのコミュニケーション能力の涵養を重視し、相互理解の基礎力を有する人材を育成しようとするプログラム	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 コミュニケーション力	事後報告書で語学の向上はもちろんのこと、異文化体験交流を踏まえ異文化に適應できるコミュニケーション力が高まったなどの成果が確認できた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学術国際課
38	京都大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	海外の大学間学生交流協定校において、交換留学生として1セメスターから2セメスター在学し、外国語で学習する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	学生の所属部局の判断による	200名以上	語学力 主体性 発信力	短期留学を経験した学生で長期留学へ進む者も増えてきた。	現地派遣の前に研修等を行っている 授業料不徴収協定の締結、公益財団法人・独立行政法人日本学生支援機構への助成金申請の支援	研究国際部留学生課
39	京都工芸繊維大学	国	英国リーズ大学短期英語研修	英国リーズ大学が実施する国際的な英語研修プログラムに参加し、各自のレベルに応じたクラスで総合的な英語能力の向上を図る。また、大学が企画する多様なスポーツ、文化活動、観光ツアー等に参加したり、ホームステイ先の人々と交流することにより、国際的な視野を広げ、異文化間コミュニケーション力を育成する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	プログラム終了後に参加者に提出させた報告書において、リスニングやスピーキングの能力向上や、様々な国の人達との交流を通じ、これら国際的に経験を積むにあたって自信をつけることが出来た等、高い満足度を示した。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務課学務企画係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	自己管理能力	学問への動機づけ			
40	京都工芸繊維大学	国	豪州クイーンズランド大学短期英語研修	豪州クイーンズランド大学が実施する国際的な英語研修プログラムに参加し、各自のレベルに応じたクラスで総合的な英語能力の向上を図る。また、大学が企画運営する多様なスポーツ、文化活動、観光ツアー等に参加したり、ホームステイ先の人々と交流することにより、国際的な視野を広げ、異文化間コミュニケーション力を育成する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力	自己管理能力	学問への動機づけ	プログラム終了後に参加者に提出させた報告書において、リスニングやスピーキングの能力向上や、様々な国の人達との交流を通じ、これから国際的に経験を積むにあたって自信をつけることが出来た等、高い満足度を示した。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務課学務企画係
41	京都工芸繊維大学	国	KITグローバル人材育成プログラム短期留学プログラム	本学が学生交流覚書を取り交わした海外の協定校へ1 Semester～1年の間留学し、現地の学生とともに授業に出席し、単位を修得する	6か月以上～1年未満	留学	3、4、5、6年	留学先で取得した単位については、教務委員会で審議の上、本学の授業科目として単位認定を行う	定めていない	語学力	専門的な知識		効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際企画課
42	大阪大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学の協定校に1学期から1年の間、交換留学生として留学し、授業履修や研究指導を受ける。学生によっては、語学研修の受講、クラブ、地域コミュニティ、NGOの活動に参加、企業等でのインターンに参加する学生もいる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	200名以上	語学力	主体性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	大阪大学国際交流オフィス学生交流推進課学生交流推進係
43	大阪大学	国	エセックス大学夏季語学研修プログラム	事前に、IELTS受験、事前オリエンテーション、英語研修、危機管理オリエンテーションを受講する。また、エセックス大学にて、寮での生活を送りながら英語研修、IELTS受験を受け、帰国後に研修報告書を作成する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力	問題解決力	主体性	IELTスコアの向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	大阪大学国際交流オフィス学生交流推進課学生交流推進係
44	大阪大学	国	モナシュ大学春期語学研修プログラム	事前にモナシュ大学学生と交流学習会、事前オリエンテーション、プレイズメントテストを実施する。現地では、英語研修、オーストラリア文化学習、ホームステイを行い、帰国後に研修報告書を作成する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力	問題解決力	主体性	TOEFL等英語力スコアの向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	大阪大学国際交流オフィス学生交流推進課学生交流推進係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
45	大阪教育大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	本学は海外11カ国28大学と学生交流協定を結んでいる。交換留学制度において、本学の学生は海外の協定締結校へ留学し、各自の専門に応じて、開講されている科目の中から自由に選んで履修をすることが出来る。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 派遣年度の後期授業料を免除している	学術部学術連携課 国際係
46	神戸大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	各部署ごとの海外の協定校への派遣プログラムをまとめて回答しているため、本設問項目への回答は困難。	6か月以上～1年未満	留学	不問	所定の手続きを経て単位として認められることが可能	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 交換留学先大学での授業料等は納付不要	神戸大学学務部学務課
47	奈良教育大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	協定校で交換留学生用科目を履修するとともに、異文化活動を実施する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題発見力 問題解決力	平成26年度からはポートフォリオ制度を実施	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学生支援課
48	和歌山大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	協定校において、海外研修向けの授業を受ける。プログラムによってはホームステイにより英語等含む体験学習を行う。また、現地小学校訪問などを通して留学先の社会の実情を学んだり、協定校の学生と交流を行う。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学生支援課 国際交流室
49	和歌山大学	国	マレーシアプログラム	世界150ヶ国の留学生が在籍している、マレーシア最大の国際大学Limkokwing University of Creative Technologyにおいて英語を学び、ASEAN諸国の文化や宗教、社会などについて、「英語」というコミュニケーションツールを通して学ぶ。また、マレーシアの社会問題や開発に関する講義を受講したり、現地での見学や調査実習も行う。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	平成25年度より開始	語学力 問題発見力 問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている プログラムを企画開発した担当教員が指導、引率している	学生支援課 国際交流室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
50	島根大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	留学の目的をはっきりさせる必要があるため、単に外国に住みたい等の理由でなく、将来のキャリアパスを見据えた留学を考えることになる。また、留学をするためには越えなければならないハードルがいくつもあり一語学力をつけること、様々な手続きをこなすことなど一それらのハードルを越えることによって自分の成長が見えてくる。海外で生活することは、異文化を理解するだけではなく、日本文化を見直す良い機会でもある。文化といっても高尚なことだけではなく、日本で「あたりまえ」だと思っていたことが「あたりまえ」ではないことを自分の感性で感じてみることは今後の人生に大きな意味を持つこととなる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	国際交流課
51	広島大学	国	広島大学短期交換留学(HUSA)プログラム	広島大学短期交換留学プログラムは、1学期間又は2学期間の交換留学制度で、現在、24か国約70の協定大学へ、年間40人程度の学生を派遣しています。留学前は、派遣先大学への申請書類作成やビザ取得を含め、各学生が責任を持って準備するとともに、リスク管理セミナー等のオリエンテーションを複数回受け、海外生活に備えます。留学先では、語学研修や専門分野の教育・研究指導を受けながら、海外の学生と寮で共同生活をしたり、現地でボランティア活動やクラブ活動に参加したり、様々な経験をすることが可能です。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 学生への経済的支援のため、日本学生支援機構(JASSO)による海外留学支援制度(短期派遣)の奨学金を申請している	教育・国際室国際交流グループ
52	広島大学	国	英語文化系コース英国短期留学研修	本プログラムでは、参加する学生の多くが、大学卒業後には中学校・高等学校の英語教員になる。このような進路選択を考慮し、英語教員に必要な力を効果的に育む授業を行っている。授業は大きく(1)発音とコミュニケーションに関わるもの。(2)英語学・英文学に関わるもの。(3)英語教授法に関わるものに分けられる。これらの授業を通し学生は、英語の理解を深めるだけでなく、英語の教え方に対する関心や英語教員としての意識を高めることが出来るように計画している。また、授業だけでなく、ホームステイ先でのコミュニケーション・体験等を通して、高度な英語力と国際感覚等を身につけることを目的としている。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	広島大学教育学部学生支援室
53	山口大学	国	海外短期語学研修	・オーラル研修(speaking/listening)及びコミュニケーション能力を養成する。・ホームステイ又は文化体験学習を通じて文化や生活習慣について学び、グローバルな視野を培い国際理解能力を養成する。・大学キャンパスでの研修及び学生等との交流を通じて、積極性を伸ばし行動に生かす。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	一部認定されるものもある	定めていない	語学力 柔軟性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	学生支援部学生支援課留学生交流係
54	山口大学	国	山口大学経済学部英語能力向上支援プログラム	フィリピンの大学等において短期の語学研修を行っている。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	一部の学部を除いて単位認定している	10名以上50名未満	語学力	TOEICの点数向上	現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	経済学部予算管理係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
55	徳島大学	国	アメリカ 南イリノイ大学英語研修(夏期)	夏休み期間中の1ヶ月間、Southern Illinois University, Carbondale(サザン イリノイ大学カーボンデール校)のESLにおいて、様々な国籍の学生と共に英語の集中クラスを受講する。また、セントルイスへのフィールドトリップなどの文化体験活動にも参加可能である。研修期間中、大学の宿泊施設(アパート形態)に滞在し、他国の学生と触れあうことで、国際交流ができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	一部認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	研究国際部国際課
56	徳島大学	国	ディズニー 国際カレッジプログラム	米国バレンシア大学で留学生として学びながら、ディズニーワールドでインターンシップに参加	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	徳島大学研究国際部国際課
57	愛媛大学	国	研究プロジェクト参加型交換留学による国際的技術者養成プログラム	本プログラムは、派遣学生が留学を通じて異なる制度・習慣や文化に適應する必要性を理解するとともに国際感覚を涵養し、また帰国後の報告会などを通じてそれらの理解を周囲の学生と共有し、それらをもって社会資本整備分野において国際的に活躍する人材を育成することを目的とする。また、長期的には、プロジェクト研究参加型の短期留学による高等専門教育の実践モデルの構築に資するとともに、本プログラムを次年度以降に本学大学院学生の交換留学のモデルとし、またダブルディグリー制度導入へと発展させる予定である。	3か月以上～6か月未満	留学	3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 国際感覚の涵養	帰国後報告会の実施	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている JASSO留学生交流支援制度利用	国際連携支援部国際連携課
58	高知大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	協定校の交換留学プログラムにより、大学の授業受講のほか、文化活動スポーツ活動等の学校行事にも参加し、その国の文化や習慣などを体験する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	留学における学習成果報告	大学が一部費用を負担している	高知大学国際交流課
59	福岡教育大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	国際交流協定校における留学を行う。学生は語学学習の他に、自身の関心に応じた授業科目履修を行う。また、大学の授業参加のみに留まらず、小中学校及び高校等の教育施設見学やボランティアへの参加、現地の学生や他の留学生との交流などに積極的に参加している。定められたプログラムのみではなく、自身の関心に応じた様々な活動・経験が可能であるため、留学終了後には充実した留学生活の報告を受けている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	留学先で取得した単位について単位互換が可能	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	連携推進課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
60	九州大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	ゲームデザイン、社会サービス、ファッションやライフスタイル、クッキングなど様々なテーマで、PBLによるデザイン実習。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 柔軟性	なし	渡船費援助(限度額20万円)	芸術工学部学務課 学生係
61	九州大学	国	グローバル人材英語研修プログラム	英語研修(少人数制による双方向型、参加型クラス、プレゼンの実施)民間企業や研究機関、農場等に訪問するフィールドトリップ、ホームステイ、現在活躍している起業家や研究者による特別講義。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	TOEFL-iBT模試のスコアアップ、プログラム実施後アンケートの満足度が高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	農学部グローバル人材育成推進プロジェクトオフィス
62	九州工業大学	国	海外の協定校への派遣プログラム(国際先端情報科学者養成プログラム)	本学開学以来の理念である「技術に堪能なる土君子」の養成に基づき、世界をリードする高度技術者の養成を目標とし、平成21年度より本学情報工学部全学科横断で開設し、国際的に活躍できる素養を持った学生を育成している。各学科の教養・専門教育に加え、1～2年次での留学(欧米、オセアニアの英語圏の大学)および3～4年次での留学(アジア地域の非英語圏の大学が中心)に加え、実践力を重視した英語能力向上のための教育およびマネジメントや異文化コミュニケーションのための教育を行う。1学年最大25名を選抜し、少人数教育を行うことで教育効果を高めている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	本プログラムに参加する学生にはTOEICを定期的に受験させ、スコアの推移を測定している。平成25年度の学生のTOEICスコアは、入学時と比較して、1年生が平均52点、2年生が平均20点、3年生が平均134点、4年生が平均183点上昇している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	九州工業大学情報工学部学生係
63	佐賀大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	派遣留学先で自分の専門科目についての授業を現地語又は英語にて履修する。また、受入大学が提案する授業以外にも、地域社会の中で学び考えることを促す自主課題に1年間通して取り組む。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	事後アンケート、報告書による満足度、海外大学院進学者数	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	佐賀大学国際課
64	佐賀大学	国	モナシュ大学プログラム、アカデミックイングリッシュとオーストラリアのサステナブルツーリズムを学ぶ	語学研修だけではなく、2日間の「サステナブルツーリズム」プログラムでは、歴史、生物多様性の保護、生態系への影響、経済・社会文化への影響、ビジネスとしてのエコツーリズム等を学ぶ。フィリッパ島ネイチャーパークでは、自然保護ボランティア活動に参加、最ベンギンセンターでボランティア活動を経験する。また、モナシュ大学で行われているランゲージコネクション活動やjapanesen Clubへの参加など多様な機会がある。協定校のトロップ大学を訪問し、日本語授業に参加し現地学生と交流する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	事後アンケートで満足度が高かった。長期留学への参加者多数。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	佐賀大学国際課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
65	熊本大学	国	短期交換留学	海外協定校での語学プログラム、講義の履修、現地学生との交流、留学生同士の交流	6か月以上～1年未満	留学	不問	各学部での判断	定めていない	語学力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際戦略ユニット
66	大分大学	国	インターナショナル・ビジネス・プログラム(IBP)	半年から1年間の協定校留学を柱として、1年次より英語を中心とする専用科目等により、留学生への準備をすすめ、帰国後はその成果を報告し、これらを卒業論文等に反映させるように取り組み、卒業と共に本プログラムの終了を証する。半年以上の海外留学及びその前後での国際交流活動を通じて「国際化、情報化などに対応できる能力」関わる活動を体験する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	経済学部総務係
67	大分大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	語学研修、専門科目の受講、異文化体験等	6か月以上～1年未満	留学	不問	学部により異なる	定めていない	語学力 問題解決力 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 大学独自の奨学金を設けている	研究・社会連携部 国際交流課
68	宮崎大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	中長期間、海外の協定校に在籍し、現地の学生と一緒に授業を受ける。語学能力の向上や専門知識の修得だけでなく、日常生活や地域住民との交流を通して異文化への理解を深めることができる。	6か月以上～1年未満	留学	不問(3年、6年)	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	研究国際部国際連携課
69	鹿児島大学	国	海外の協定校への派遣プログラム	日本語と英語のコミュニケーション能力の向上が期待でき、それぞれが目指す実務経験が体験できる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 柔軟性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	鹿児島大学研究国際部国際事業課留学生係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
70	琉球大学	国	短期留学(派遣)プログラム	本学と学生交流協定を締結している海外の大学にて各自の専門分野を中心に学び、帰国後の学業に活かすことができるとともに、現地の言語または英語等による講義等を受講することで語学力を向上させることができる。また、現地で生活及び課外活動を通して、現地学生との交流や文化体験ができる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4、5、6年	認定される	100名以上200名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 奨学金(日本学生支援機構・琉球大学後援財団)	琉球大学学術国際部国際課
71	釧路公立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定校で、語学、文化体験、一般教養と専門の講座を受講する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	事務局総務課
72	名寄市立大学	公	海外協定校への派遣プログラム	東国大学語学研修センターにおける韓国語教育、文化体験など	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流センター
73	宮城大学	公	宮城大学海外交換留学プログラム	本学協定校において授業を履修するほか、コミュニティ活動、インターンシップ、日本文化紹介等の活動に従事する。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題発見力 主体性	TOEICスコアの向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 学費免除	国際交流・留学生センター
74	国際教養大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	学生は海外の提携大学での1年間の交換留学を通じて異なる文化や価値観に触れ、自分自身や母国について深く考えるようになり、たくましく成長して帰国する。これらの経験が育む「多様な価値観」と「人間的な成長」こそが世界を舞台に活躍する人材に不可欠な資質であり、本学が学生に1年間の留学を義務付けている理由である。	1年以上～2年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 忍耐力	当学では2004年の開学当時から学生に1年間の海外留学を義務付けており、企業からは学生の留学経験で身に付けた国際教養、優れたコミュニケーション能力等を評価され、就職率は毎年ほぼ100%となっている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 交換留学制度を採用しているため、当学に授業料を納めていれば留学先の授業料は原則として免除される。	国際センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
75	高崎経済大学	公	交換留学制度	交換留学生として一般学生と一緒に授業を受講するスタイルです。修得した単位を、本学で修得した単位として互換することができますので、本学の4年間の修業年限内で留学することが可能です。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学生グループ学生支援チーム
76	横浜市立大学	公	上海市内大学春期語学研修プログラム	上海師範大学附属の語学学校において、各学生のレベルに合ったクラスで中国語を学び、中国語力の向上を目指します。同時に、現地に約4週間滞在する中で、中国の文化や習慣に触れ、異文化に対する理解力や柔軟性を養えます。また各国からの留学生と交流することも豊かな国際感覚を身に付けることができます。滞在中は寮生活となりますが、家族と離れて自分で全て自分のことを解決しなければならない環境を経験する中で、自己管理能力の向上も期待されます。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定されない	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務・教務課国際学務担当
77	横浜市立大学	公	セメスター留学プログラム	米国、英国の大学において1セメスター又は1アカデミックイヤーの間、現地の学生たちと共に授業を受け、単位を取得する。また、異文化での学びや経験を通して、豊かな国際感覚を身に付けることができる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	問題解決力 主体性 専門的な知識	事後アンケート等で図る満足度の調査。取得単位数や成績、単位の認定状況等の精査。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務・教務課 国際学務担当
78	静岡県立大学	公	短期交換留学生交流	語学研修	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	企画調整室
79	愛知県立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	語学の研修だけではなく留学先の地域や文化に関する研究を学生主体で行えるようなプログラムになっている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 状況把握力	アンケート結果によると学生の満足度は高く、また帰国後、国際交流に係る活動へ積極的に参加するようになっている。尚、外国語学部の学生については留学前後の語学検定試験により効果測定ができる。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
80	愛知県立芸術大学	公	海外協定校への派遣プログラム	大学または学部間の学術交流協定により、海外協定校に一定の期間(1学期間または2学期間)滞在して、協定校が開講している授業や協定校の教員によるレッスンなどの実技指導を受けることができる。	6か月以上1年未満	留学	3、4年	認定されることもある	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している 奨学金	学務部
81	名古屋市立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	○協定校留学制度とは、本学が大学間又は学部間交流協定を締結している大学に留学するもの。交換留学と派遣留学の2種類があり、学内選考を実施し、留学する学生を決定。プログラムによっては渡航費の補助をする。派遣期間についてもプログラムにより異なる。 ・交換留学 本学と協定締結校の双方が相互に学生を交換し合う制度。留学先大学で学費が免除される上、各学部・研究科の単位認定基準に基づき、留学先大学で修得した単位が本学で修得した単位として認定される。 ・派遣留学 本学から協定締結校に学生を派遣する制度。派遣学生は、学内選考により決定。プログラムにより、派遣期間、学費免除の有無、応募資格等が異なる。	3か月以上6か月未満	留学	不問	学部により異なる	定めていない	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	事務局学生課国際交流係
82	滋賀県立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	学生は交換留学協定締結校に交換留学を行い、正規生とともに専門講義を履修する。	3か月以上6か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際化推進室
83	大阪市立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	協定校において、様々な国から来た留学生とともに語学等を学習するとともに、パーティーやイベントへの参加を通じて現地学生との交流を図る。	6か月以上1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	国際センター
84	大阪府立大学	公	大阪府立大学 交換留学プログラム	学生交流や議論を通じて価値観や文化の違いを理解し、自分の専門分野を軸としつつ、英語+ONEの外国語運用能力、課題解決力、国際社会の中での日本人としての自分を見つめなおす力を身につける。	6か月以上1年未満	留学	2、3、4、5、6年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 問題解決力	帰国後、留学報告書を提出させ、留学の前と後の意識の違いなどについてアンケート調査を実施している。概ね、満足度は高い結果が出ている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 参加学生のための渡航費助成制度を設けている	国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力に身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	主体性	専門的な知識			
85	神戸市外国語大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	英語圏については学部留学を義務付けており、現地の大学生と共に各自の興味・関心に応じた専門分野の知識を修得する。その他の言語については学部もしくは大学付属の語学コースにおいて言語や文化、歴史や経済など幅広い分野の科目を修得する。プログラムの中で、学生はインターンシップや地域コミュニティなど、様々な活動に積極的に参加している。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力	主体性	専門的な知識	参加者には帰国後アンケートへの回答を義務付けており、プログラム満足度は非常に高く、「留学後の授業へのモチベーションが向上した」といった回答を数多く得ている。また、語学試験の成績優秀者や就職内定者等における留学経験者の割合を調査しており、高い数値が出ている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
86	和歌山県立医科大学	公	基礎配属・臨床実習期間における留学	留学先の大学で、それぞれの学生が希望する研究室に配属され、医学分野の国際水準の教育を受けることができる。コミュニケーションは共通言語である英語で行われるため、英語力を高めることができる。研究室の構成員は、英語を母国語とする者や英語圏以外からの留学生と様々であり、多様な文化に触れることもできる。	1か月以上～2か月未満	留学	2、6年	留学期間以外の実習と併せて単位認定	1名以上10名未満	語学力	専門的な知識	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
87	島根県立大学	公	異文化理解研修	このプログラムは、アメリカ、ロシア、中国、韓国の4か国の大学で約1か月の海外研修によって語学や文化を集中的に学習し、多文化主義について理解を深めることを目的としている。研修期間中は、現地の教員による授業が行われ、現地の教職員や学生、民間人と交流を持てるプログラムが企画されている。博物館や歴史的建造物の見学等の地域文化学習も研修に含まれており、短期間で言語のみならず文化について深く学ぶことができる。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力	交渉力	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 参加学生全員に研修に研修費用の一部を助成している	教務学生課
88	岡山県立大学	公	語学・文化研修	語学研修、文化体験、ホームステイ	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力	交渉力	問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	事務局総務課企画広報班
89	尾道市立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	実践的な語学力の養成および習得、異文化との交流、現地企業訪問	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力	自己管理能力	チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	尾道市立大学 国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
90	県立広島大学	公	シェフィールド大学英語教育センター夏期英語プログラム	多国籍クラスでの英語授業の他、ビジネス英語やイギリスの文化等を学ぶ。また、週末の課外活動(オプショナルツアー)では、他のクラスの学生と一緒にイギリス各地をめぐる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	総合教育センター 留学生支援担当
91	広島市立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	学術交流協定を締結している大学に派遣され、派遣先の大学におけるカリキュラムの履修や研究への取り組みのほか、寮等での集団生活や課外活動を通じた学生との交流など、知識・語学力が向上し、国際理解が深まる体験をする。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 柔軟性	満足度等、数値等で客観的に効果を測定できるデータは含まれていないが、プログラムに参加した学生を対象にアンケートを実施し、プログラムに関する意見等を収集している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	広島市立大学国際交流推進センター
92	下関市立大学	公	外国研修	夏季休業期間を利用し、本学協定校付属の語学学校等で英語を集中的に学習する。また、その国の文化や歴史について理解を深め、大学の授業では、会得し難い経験をすることができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
93	下関市立大学	公	派遣留学	この派遣留学プログラムの目的は、語学の学習だけでなく、参加学生の専攻である経済学に関することを留学先の大学で修得することである。約一年の留学期間では、最初の半年の学期においては、語学の学習に重点を置きながら主に、リスニング力と読解力を向上させた上で、次の半年の学期においては専門課程の授業を集中的に履修し、専門知識を深く得られるようにしている。留学先においては、貿易、金融、会計、国際経済情勢など経済学に関する事項を中心としながらも、文化や文学、応用言語学等の幅広く専攻出来るプログラムに準じて、双方の留学プログラムに関する協約を結び実施している。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
94	山口県立大学	公	日本語TA	本学と学術交流協定を締結している大学へ日本語ティーチングアシスタントとして派遣し、現地大学での日本語教育授業の先生の補佐をしたり、授業を受け持つこともある。そのことにより収入を得たり、先方の大学から助成金を受け取ることもできる。時間のある時は、現地での授業を受講することもできる。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	国際化推進室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
95	山口県立大学	公	交換留学	このプログラムで海外にある学術交流協定締結大学に派遣され、現地の大学の授業を現地の学生と受講したり、語学のクラスを受講して、専門知識を深めたり、語学を向上させることができる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	語学力の向上。TOEICの得点が大幅に伸びたり、語学検定のより上の等級の試験に合格している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している	国際化推進室
96	高知工科大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定校に、交換留学生として留学するプログラム。原則、単位の取得を目的とし、専門科目を英語で学ぶことで、語学力と専門力を高める。学生の所属・専門に合致する講義を個別に選んで履修し、現地の学生と一緒に受講する。講義は全て英語。座学に始まり、研究、実験などの実践的なものから、現地の言葉を学ぶ語学の授業まで、様々な種類が履修可能。大学の寮もしくは大学近くのアパートに住み、現地学生のバディ(学内パートナー)や職員のサポートを受けながら生活する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	履修した講義内容により判断	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	平成25年7月に効果測定を始めたため、結果が出ていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 保険を一部負担している	国際交流部
97	福岡県立大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	語学を一から学ぶためのプログラムであるが、後半からは現地学生と共に各自の専門に応じた科目を受講できる。また例年、派遣先大学において、各大学が用意した行事に参加し、現地学生との交流や異文化体験を行う。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 コミュニケーション能力	意識調査を2014年2月から開始したため、調査中である。	大学が一部費用を負担している 情報提供、相談に応じている。	学務部 学生支援班
98	熊本県立大学	公	海外協定校での国際感覚育成のための留学生継続派遣プログラム	海外協定校において、英語力の飛躍的向上とともに、本人のキャリアビジョンに応じて、教養科目や人文系、自然科学系、社会学系など多様な専門科目を、多様な国からの学生が集まる中で学ぶ。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学生支援課
99	沖縄県立芸術大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	沖縄県立芸術大学と海外の協定校(10校)との協定に基づき、専門的な分野に関する学術交流を図る。派遣された学生は各々の目標達成に向けて研究を深めていくこととなる。具体例としては「版画技術を習得し、タイの芸術や文化から得たことを形として表現する研究」「台湾の少数民族の踊りの研究」等	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	条件により認定可能	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 日本学生支援機構奨学金の案内	教務学生課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
100	名城大学	公	国際交流協定に基づく留学	交換留学制度の派遣プログラムでは、本学が協定を締結している海外の大学へ1年間の留学を通して、語学力の向上をはじめ、国や文化、習慣等、様々な違いに直接触れ、国際感覚を養うという異文化間における相互理解を深めることを目的とします。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生部学生課国際交流係
101	旭川大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	韓国水原大学校にて、附属の学生寮に入寮し、語学(ハングル)の授業受講する。また、韓国文化の多様性を理解するフィールドワークを受講する。期間は、半年から1年間。オーストラリアモナッシュ大学にて英語力向上プログラムを受講。語学力別レベルに分かれた英語授業をEラーニングも導入され受講。期間は約5週間。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	事務局(国際交流委員会)
102	函館大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学留学の期間中に、仕事体験やボランティアのプログラムが組み込まれている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	総務課
103	藤女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外協定校において、1年間の派遣留学生は自由に学部授業を選択することができ、その中にインターンシップを行う授業がある。これは働くとは何かなどを講義で学んだ上で、実際に地元の企業にて職業体験をするものである。語学や知識を身につけるだけではなく、周囲と協調しながら働くことができ、現地の職業文化についてもより深く知ることができる。また、長期休暇中に実施される5週間の短期研修において、任意でボランティアに参加することができ、過去には洪水被害にあった地域での清掃や子供たちに折り紙を教えるという活動に参加している。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	国際交流センター
104	北星学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	交換留学は、半年または1年間の期間、海外の提携校に本学派遣留学生として滞在するが、事前のオリエンテーション等しっかり行うことで、目的意識を持って留学する。派遣先大学では語学力に応じて、アカデミック科目や大学附属語学学校のプログラムに参加し、可能な場合は、ホームステイプログラムに参加する。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	留学先で修得した科目に基づき単位認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
105	北海学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校に学生を派遣し、カナダではEAPと専門科目を、韓国では韓国語や専門科目を受講する。生活はホームステイを体験することにより、現地の方々との触れ合い、文化体験を行う。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 交渉力 主体性	毎回事後アンケートに協力していただき、概ね好評を得ている。プログラムに問題等が判明した場合は、速やかに各協定校専門委員会で議論し、対応している。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	事務部庶務課
106	北海道商科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	2セメスター時(1年次後期)の約半年間、姉妹提携校(中国・韓国)へ短期留学するプログラムです。語学力の向上はもちろん、異文化生活を通じて自身の価値観を広げ、留学生寮に入り集団生活を通じてコミュニケーション力やリーダーシップ、協調性を養うことが目的のプログラムになっています。	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター
107	北海道医療大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	このプログラムは国際性をもつ医療人を目指し、語学力(英語力)の向上と海外の文化に触れることを目的とした海外語学研修プログラムである。研修先として、カナダのアルバータ大学(夏季休業期間中)及びオーストラリアのモナシュ大学(春季休業期間中)と大学間提携を結んでおり、それぞれ21日間の行程でのプログラムを組んでいる。現地では、ホームステイを基本とした英語研修のほか、大学、医療・福祉施設の見学や大自然を満喫するさまざまなアクティビティーを実施している。また、研修には本学教員が同行し、安全確保に対し十分な配慮を行っている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	配当されている英語科目への単位振替を認める学部もある	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 学校法人の後援会が一部費用を負担している	教育研究推進課
108	北海道工業大学	私	フィンランドオウル総合科学大学への交換留学	ホームステイや寮生活を通じて、その国の文化や生活について理解を深めるとともに、語学を学ぶ。	2か月以上～3か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 文化交流	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生支援課
109	北海道工業大学	私	海外語学研修(アメリカポートランド州立大学)	ホームステイや寮生活を通じて、その国の文化や生活について理解を深めるとともに、語学を学ぶ。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
110	北海道文教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	交換留学生として一年間、海外の協定校に留学	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学務部留学課
111	青森中央学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	現地語や英語の研修をするとともに経営法学に関連する科目を履修し、別角度からの学びを行う。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	留学後の報告書で、高い満足度が示され、以降の学業や課外活動での積極的な参加が見られるようになった。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流課
112	石巻専修大学	私	石巻専修大学交換留学生派遣プログラム	協定に基づき、学生が留学先(海外)の大学で修得した単位は、30単位まで認定される。留学先の学生・教職員等との交流も活発に行われている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 協定により留学先での学費は免除	事務部事務課(学務担当)
113	仙台大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	各テーマに沿った海外での体験(特に文化・教育の違い)を通じて日本を知る。また、語学の重要性を再認識させ、問題解決能力などをグローバルな視点から養うことができる。主な派遣先:派遣先大学の授業へ参加するほか、野外・スポーツ活動等を通じて外国教育体験をさせ、グローバルな視点から日本との違いを認識させる。派遣前研修:語学研修を相当期間実施する。派遣御検収:留学発表会を通じて各自の体験をレポートさせるほか、中長期留学へ繋げる指導を行う。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	事業戦略室
114	仙台白百合女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	ホームステイや大学の寮で海外での生活を体験しながら安心して語学が学べます。在籍留学という形態をとるため、留学中に認定された単位は卒業単位の一部として認定され、ほとんどの場合、留学期間を含めて4年間で卒業できます。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
115	東北学院大学	私	カナダ語学研修	カナダ・バンクーバーにおいて語学学校に通学し、英会話力とTOEICのスコアアップを図る。現地での職場訪問の機会も提供されており、カナダ人の家庭にホームステイをしながら、直に語学や文化を学ぶことを目的としている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	報告書提出を義務付けており、それにより効果を確認している。報告書によると満足度の高さとともに多くの学生から「異文化圏の学生たちと交流することにより、英語学習への意欲だけではなく、世界への興味が高まり視野を広げることができた」という回答が得られている。	企業、NPO等の外部支援機関に委託している	国際交流部国際交流課
116	東北学院大学	私	オセアニア語学研修	オーストラリアとニュージーランドの大学などで受講し、語学力向上を目指すことを目的としている。インターシップでは、旅行代理店、ホテル、幼児教育補助、日本語教師アシスタント、環境保護など様々な分野から希望の体験先で活動を行う。滞在中は現地の一般課程にホームステイし、直に異文化と接することができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	報告書提出を義務付けており、それにより効果を確認している。報告書によると満足度の高さとともに多くの学生から「異文化圏の学生たちと交流することにより、英語学習への意欲だけではなく、成果への興味が高まり視野を広げることができた」という回答が得られている。	企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	国際交流部国際交流課
117	東北学院大学	私	アメリカ研究夏期留学	アメリカのペンシルベニア州にある2つの協定校を訪問しながら、広くアメリカの歴史・社会・文化などに関する知識を深めるものである。協定校で実際に講義を受講し、現地の学生と交流をしながらの寮生活、ホームステイ体験を通じて異文化を学ぶ。また、プログラムの最後には、ワシントンD.C.やニューヨークに立ち寄り、自分たちで計画した場所へ訪問する。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	アンケート調査及び報告書提出を義務付けており、それにより効果を確認している。その結果からは、全体的な満足度の高さが感じられる。このプログラムを機に更なる学習に対する意欲が高まり、また、現地の学生やホストファミリーとの英語でのコミュニケーションを通じて自分に対する自身を持つことにも繋がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流部国際交流課
118	宮城学院女子大学	私	海外研修(フランス)	学生は語学学校でフランス語の授業を受けるとともに、ホームステイを体験する。また、授業のない週末には教員引率の上で近郊への小旅行を行う。日本にいたときに事前に準備しておいたフランス語による日本文化の紹介を、語学学校の教職員やホストファミリーを対象に行う。班別にプログラムを組んで観光する。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている	国際文化学科
119	宮城学院女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先の語学、文化の学修にとどまらず、学内のボランティア紹介のプログラムに参加して、本の読み聞かせや福祉体験などを体験できる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	英語圏への留学の事例で言えば、語学力の向上について半年の留学でトールスコア20～40点の改善、1年留学で30～60点程度の改善がみられる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
120	茨城キリスト教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先の大学生と机を並べて学び、語学力を向上させ、異文化体験を通して日本人としてのアイデンティティを自覚するよい機会になるとともに国際理解を深める機会を提供する。インターンシップを体験できるプログラムもある。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	プログラム実施前と実施後に語学能力の検定試験を受験、成績の向上がみられた	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際理解センター
121	茨城キリスト教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	春の長期休暇中に提携校の語学クラスで学び、ホームステイや学生寮生活、フィールドトリップなどで異文化体験のチャンスがある。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際理解センター
122	常磐大学	私	交換留学プログラム	アメリカの学術連携協定を結んだ大学の正規課程ないし付属語学学校(英語コース)に入学し、英語のスキルを実践的に向上させると同時に、提携校の学生およびその他世界各地から集まる留学生等と活発に交流し、グローバルな視野を身につける。また、ホームステイや寮生活を通じて学内外の活動にも積極的に参加し、様々な異文化体験を通じて、自己表現力、他者への理解力を含むコミュニケーション能力を強化する。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流語学学習センター
123	流通経済大学	私	英語研修・実務体験プログラム	JTB Educational Institute of Canada (JEIC) 本社ビルにて、30日間の英語研修及び実務研修プログラムを体験する。研修前半は英語研修が全11レッスン(1レッスン3時間)、研修後半は70時間の実務研修を行う。実務研修には、JTB空港施設デスクや輸送ビジネスオフィス等の視察研修やJEICにてカスタマーサービスやアカウンティング等の実務も体験する。研修最終日には、研修生一人ひとりが観光プレゼンテーションに取り組む。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 問題解決力	研修後のアンケートによると全体に満足度が高く、人と人との繋がり大切さ、自分の知らない世界が広がり、新しい価値観を発見した等研修生全員に自己啓発を高めるような回答があった。参加者全体のGPAについて、研修前と研修終了後と比較した結果、成績の向上が見られた研修生が半数いた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	国際交流センター
124	白鷺大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外の交流協定校に半年～1年間交換留学生として在籍する。語学の学習に加え、現地大学の様々な講義を受ける。また現地人との交流を通して異文化理解を深めている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 交渉力 問題解決力	留学前と留学後のTOEFLスコアを比較しており、得点数の上昇が見られる。また帰国後アンケートにより語学力向上のほかに精神面でも成長が感じられる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
125	東京福祉大学	私	アメリカ夏期短期研修(ニューヨーク・ボストン4週間)	フォーダム大学やハーバード大学の学生寮に滞在し、アメリカの進んだ社会福祉、心理学や保育、医療、教育に関する特別講義を受講。現地の多種類の福祉、保育の施設・機関、学校等を見学し、ボランティアの体験ができるプログラムを用意している。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	単位認定される講義が、アメリカ文化と言語I・II、英語コミュニケーションI～Vなどあり、GPAの向上につながる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している 優秀な学生に参加費用の一部を奨学金として免状	教務課
126	跡見学園女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(海外語学研修)	海外語学研修では夏期・春期の休業中に1か月程度の研修を実施している。これらのプログラムが目指すのは、語学力のスキルアップや専門分野の学習だけではなく、実際に見て、聞いて、現地の人々と交流することによって、文化の多様性への認識と、広い世界観を獲得してもらう事を目的としている。語学の授業だけではなく、小旅行や歴史学習等、文化を知るアクティビティも体験できる充実したプログラムとなっている。なお、夏期の研修に関しては、単位を認定している。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	海外研修参加者には事後アンケート・レポートを課しており、プログラムの満足度や研修を通じた自己の変化等を調査している。集計結果として、プログラムに対する満足度は非常に高く、語学力のスキルアップのみならず、自己のキャリア形成に対しても意識が変化したと回答した学生が多数であった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている	事務局国際交流課
127	埼玉医科大学	私	学生相互交換留学制度	提携校である海外大学の附属病院において4週間の臨床実習(BSL)を行う。	1か月以上～2か月未満	留学	5、6年	認定されない	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
128	十文字学園女子大学	私	海外への協定校への派遣プログラム	主に語学集中コースに入学し、英語・中国語などを学ぶ。ホームステイや寮生活を通して、各国の文化や習慣なども学ぶことができる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 主体性 異文化理解	プログラム実施中、実施後に報告書の提出を義務づけており、プログラム参加者の語学力、主体性の向上などが確認できた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流支援課
129	城西大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	基本的に英会話を中心とした語学研修をおこなう他に、現地企業見学でアメリカの企業現場を体験したり、現地の小・中学校で日本の文化を紹介したり、病院の薬剤部で医療・保健の環境や取り組みを見学したりします。また、ホームステイではホストファミリーとの触れ合いの中で生きた英語を学べるのはもちろんのこと、外国の生活スタイルや文化を理解することで幅広い視野を身につけることができます。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	語学力の向上、国際感覚を身に付けた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際教育センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
130	駿河台大学	私	駿河台大学海外語学演習	現地での語学研修と小旅行等を含む文化的体験	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 主体性 コミュニケーション能力	長期(半年以上)留学の派遣者へアンケートを行った結果、このプログラムへの参加者が1/3程度含まれていた。まずは、短期の語学研修を経験し、そのことによってさらに長期での留学を希望し、長期留学へ応募してくる学生が増えている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 奨学金を支給している	学務部国際交流課
131	駿河台大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校で正規の学生同様の授業を受講。また、同時に協定校附属機関の語学学校での語学研修。その他、現地での他国からの留学生との交流、現地在住の日本人との交流、旅行等学生が希望することはできる限りかなえられるよう大学として支援している。派遣先によりホームステイ等もある。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	協定校での取得単位を本学の単位に読み替えている	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	英語圏へ留学する学生には派遣前と派遣後に英語能力試験の受験を義務付けている。それによって、個人差はあるものの、派遣後には確実に点数がアップしているため、学生にとっては今後のモチベーションに繋がりが、大学にとっては、実績にもつながっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 奨学金を支給している	学務部国際交流課
132	聖学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	法人と提携する大学で、1学期～1年間の留学中に留学先大学の通常の授業を受講。滞在は現地大学寮またはホームステイ先。長期留学の場合は、交換留学を実施。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	国際交流課
133	獨協大学	私	海外協定校への派遣プログラム	本学の協定校に留学し、専門科目を学ぶ。本学で履修する科目に準ずるコースを受講し、専門的な知識を高めるとともに外国の文化・言語・自然・社会などに関する知識の修得、外国人との親交を通じた豊かな国際感覚を涵養する。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	留学中の社会体験が本学のカリキュラムとして換算、認定が可能な内容であれば認定される。	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	獨協大学国際交流センター
134	日本工業大学	私	海外英語セミナー	語学研修を主な目的にカナダでホームステイを行い、体系的な講義を受けるとともに、各種のアクティビティに取り組む。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	自己管理能力 主体性 学問への動機づけ	研修生は帰国後、英語教育センターでリーダーを務めている者が多い。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	英語教育センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
135	文教大学	私	国際学部 短期留学	参加学生は、各自が事前に選んだ留学先(米国、オーストラリア、タイ)において、約3か月間、英語運用能力と留学先に特化したフィールドワークで異文化理解を学ぶ。米国では、学生寮での生活を通じて同世代かつ様々な国の学生たちとの交流し、現地の文化・歴史についてフィールドワークを通じて学ぶ。オーストラリアでは、ホームステイ生活を通じて文化・価値観・習慣の違いを家族の一員として学習し、また、現地特有の自然や動植物についてエコツーリズム体験を行う。タイでは、学生寮生活を通じてタイ人学生と日々切磋琢磨し、学習面では英語に加え、土地柄の特性を活かした観光・旅行業界について専門的に学ぶ。	2か月以上～3か月未満	留学	2年	認定される	定めていない	語学力 柔軟性 異文化理解の促進	事後アンケートを実施し、自己の留学体験を通して、異文化理解力、トラブルの対処方法や適応力の変化等の振り返り、達成度・満足度の測定を行っている。当プログラムへの満足度は毎年高く、積極性や向上心、海外への興味等の高まりといった効果を上げている。また語学力の向上については、入学時～留学前～留学後の英語テスト(CASEC)を行いスコアの変化を確認している。全般的に留学後は平均50点程度アップしている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	湘南校舎事務局教育支援課国際交流係
136	文京学院大学	私	文京GCI語学・異文化理解留学	受入れ校の語学教室で英語を学習するとともに、主に日系企業や団体を訪問し、海外事業展開について学ぶ。社会見学を通じて外国の生活や文化また習慣を体験する。行先によっては、その国の言語を学んだり、ホームステイしたりする機会もある。	1か月以上～2か月未満	留学	1年	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	GSIグループ
137	明海大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(海外研修)	海外の協定校から研修機関での語学研修や視察、異文化体験。寮滞在やホームステイを体験しながら語学研修機関に違い専門の語学力を高めるほか、現地の学生との交流やフィールドワークを通してコミュニケーション能力や国際的な視野を養う。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が全額費用を負担している 大学が一部費用を負担している	浦安キャンパス事務部学事課(留学支援担当)
138	江戸川大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学では、毎年8月、9月の夏季休業期間で、3週間のニュージーランド海外研修を実施し、参加学生への語学能力の研鑽と異文化理解の深度化を図る機会を提供している。このプログラムは、海外研修の参加学生のうち、優秀学生を対象とした特待生制度で、ニュージーランドにて発展的スカラシップを行っているものである。2月、3月の冬季休業期間中の6週間を利用し、ホームステイをしながら異文化を体験すること、現地大学のネイティブ教員による実践的英会話の授業を受講し、更なる語学力向上を図ることを目的としている。また、今年度より参加前と参加後にTOEIC試験を受験してもらい、語学力の向上を計ることとした。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 柔軟性 異文化理解	過去は測定していないが、今年度より、プログラム参加前と参加後にTOEIC試験を受験し、語学力の向上を図ることとしている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務課
139	川村学園女子大学	私	国際交流プログラム(交換留学制度)	協定校の中山医学大学(台湾)とチチェスター・カレッジに6ヶ月又は1年間の留学を行い、異文化に触れることによってグローバルな感覚を養い、多角的な価値観を身につけることができる。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	説明会を開催した時の出席人数。人数は少ないが一部の学生の勉学意欲の向上、目標になっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生生活支援室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
140	川村学園女子大学	私	海外研修	海外でホームステイ・大学の授業を受ける。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	各学部での判断	定めていない	語学力 自己管理能力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	修学支援室
141	敬愛大学	私	海外語学研修	研修前半で語学力とグループワークを学び、後半はインターンシップを実施する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ	TOEICなどの試験結果で語学力向上がみとれる	大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	修学支援室
142	国際武道大学	私	国際武道大学交換留学プログラム	本学では現在、5つの国と地域にある大学と交流協定を結んでいる。留学直後のレベルテストによっては、語学学校に通って語学力を上げた後に、協定大学の学部の授業に臨む。取得した単位は互換が可能である。課外活動では、ボランティアや各自専門とする種目のスポーツクラブの活動を通して交流を行う他、イースター、ハロウィーンなどのイベントに参加して様々な国の学生と交流を深めることができる。本学の建学精神のもと、日本の武道精神をもって世界平和の構築に貢献する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	国際室
143	城西国際大学	私	海外の協力校への派遣プログラム	留学にあたって、学内選考があり所定の手続き・面接を経て選抜される。姉妹大学への留学決定後は、保護者同席での説明会、派遣証書授与が行われる。各大学のプログラム・カリキュラムにしたがい学生生活を送っている。大学の寮に住む場合と、ホームステイとなる場合がある。休暇期間には個人旅行を経験する場合もある。毎月の報告書の提出を義務づけている。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 交渉力 問題解決力	①語学力の向上 ②就職実績向上 ③大学生活に対する満足度向上 ④大学生活に対する充実感向上 ⑤リーダーシップ ⑥留学生のケア 他	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際教育センター
144	中央学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学の修得・専門科目等の履修(任意で)クラブ活動や文化体験	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	協定校で修得した科目・単位が本学の科目として認定できる場合に限る	1名以上10名未満	語学力 状況把握力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
145	帝京平成大学	私	帝京大学ダラム分校短期留学	本プログラムは、帝京大学と帝京平成大学との協定に基づき、帝京平成大学に在籍する学生が、イギリス国ダラム市にある国立ダラム大学内帝京大学ダラム分校に約6か月間の短期留学することにより国際的素養を深め、我が国に必要な国際人を育成することを目的とする。ダラム大学内帝京大学ダラム分校及び関係カレッジにおける語学・教養・スポーツ等の授業、ホームステイによる語学研修、その他の学外学習などを行う。ダラムでは全員帝京グループ専用学生寮(個室)に入りダラム大学の学生と共に生活をする。また希望者は、夏季または冬季休暇中に、欧州大陸への研修旅行に参加できる。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	教務課
146	東京基督教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先の大学で寮生活をしながら、それぞれのレベルに応じた英語の授業を受けます。同時に、寮内の様々なアクティビティや派遣先大学のサークル活動、現地の教会での活動に参加します。	3か月以上～6か月未満	留学	3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	教務部
147	東京基督教大学	私	韓国異文化実習	ソウル市内で下宿生活をしながら大学付属の語学学校で集中的に韓国語を学びます。週末には現地のキリスト教会に参加します。	2か月以上～3か月未満	留学	3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 始めの1週間教員が引率	教務部
148	東京情報大学	私	カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)スプリング・プログラム	カナダ・ブリティッシュコロンビア大学(UBC)で約1か月の集中英語研修を行い、日常英会話スキルの向上をはかる。研修内容は、①1週(月曜～金曜)約27時間の授業を4週間受講 ②1クラス10～15人編成で、日常英会話を中心とする語学研修 ③各クラスは、本学学生のほか、他大学(日本の大学を含む)学生によって構成である。なお、宿泊場所は、一般家庭にホームステイとする。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	平成25年度より開始	語学力 主体性 専門的な知識	今年度から募集したが、参加者がいなかったため不明	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の後に研修等を行っている	東京情報大学教務課
149	東京成徳大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	学術交流協定先のアメリカ、中国、台湾、韓国の計6大学に交換留学生として派遣し、実社会で通用する外国語運用能力を身につけるため、留学先の語学科目を中心に文化関係科目についても学ぶ。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 授業料の一部を援助している	東京成徳大学事務局八千代教務課

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
150	東京成徳大学	私	半期留学	学術交流協定先を含むアメリカ、オーストラリア、中国、韓国などの大学に派遣し、実社会で通用する外国語運用能力を身につけるため、留学先の語学科目を中心に文化関係科目についても学ぶ。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 授業料の一部を援助している	東京成徳大学事務局 八千代教務課
151	東京成徳大学	私	インターンシップ付半期留学	オーストラリア・メルボルンの大学での英語研修20週間(15週間の選択も可)を行ない、その後、メルボルン市内での2週間のインターンシップを含むプログラム。職場は、一般企業、福祉施設、学校、小売店などから選択する。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 授業料の一部を援助している	東京成徳大学事務局 八千代教務課
152	麗澤大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	自専攻の語学能力を高める「語学留学」、経済・経営等の専門科目を受講する「専門留学」がある。また、語学留学の中にはあえて第二外国語を母語とする地域に留学し、専攻語と第二外国語の両言語を同時に学ぶ画期的な留学システム「クロス留学」がある。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 海外留学奨学金あり	
153	青山学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学と留学先の国の生活様式や文化を体験し、国際的な視野を広げるなどの留学体験	6か月以上～2年未満	留学	1、2、3年	認定される	50名以上100名未満	語学力 交渉力 柔軟性	アンケートの満足度調査、帰国レポートの内容から問題点の改善	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	学務部国際交流課
154	学習院大学	私	学習院大学グローバルキャンパス・アジア	夏季休業中にアジアの中国・上海(復旦大学)、西安(陝西師範大学)、韓国・大邱(慶北大学校)、台湾(東呉大学)に海外キャンパスを設け、学生の海外研修を行う。事前研修(5回)を行い、参加者の課題を設定(ビジネス、歴史、教育等)。研修中は午前語学研修、午後課題探求型現地研修を実施。事後には報告書として纏める。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	10名以上50名未満	語学力 問題発見力 問題解決力	2013年度までは報告書のみで判断、2014年度からは社会人基礎力(PROG)による測定を実施	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している JASSO奨学金への申請を行っている	学長付国際研究交流オフィス

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
155	学習院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学の海外協定校において、協定留学生として1年間派遣先の正規授業に参加し、専門分野の学識を深めるとともに、外国語能力をスキルアップさせる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	プログラム終了後提出させる留学報告書から、参加者の満足度の高さや学習意欲向上、語学力向上等が報告されている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 本学独自の奨学金及び奨励金制度の対象としている。過去のプログラム参加者の報告書等資料の閲覧可能。文科省(JASSO)に申請している(H25年度採択)	国際交流センター
156	学習院大学	私	学習院大学春季及び夏季語学研修(研修地複数)	研修先での語学研修授業、課外活動及び現地学生の交流等を通して、語学力と国際的視野を培う。また、事前・事後研修により現地での学びを今後の学習意欲向上につなげるサポート等も行っている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	H26年度より一部認定されるものがある	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	一部研修においては、事後報告書や研修等により、参加者が研修先の文化や言語等についての理解と関心を深めたことが報告されている。また短期研修参加により、長期留学への関心を深めた参加者の報告もある。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 本学独自の奨学金制度の対象となる	国際交流センター(他部署)
157	慶應義塾大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	代表的な短期海外研修プログラムの例として英国ケンブリッジ大学ダウニング・コレッジ夏季講座がある。前半2週間は英語集中研修、後半2週間は講義受講となる。参加学生は複数ある講義からの選択が可能で知識の幅を広げることができる。ケンブリッジ大学の学生が同じ寮に宿泊しながら講座をサポートし、彼らが企画する諸活動に積極的に参加することで幅広い異文化交流を体験できる。他にも国外の企業または大学、研究機関にてインターンシップを行うものや語学研修を行うもの等がある。Q11はQ10と同じ、50名以上100名未満。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 専門的な知識	アンケートで満足度が高かった。より長期の留学を希望するようになった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学生部
158	恵泉女学園大学	私	協定留学	現地大学の授業を履修し、語学力・知識の向上を目指すとともに、現地文化に親しみつつ自己管理能力やコミュニケーション能力を高めていく。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている	教務課
159	國學院大學	私	セント・マイケルズ大学短期留学	留学先でサービス・ラーニングに参加。例：現地の高校の日本語授業に訪問し、授業補佐。老人ホームに訪問。日本の震災後の状況を現地の学生に伝える会を企画、実施	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	社会貢献活動については測定方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流課

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
160	駒澤大学	私	海外演習実践講座	事前・事後指導およびレポート提出を条件に、海外への語学留学(言語を問わない)、ボランティア、インターンシップなどのあらゆる研修について、単位が認定される。研修国・地域に指定はない。フィリピン・セブ島やフィジーの孤児院・デイケアセンターでのボランティアや、米国アーカンソーでの日米相互理解の為に地域活動への参加、内閣府の「世界青年の船」プログラムへの参加、タイでの語学研修兼女子プロサッカーチームでの練習参加などが単位認定された実績があり、ユニークな研修内容を自分で計画し、実行することで、卒業後、海外で活躍する上で必要な語学力、問題解決力、主体性、交渉力を身につけることができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	駒澤大学 グローバル・メディア・スタディーズ学部 事務室
161	芝浦工業大学	私	研究留学プログラム	学生が海外の協定校の研究室に配属となり、現地の教員から指導を受け、自分の専門分野の研究を行う。	6か月以上～1年未満	留学	4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 専門的な知識	単位認定	大学が一部費用を負担している	国際部国際プログラム推進課
162	上智大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学制度の特色は、全世界168校(2013年4月現在の有力大学との協定を締結している。特に北米、ヨーロッパへ留学する学生の割合が高い。多彩なプログラムの中から目的、留学期間にあったプログラムを選択することができる。語学力の向上だけでなく、文化体験や世界各国の学生と接することで貴重な経験を積むことができる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	200名以上	語学力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学事局学事センター
163	昭和大学	私	学生海外研修・実習	本学では、姉妹校・学術交流協定校及び大学が認められた外国の大学や医療機関で、1年生はホームステイをしながら、海外生活の体験、語学研修及び医療施設見学を行い、2年生からは基礎科目を中心としたライフサイエンス及び語学を勉強します。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	50名以上 100名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学事部学事課国際交流係
164	昭和女子大学	私	ボストンプログラム	1988年より豊かな語学力と教養を培い世界に通用する人材を育成する目的で昭和ボストンを開校した。ボストン校の授業はすべて現地のアメリカ人教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われる。また、授業科目の一つとしてキャンパス外においてボランティア活動に参加したり、歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行いアメリカの文化を実際に見て学んだりするなど、豊かな生活体験がプログラムに盛り込まれているのが特長である。	1年以上～2年未満	留学	不問	認定される	200名以上	語学力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	語学力(TOEIC等)の向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 指定した保険加入の義務付け	コミュニティサービスラーニングセンター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
165	昭和女子大学	私	認定留学	認定留学には、必修認定留学・協定校認定留学・自由認定留学がある。語学力の向上と異文化理解を目的としたプログラムとなっている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	語学力(TOEIC等)の向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 指定した保険加入の義務付け	コミュニティサービスラーニングセンター
166	昭和女子大学	私	海外研修プログラム	クイーンズランド大学への研修プログラムがある。語学力の向上を目的としたプログラムをはじめ、学生は定期的に企画される週末のグループイベントに参加することができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	語学力(TOEIC等)の向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 指定した保険加入の義務付け	コミュニティサービスラーニングセンター
167	成蹊大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(中期協定留学)	イギリスまたはオーストラリアの大学にて語学研修後、現地民間会社や教育機関等にてインターンシップを行う。語学学校では、様々な国籍の留学生とともに学ぶことで、現地以外の文化にも触れることができる。また、主なインターンシップ先は、ホテル、博物館、イベント・ツアー会社、小学校、語学学校など。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 交渉力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学への納付金免除、一定の基準を超えた学生への奨学金給付	国際教育センター
168	成蹊大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(長期協定留学)	9カ国、15校への長期協定留学プログラムがあり、現地大学にて専門科目や語学科目を受講する。また、アメリカン大学が提供するWashington Semester Programでは、週2日間の専門科目授業と週3日間のインターンシップを経験する。専門科目は政治、経済、法律などから選択でき、インターンシップ先はアメリカ政府機関やNGO、リーディングカンパニーと多岐にわたる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学への納付金免除、一定の基準を超えた学生への奨学金給付、留学先大学からの奨学金給付	国際教育センター
169	成城大学	私	海外への協定校への派遣プログラム	協定校における1年間の留学体験	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
170	聖心女子大学	私	交換・留学制度	学生は7か国14校の協定校の多様な言語・地域から選択し、半年から1年間の学部留学を实践する。派遣と受入れ双方向の交換留学は、留学先学費等が免除になり、派遣のみの推薦留学は本学学費の全額又は半額免除を受けられる。どちらも、学内選考審査が行われ、語学には審査基準が設けられている。修得科目の単位は30単位まで認定を受けることが可能であり、留学年数は1年間まで在学年数へ参入でき、4年間での卒業が可能である。このプログラムは、外国語能力を高めるだけにとどまらず、所属学科の研究を深め、海外の文化に触れ、異なる価値観を共有し、世界に通用する人間の育成を目的としている。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	10名以上50名未満	交渉力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている 交換留学は大学間協定により留学先学費が免除となる。	国際センター
171	聖心女子大学	私	海外語学研修	夏期・春期休暇を利用して3～4週間、協定校12大学(アメリカ、イギリス、カナダ、フランス、ドイツ、スペイン、韓国、台湾)で開講されている外国語の研修プログラムに参加する。この海外語学研修は外国語の運用能力を高めるだけでなく、国際的な視野を広げ、自立心を養う絶好の機会になる。本研修では、学生自身で研修校の情報を収集し手続きを行う。国際センターでは参加者対象に複数回のオリエンテーションを実施している。特に海外生活での注意事項や不測の事態に備え危機管理セミナーを開催し、参加学生に課題を与え、危機管理対策の指導を行っている。また、保護者説明会を開催し、大学と保護者が協力して学生を送り出している。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	100名以上200名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際センター
172	清泉女子大学	私	清泉女子大学協定校への短期派遣プログラム	このプログラムへの参加学生は、日本とは異なる文化・社会のもとで学ぶことを通して、語学、コミュニケーション能力の向上、ならびに、異文化を理解するための幅広い視野を身につけ、将来、グローバルな舞台において活躍できる人材に成長することを期待している。また、留学先においても、積極的に国際交流に努めることで、それぞれの教育機関の国際化にも寄与し、両国の人的交流の架け橋となる人材の育成を目指している。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 交渉力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	国際交流センター
173	創価大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	基本的には海外のUndergraduate Courseに入り、学部生として授業を受ける。現地で、日本で学んできた専門知識を、現地の言葉で学習をする事になる。行き先によっては、Undergraduateではなく、大学付属の語学学校へ通う場合もある。異文化コミュニケーションの訓練の機会ともなっており、アウェイと言える環境で自身の精神力を鍛える場にもなっている。インターンシップやフィールドワークが必ずしも提供されるわけではないが、現地での休暇を利用し、学生が独自に参加する例も良く見られる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	100名以上200名未満	語学力 問題発見力 専門的な知識	本学では学生にアンケートを定期的に行っており、プログラム参加者に限らず、留学経験者による効果測定を実施している。例えば留学に行った学生と、そうでない学生の就職先では、グローバル企業への就職率に差が出る。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険の全額負担及び奨学金を給付している	国際部国際課
174	大正大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	<中国語会話>発音を中心に正確かつ自然なコミュニケーションができるように、音声に関する基礎的な理論を学習しながら、実践的な表現力及び聴解力を養います。<中国文化研修>日常生活の中で中国語を効果的に運用する能力を養い、さらに学内や市街地における生活文化を通じ、中国の実社会を体験します。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 奨学金の支給	法人企画部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
175	大東文化大学	私	海外協定校への派遣プログラム	海外の協定校へ1年間留学するプログラムになります。このプログラムに参加する学生は、海外の協定校に1年間在籍しながら、語学力、異文化理解、コミュニケーション能力の向上を図り、国際社会に対応する感覚を身につけます。また、語学の習得に加え、他国の文化、歴史、芸術等に対する理解を深め、同時に他国から自国を見ることによる気づき、再認識を促します。様々な国からの留学生と勉強を共にすることで、異なる考えや文化に触れることは学生にとって良い刺激となり、ホームステイや学生寮での生活を通して、地元の人との交流を深めることもできます。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 異文化対応力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター 事務室
176	高千穂大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学のオレゴン大学(University of Oregon)研修は春学期には、米国研修の準備期間として、本学にて英語能力やプレゼンテーション・スキルの習得のための科目を履修する(事前指導)。秋学期には、まず3ヶ月間オレゴン大学で英語科目に加えて米国の経済やビジネス事情、さらに現地での調査・研究が専門科目として配置されている(現地プログラム)。帰国後は本学にて米国研修で得た知識を整理発展させる科目を履修し、最終的にその成果を発表・報告する(事後指導)。	2か月以上～3か月未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教育研究事務課
177	拓殖大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	異文化体験により自己を見つめ直す時間を作ることができ、かつ日本を再認識しアイデンティティを確立することができる。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	200名以上	語学力 自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ	一部学生には帰国後それぞれの研修国言語の検定試験を受けさせる。結果を教員または事務局に提出させ効果測定を行う。概ね成績が上がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際部国際課
178	多摩大学	私	海外の協定校及び語学学校への派遣プログラム	本留学プログラムは、主に学生の語学やグローバルビジネスに関する理解を深め、学びへの動機づけを図ることを目的に、実施しています。受け入れ機関によるレベル別語学教育の他、現地在住の家庭に住むホームステイ体験や、寮に宿泊する場合も受入機関の学生や教員と身近な距離で接し、コミュニケーションや学びに関する質問ができる環境を用意しています。地元企業や文化施設、文化遺産などの訪問を通して、異国の経済や文化、歴史、現地住む人々と出会い、異なる価値観に触れることができます。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	事後アンケートにて満足度等を確認している。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	多摩キャンパス学生課
179	玉川大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	プログラム参加前と参加後に語学試験結果の提出を義務付け点数を比較。点数の向上が見られた。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	語学試験の受験結果を提出。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 奨学金制度を設けている。	国際教育センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
180	中央大学	私	中央大学SENDプログラム(日本語教育)	このプログラムは2つの海外留学を含む4段階のプログラムによって構成されており、異文化および日本語・日本文化を深く理解し、将来日本と外国との架け橋となるエキスパートの育成を目指している。まず、第1段階では学内で基礎となる科目を6単位履修する。第2段階では春季休暇中を利用してロンドンの英国国際教育研究所へ留学し、日本語教育に関する専門プログラムを受講する。第3段階では再び学内にて日本語教育・異文化理解教育に必要な科目を6単位履修する。総仕上げの第4段階では夏季休暇中に本学の海外協定校に派遣され、日本語教師アシスタントとして日本語教育・日本文化を紹介する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	事後アンケートを実施し、満足度が高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	文学部事務室
181	中央大学	私	Field Studies	「Field Studies」履修学生は、UC Davisの留学プログラム「Communication and Culture Program」を利用し、語学プログラムを受講しつつ、就業体験や文化交流を行う。ボランティア体験では、数人ずつの班に分かれて現地の小学校を訪れ、書道や折り紙、けん玉等の日本文化を伝える。現地にはホームステイで滞在し、ホストファミリーとの交流もある。前期「Active Learning I」後期「Active Learning II」とセット履修であり、毎週の授業で海外留学に必要な講義や実習を行ったうえ、春季休暇中にUC Davisに学生を派遣する。パスポートやVISAの取得についても、業者のサポートを得ながら、授業で指導している。	1か月以上～2か月未満	留学		認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	総合政策学部事務室
182	中央大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定校への派遣プログラムである交換留学制度による留学は、海外で専門分野の科目履修や寮生活を体験します。1セメスターまたは1年間の留学で、語学力の向上、異文化体験、専攻分野の研究を深めることを目的としています。視野を広げ、高度な外国語コミュニケーション能力を身につけた上で、日本では得難い文化的背景の異なる多様なメンバーの中で試行錯誤しながら自分の意見を伝え、議論する経験を通して、グローバル人材として必要な能力を広く涵養します。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4、5、6年	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	留学終了時にアンケートを実施しているが、未集計で効果を分析できていない	現地派遣の前に研修等を行っている 給付奨学金制度	国際センター
183	津田塾大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	1. 自身の選考分野の学問を深める。異なる視点から学問にアプローチすることにより視野を広げる。2. 大学生活全般を通して、異文化理解の促進、グローバルな視点を見につける。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	国際センター
184	帝京大学	私	韓国交換留学	協定校に約1年間交換留学するプログラムであり、派遣先の語学研修所及び学部、授業履修を通じ、現地学生との交流等の異文化体験をすることができる。またこのプログラムは本学が多様な異文化交流の機会を学生に提供し、学生の国際感覚を高めることを目的として実施している。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 保険を紹介している	帝京Study Abroad Center

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
185	帝京大学	私	帝京大学ダラム分校短期留学	イギリスの提携校の敷地内に本学の分校を構えている。留学中は同分校に6か月間滞在しながら本学のカリキュラムを履修するため、帰国後に単位認定され「留年無き留学」が可能である。また当コースの参加者が提携校の一員として、各種イベントの参加を通し異文化交流の機会を提供している。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ	各種語学検定結果	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 保険を紹介している 24時間体制のサポート	帝京Study Abroad Center
186	東海大学	私	ハワイ東海インターナショナルカレッジ・ダブルディグリープログラム	将来、英語圏の大学・大学院等への進学を目指した英語力の向上や学習技術の習得は勿論のこと、国際的なコミュニティでの留学生活を通して、世界的な視野を身につけます。本プログラム修了時にHTICから米国短期大学士号を取得し、東海大学卒業時には東海大学学士号を取得することにより、2つの学位(ダブル・ディグリー)を取得できます。講座内容HTIC本科プログラム(Liberal Arts Program)授業はすべて英語で行います。履修科目については、学期開始時に指導します。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	国際部国際課
187	東京経済大学	私	グローバルキャリアプログラム	豪州コース(定員20名)、中国コース(定員10名)でそれぞれ2年次後期に5ヶ月間(8月～12月)の留学及び現地でのインターンシップを行う。留学の前後に準備学習と事後学習を行う。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	TOEICスコアの向上(留学前後の比較)と就職内定状況	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	学務部学務課
188	東京女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム、海外の認定校への派遣プログラム	協定校留学・認定校留学のどちらの制度においても、学生は留学先で独力により学習面・生活面の環境を整え、主体性を身につけることができる。学生は渡航前に教授会で承認された留学計画に基づき、本学での専攻に関連した分野の授業を履修し、一定期間ごとに履修状況を報告する。また、専攻以外にも関心のある科目を自分の判断で履修することも可能である。学生生活では、世界中から集まる留学生や現地の学生との交流体験によりグローバルな視野を持つことが期待できる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 奨学金を授与している	国際交流センター
189	東京造形大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学と交流協定を結んでいる欧州の美術、デザイン系の大学に半期間留学体験することにより、英語だけで学生個々の専門性、制作物について授業を受講し、指導を受けることは、異文化の中でグローバルな観点から比較研究することが可能となり、今後の制作活動に役立てることができる。また、現地で様々な国の留学生と一緒に学び交流できる有意義な体験を得ることができる。	3か月以上～6か月未満	留学	3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	研究支援セクション

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	異文化理解	学問への動機づけ			
190	東京電機大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	学生は協定校が提供する語学の授業を受講すると同時に、様々な文化体験・課外アクティビティを通して、実用表現を体得したり、異文化に対する理解を深めたりする。また、研修の最後には必ずプレゼンテーションの場が用意されており、研修の成果を、自身だけでなく、他の参加者と共に確認することができる。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力	異文化理解	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	国際センター
191	東京農業大学	私	海外協定校長期派遣プログラム	本学からの派遣学生は特別留学生として籍を置き、正規の授業を受講し、単位を修得することができる。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	定めていない	語学力	主体性	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 留学期間の本学授業料を全額免除	国際協力センター
192	東京理科大学	私	語学研修プログラム(サマー/スプリング)※複数受入先プログラムあり サマー4校、スプリング1校	夏休みまたは春休みを利用して、海外の大学で英語を学ぶプログラムである。現地の大学で英語の授業が行われ、本場の英語を学びながら、ホームステイや大学の寮生活などを体験する。プログラムには、様々なアクティビティも含まれ、海外でたくさんの経験を積むことで、生の英語に触れながら、その国の文化を肌で感じることができる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	一部の学部を除いて単位認定している	10名以上50名未満	語学力	主体性	学問への動機づけ	帰国後にweb上で満足度調査等のアンケートを実施し、参加者の満足度は高かった。また、一部のプログラムで、本学の予算でプログラム前後等にTOEFLおよびIELTS受験を支援し、語学力向上の測定を実施したが、全体としてスコア向上が見られた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	学務部国際交流課
193	東京理科大学	私	カリフォルニア大学1年留学プログラム	本学での修業年限4年のうちの1年を、カリフォルニア大学デイビス校が実施するGlobal Study Programに参加する学部学生を対象としたプログラムである。通常3月下旬に渡航し、ホームステイ等をしながらか、春・夏学期は英語集中授業を受講し、履修要件を満たした場合は、秋・冬学期の2学期間、授業登録を許可された正規の科目を履修することができる。単位互換が可能な科目を履修すれば、取得した単位は本学の単位として認定される。	1年以上～2年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力	専門的な知識	学問への動機づけ	プログラム期間中にTOEFL受験を義務付け、スコア向上が見られた。参加学生には全員、プログラム期間中および帰国後に学習状況等の報告書を提出してもらったが、参加者の満足度は高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	学務部国際交流課
194	日本女子大学	私	海外の協定大学・認定大学への派遣プログラム	本学が認める留学は、本学での学習の延長として専門科目の一部を外国で学ぶことが主眼になっており、学生達は語学力の向上と共に、専門性を深めます。受入れ大学からは、異なる社会的・文化的背景を持つ留学生からの啓発と貢献を期待されています。その中で本学学生は、異なる言語・思想・習慣・環境を受け入れる「受容力」だけでなく、積極的に留学先の教員や友達と交わり、母校の教育ひいては日本文化を伝える「発信力」をも養い、大きな成長をして帰国していると感じております。協定・認定大学留学は、本学学生に広い国際的な視野と柔軟な判断力を培う体験を与え、将来社会に貢献できる力を身につけるための絶好の機会になっています。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力	問題解決力	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	国際交流課

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
195	文化学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	アメリカ又はイギリスの提携校へ約6か月から1年間留学し、単位認定されるプログラム。主に単位認定可能な科目を中心に、ファッションデザイン等のプログラムでは、デザインおよび製作、立体裁断などの実習を通してファッションデザインを学ぶ。また、世界におけるファッション流通やマーケティングも学ぶ。アート&デザインのプログラムでは、ファインアートやグラフィックデザイン、アニメーション、工芸、ジュエリーなど幅広いデザイン制作の授業を受けることができる。いずれも英語の授業を受けることができ、専門的な科目の他に語学力を向上させることができる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	事務局教務部教学課
196	法政大学	私	派遣留学制度	本制度での派遣学生は、約1年間、本学の海外学生交換協定にて単なる語学習得を目的とせず、現地の正規学生と共に現地の言語で行われる正規課程の授業を履修する。留学当初は授業に容易に付いていけず困難な状況に陥ることもあるが、努力することで留学前に持っていた知識を更に深く身に付け、最終的には単位取得という形で成果を残すことができる。同時に、現地で生活し、大学寮等で共に生活する現地の学生とも密な交流をすることにより、現地の人々の考え方、生活習慣の違いなどについても学ぶきっかけとなっている。また、海外で日本事情を伝える機会も生じるため、日本事情についての理解の必要性を再認識するきっかけともなっている。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	派遣先大学で修得した単位は、教授会での審議のうえ、学部により30～60単位を限度に、本学の卒業所要単位として認定。	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 派遣先の授業料は全学免除(ただし留学年度の本学の学費は本人負担) 渡航費、寮費および生活費等の補助として、奨学金を70～100万円支給。	学務部教学企画課
197	法政大学	私	スタディ・アブロード(SA)プログラム	例えば、オーストラリアのコースでは、最初の1～2週間は、本学学生のために特別に編成された授業を受ける。内容はオーストラリアの文化、歴史、地理、社会についての講義、エコツーリズムの実習などである。この専用プログラムのもと、語学センターで外国人留学生用の語学特別プログラムを他国からの留学生とともに7つのレベルに分かれ15週間受講する。1クラスの定員は最大18名で、平均15名の少人数クラスで編成され、1日4時間、週20時間の授業が行われる。その他にもワークショップとして、IELTS対策講座、文法講座、発音講座を受講することもできる。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	200名以上	語学力 自己管理能力 異文化理解	例えば、経営学部では、留学前と留学後にTOEFL ITP Level1を参加者全員に受験させている。ほとんどの場合において、留学後はスコアが伸びており、英語を集中的に学習することで、総合的な英語力、特に英語でのコミュニケーション能力が身に付いたことを判断するひとつの目安になっている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 奨学金として前年度旅費総額の30%程度を給付(上限あり)。	学務部教学企画課
198	武蔵大学	私	国外留学制度	海外協定大学に派遣されることにより、異なる国籍の学生と学び、また寮に暮し、専門知識や異文化知識を身につけることができる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 忍耐力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センター
199	武蔵野大学	私	協定留学	本学生が一年間(原則)、協定校に留学する。留学先において通学、生活することで、語学力の向上、専門知識の習得を目指す。また、文化体験やアクティビティを通して異文化理解を深める。さらに学生交流、留学生交流でコミュニケーション能力を磨き、視野を広げる。また、日本の文化や社会について発見したり見直す機会となる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 世界へ羽ばたこうという動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	グローバル教育研究センター事務室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										自己管理能力	主体性	専門的な知識			
200	明治大学	私	海外への協定校への派遣プログラム	本学で学んでいる専門科目についての知識を深め、視野を広めるために、本学が学生交流の協定を締結している海外協定校へ最大1学年間留学するプログラムである。留学先では、現地学生と共に授業を受けるため、語学力はもちろんのこと、異文化の中での交渉力や自己発信力の向上、そして自主性を養うことのできる場が多く設けられている。また、授業だけではなく、学生自身が興味のある様々な課外活動(ボランティアやインターンシップ、スポーツ活動等)に参加することで、さらに人脈や見識を広めることが可能となっている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	自己管理能力	主体性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 留学のための助成金制度を設けている	国際連携部国際教育事務室
201	明治大学	私	国際日本学部セメスター留学制度	国際日本学部セメスター留学制度では、国際日本学部と提携している海外の6大学へ、国際日本学部生が最大半年間留学するプログラムで、現地の学生と同様に講義を受けて単位を取得する。その中でもある1つのプログラムでは海外でインターンシップもたいていけんすることができる。具体的にはフロリダ州のディズニーワールドにてインターンシップを行うことができるプログラムがある。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	50名以上100名未満	語学力	柔軟性	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	中野教務事務室
202	明治学院大学	私	海外の協定校などへの派遣プログラム	学生は、学内選考と受入先機関による選考の過程を経て、留学とインターンシップを国外において行う。その間、本学の担当部局とゼミ担当者などが連絡を取り学修状況をチェックしている。期間中に取得したクレジットは、学科主任により学部の単位としての認定を行う。また帰国後には体験の報告会などを行い、学部ウェブサイトに公開している。	1年以上～2年未満	留学	2、3、4年	認定される	50名以上100名未満	主体性	状況把握力	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際学部 事務室
203	明治学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	世界13カ国23校の協定校に派遣される学生は、各留学先で提供される正規授業に参加し、言語能力の向上に加え、大学設置の寮に入寮することにより、現地学生と授業・生活を共にすることによる異文化交流を図ることができる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4、5、6年	認定される	50名以上100名未満	語学力	自己管理能力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流センター
204	明治薬科大学	私	海外医療研修コース	海外の提携大学での実務研修	1か月以上～2か月未満	留学	5年	認定される	10名以上50名未満	語学力	専門的な知識	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	実務実習支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
205	目白大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定校へ1校平均5名以下で約1年間派遣。協定校の寮に住まい大学の授業、課外活動、アルバイト等を体験しており、派遣先の国の言葉のみならず背景の文化等も学習している。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	100名以上200名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学生支援部
206	立教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	派遣先大学では交換留学生向けの語学コースの履修の他、基本的には自分自身の興味関心に合わせて、現地の学生と同様に専門科目・一般教養等の正規科目を履修することができる。また、「現地の学生の日本語履修者とペアを組みお互いの言語を教えながら交流を深める言語交換」や留学先大学が主催する国際交流行事(歓迎会、リーダーシップキャンプやボランティア等)などで体験し、現地の学生と交流を深めている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	200名以上	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 奨学金を用意している	国際センター
207	立正大学	私	立正大学語学留学制度	海外協定大学等のランゲージコースで英語の語学授業を概ね半年間履修する。また語学力向上に加え、ホームステイや学寮生活、課外授業等によって忍耐力や交渉力を養い国際的感覚向上と異文化理解を深める体験をする。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター 国際交流課
208	立正大学	私	立正大学交換留学制度	海外協定大学で英語により語学や専門科目等を履修する。また、ホームステイや学寮生活、課外授業等によって忍耐力や交渉力を養い国際的感覚向上と異文化理解を深める体験をする。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター 国際交流課
209	早稲田大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	現地の学生とともに通常カリキュラムを履修するプログラム、所定の要件を満たすことで派遣先大学の所定の学位を取得できるプログラム、語学研修により語学力強化を目指すプログラム、派遣先でのインターンシップによる就業体験ができるプログラムなど、参加するプログラムにより様々です。また、長期間(約1年間)海外の大学で学び現地の生活環境に身を置くことで自分を成長させる学生もいれば、短期間(約1 semester)の留学により語学力を集中的に高め、長期間のプログラムへの足掛かりにする学生もいます。	6か月以上～1年未満	留学	不問	派遣先大学での履修状況と学生の所属学部・研究科による	200名以上	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	留学センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
210	神奈川大学	私	派遣交換留学	学生は、派遣先である海外の協定校等において語学や専門科目の学習を行うだけでなく、派遣先大学の学生との交流や日々の生活、小旅行などの体験をとおして、滞在国の歴史や社会、文化を学ぶことができる。このようにして留学先で得られた実践的な語学力や専門性、コミュニケーション能力やさまざまな体験は、その後の学生の進路に大きな影響を与える貴重な体験となる。帰国後は、留学報告会や広報誌等により、自らの留学体験と成果を多くの学生に伝えることを期待する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 危機管理契約を締結している	国際センター
211	神奈川工科大学	私	海外協定校への派遣プログラム	ホームステイをしながら英語語学研修(3週間)+専門分野研修(1週間)を学ぶ。また期間中、学外へのフィールドトリップなどを通じ知識と経験の向上を図る。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 海外への興味を持たせる	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際課
212	関東学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	交換留学、派遣留学、語学派遣留学では、主に語学を中心に学びます。ただし、交換留学の一部においては、学部科目も学べるようなカリキュラムを設けています。留学先の大学によっては、ホームステイや研修旅行を実施し、また、現地大学学生との交流、課外活動への参加、ボランティア活動への参加など、学術のみでなく現地で多文化体験が可能なプログラムとなっています。交換留学、派遣留学の場合は、事前に語学集中講座の受講を義務付けており、留学前に語学力が向上するよう努めています。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	留学終了後に研修報告会を実施し、プログラム担当者を変えてディスカッションを行い、留学を通して学んだこと、考えさせられたこと、刺激を受けたこと、成長したことなどについて把握している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学長事務室
213	女子美術大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	1日のうち半日を英語の語学研修、半日を美術・デザインの実技系授業を英語で行う。作品作りの考え方、発表の方法等、海外の教員から指導を受ける事により、日本との考え方・評価の違いを体験する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 柔軟性 学問への動機づけ	事前・事後にTOEFL模擬試験を実施し、点数で効果測定する。結果は、1ヶ月程度の研修でも数値は若干向上する。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センターグループ
214	東洋英和女学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外協定大学の学部で現地学生や他の留学生と英語で学び、異文化及び自文化の理解を深める。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	国際交流センター事務室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
215	横浜商科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	学生寮に入居し、現地の学生と生活を共にする。授業、課外活動、大学行事等を通じて、語学力の向上、自己成長を図る。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	国際交流センター
216	富山国際大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校の協力のもと、研修先の方々と国際交流、異文化体験、各所の見学を行う。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 授業料の減免	国際交流センター
217	金沢医科大学	私	夏期語学研修ソノマ大学プログラム	語学(英語)を学ぶ研修プログラムであるが、毎週金曜日には語学学校の職員引率の下、フィールドトリップが行われ、現地について詳しく学ぶことができる。また、本学学生向けプログラムとして現地医師による講義を受け学内ヘルスセンターへの訪問が組み込まれている	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定されない	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	プログラム終了後のアンケートでは、80%以上が参加目的を達成できたと回答しており、参加者全員がこのプログラムを後輩へ勧めると回答している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	医学部庶務課
218	金沢工業大学	私	ニュージーランド英語研修プログラム	本プログラムに参加する学生は、春休み中の4週間にニュージーランドの協定校に留学して集中的に語学を学ぶ。クラスは少人数制を採用しており、学生はレベル別指導を受けることにより「聞く、話す、読む、書く」の4つの技能をバランスよく上達させることができる。また、ニュージーランドの豊かな自然を満喫するべく、本プログラムには1泊2日の研修旅行の他にも多数の課外活動が用意されている。プログラム期間中はホームステイをするため、学生は授業以外にも地域の方々とふれ合いを通して現地の習慣や文化を学ぶ機会に恵まれる。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 保険を紹介している	大学事務局庶務部庶務課
219	北陸大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本プログラムには海外の協定校への長期留学、 Semester留学、短期留学、ESIC留学の4つの本学の留学制度が含まれています。長期留学については、海外の協定校へ約1年間、Semester留学については約半年間、短期留学については約1か月間留学をします。ESIC留学については、中国の協定校の英語を学習している学部(学科)に入り、現地の英語学習者と共に英語を勉強します。これらのプログラムに参加する学生達は、留学生活を送るうえで、現地でのホームステイや学生寮での生活を体験しています。また、留学先では日本語以外の言語を使って、他国の人と交流をしています。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
220	仁愛大学	私	海外語学研修	本コースは、渡航計画から現地でのコース参加までの全ての段階において、学生が主体的にプログラムに関わる体験を与えることを狙いとしています。渡航前の事前研修では現地で必要な英会話や予備知識についてのレッスンがあり、学生は教員のサポートの元自らビザの取得やホームステイ先手配の依頼を行います。現地ではカルフォルニア州立フラトン大学のALP(American Language Program:集中英語講座)に参加します。大学のキャンパスがあるフラトンはロサンゼルスから南東約36kmに位置する人口12万の、南カリフォルニアで最も美しく繁栄と成長を続けている都市の一つとして数えられており、また交通網が発達しているため移動に便利です。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 柔軟性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 資金の貸与制度を設けている	英語教育センター
221	山梨英和大学	私	海外への協定校への派遣プログラム	海外の提携校にて語学を中心に学ぶ。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	学生サービス部
222	山梨学院大学	私	学部横断型副専攻(国際教養プログラム)	実用的な語学能力・異文化コミュニケーション能力・異文化理解と豊かな国際感覚を身につけ、国際政治・国際経済、あるいは民族・移民問題など、地球規模の諸課題に対応できる知識を備えたグローバル化時代に対応できる国際人になることを目指し、外国人と実際に接することを体験する。	6か月以上～1年未満	留学	2年	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 異文化コミュニケーション能力	実施初年度のため、今後測定を行う。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が奨学金制度を設けている	教務部教務課
223	岐阜経済大学	私	海外の協力校への派遣プログラム	語学学習を主眼としているが、1年に渡り留学をするため、副次的に社会体験活動を行うこととなる。	1年以上～2年未満	留学	1、2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している オリエンテーションを実施	学生支援部 教務課
224	岐阜聖徳学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学コース、語学学校での研修、その他アクティビティへの参加。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
225	東海学院大学	私	イギリスケンブリッジ校留学プログラム、フィールドワーク、インターンシップ	ホームステイしながら語学研修に参加するとともに、各種イベントに参加し、自主的研究を行うことにより、主体的な課題解決力を養う。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	現地の評価に基づき単位認定において評価している	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 授業料減免措置	学生生活課
226	愛知医科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学では、医学部学生が派遣先大学医学部付属病院において、実習を希望する診療科を選択し、その科において臨床実習を行う。派遣期間により多くのことを修得するため、ほとんどの学生は複数の科を選択し、実習を行っている。	1か月以上～2か月未満	留学	4、5年	一部認定される	10名以上50名未満	語学力 問題発見力 問題解決力	派遣後には、レポートの提出や大学広報誌等への留学体験記の原稿寄稿を義務づけている。その内容から、留学中に様々な経験をしたことが刺激となり、派遣後は、明らかに勉学等に臨む姿勢が積極的になる傾向がある。このことにより留学の効果が上がっていることが検証できている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	医学部事務部庶務課
227	愛知工業大学	私	東南大学中国語研修	現地で中国語の授業に出席しつつ、寮生活を送り、異文化体験を積む。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流室
228	愛知淑徳大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先の大学の学部科目の中から、各自が卒業に必要な科目に読み替え可能な科目を履修する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流センター事務室
229	愛知文教大学	私	留学プログラム	国外での生活を体験する、語学を段階的に修得する。(英語圏、中国語圏)日本人の存在の少ない地域にいきなり入れる。(中国語圏)	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 学問への動機づけ 大きく見聞を広める	効果測定の方法が定まっていない	留学中の授業料3/4免除	教務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
230	金城学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外協定校において、半年から1年間、語学プログラムと学部一般科目を履修し、単位を修得する。学生寮・アパート、ホームステイに滞在し、現地での学生生活を体験する。現地学生との交流も行われている。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4、5、6年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 学問への動機づけ	留学プログラムの詳細や留学を通して学んだこと、留学前後の語学力検定スコア等について、事後アンケートを実施している。全体的に留学に対する満足度は高く、留学前後では語学力が向上している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 大学が奨学金を給付している。	国際交流センター
231	金城学院大学	私	海外語学研修旅行	提携校において、3～4週間の語学授業とアクティビティを組み合わせた研修を受講する。本学専用プログラム、もしくは現地で実施されているプログラムに参加する。学生寮もしくはホームステイに滞在し、異文化体験をする。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 柔軟性	留学プログラムの詳細や研修の感想について、事後アンケートを実施している。全体的に満足度は高い。英語圏については、留学前後に英語テストを実施し、全体的に語学力の向上が見られる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 交換留学協定に基づき、留学先大学の授業料が免除されている。	国際交流センター
232	福山女学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先で異文化の中で学び、豊かな国際性と教養と語学力を身につける。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	留学後の検定で語学力がアップしている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	教務課
233	星城大学	私	海外ビジネス演習	英語研修+専門授業への参加(聴講生になる)	6か月以上～1年未満	留学	2年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題発見力 自己管理能力	GPAが向上している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センター
234	中京大学	私	交換留学	海外派遣先の大学で、正規の授業を現地学生とともに受講できる留学プログラム	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	帰国後、多くの学生がTOEICで800点以上を達成している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センター

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
235	中京大学	私	Semester留学(語学留学)	1学期間、現地大学のESLに通い、語学力のアップを目指す留学プログラム	3か月以上～6か月未満	留学	1,2年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	Semester留学終了後にTOEICスコアが50点から100点のアップがみられる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センター
236	中部大学	私	オハイオ大学長期研修	寮でのルームメイトとの共同生活。オハイオ大学生と同じコミュニケーション学の授業を受講し、サポートクラスにてその理解を助ける制度を設けている。毎週金曜日に小学校で、日米文化交流を主体としたサービスラーニングを実施している。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	50名以上100名未満	語学力 学問への動機づけ コミュニケーション能力、自己相対比能力	アンケートによる目標の達成を5段階評価で自己評価する。プログラム毎の集計結果はおおむね良好。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	中部大学国際交流センター
237	中部大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	派遣先協定大学において、現地学生と一緒に専門科目を受講	3か月以上～6か月未満	留学	2,3年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	アンケートによる目標の達成を5段階評価で自己評価する。プログラム毎の集計結果はおおむね良好。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	中部大学国際交流センター
238	豊田工業大学	私	学部海外英語演習、修士海外英語演習(2科目を同時合同で開講)	「国際産業リーダー」として世界を舞台に活躍できる技術者・研究者には、理工系に特化した専門用語の運用能力を身につけるだけでなく、世界の技術者・研究者と対等にコミュニケーションのできる一般的な英語運用能力を身につけることも必須である。英語で意思疎通を円滑にはかるためには、英文法の理解だけでなく、英語の論理(思考・発想)や英語圏の文化(生活様式・行動様式)の理解が求められる。さらに、異文化理解を通じて自国文化に対する理解を深め、自国を客観的・相対的に見ることができるようになることも重要な目的の一つである。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 主体性 異文化・自国文化の理解	①全学生を対象として年2回TOEIC-IPテストを実施している。学部1・2年生全体のスコア上昇率が2～4%(9～18point)であるに対し、本プログラム参加者は約8%(38point)上昇しており、留学の効果が現れている。②学部学生については進級・卒業の要件として英語Step-up Point制度(E-SUP)を設けており、本プログラム参加者(科目の単位取得者)には所定のポイントを付与する。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 資金の賞与制度を設けている	学生部学生グループ
239	名古屋外国語大学	私	UCR特別留学	この留学プログラムは、カリフォルニア大学リバーサイド校(UCR)との協定に基づき、前半は英語研修、後半はホスピタリティー・観光マネジメントコースの構成となります。後半のコースでは2つの座学の他6カ月のディズニー社における就労体験(単位認定あり)が含まれます。それにより、ビジネスの理論とホスピタリティーの実践の両輪から学ぶことにより、高度な国際感覚と社会的実践力が身に付く高い内容となっています。	6か月以上～1年未満	留学	2,3,4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 チームワーク、リーダーシップ	帰国後アンケートを実施し、項目別に参加学生の満足度や改善が必要な箇所を記入させ、そのデータ分析を行う。アンケート結果は毎回極めて満足度が高いが、問題があった箇所について改善方法を模索し、質の向上を図っている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
240	名古屋学院大学	私	短期語学留学+インターンシッププログラム	このプログラムは前半2週間の英語研修に加えて、後半2週間はインターンシップ(就業体験やボランティア活動)を加えたものであり、英語研修で学んだ英語をすぐに使える実践的なプログラムとなっている。将来海外で働くことを検討している学生に勧めるものである。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 将来への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	国際センター
241	名古屋学芸大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	英語研修、専門教育	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流課
242	名古屋商科大学	私	Frontier Spirit Program(中国)	8～12週間のスクーリング(語学研修)で語学力を身につけます。中国の北京外国語大学では中国語を学びます。スクーリング直後に、現地でインターンシップを4週間実施。現地で働く経験を得ることでビジネスで使える語学力が身につく。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が全額費用負担をしている 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	学生支援部門国際交流担当
243	名古屋女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	約5か月間、交流協定校が設置する寮またはホストファミリーにお世話になり、協定校が開設している語学センター等の留学(研修)プログラムを受講しています。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題発見力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 海外留学奨学金を設けている	学生支援センター
244	南山大学	私	南山大学派遣留学プログラム	1学期から1年の間、留学先大学の学生と共に現地語で学部専門科目を、または世界各国からの留学生と共に語学を履修する。講義の受講や教材の精読のみならず、レポート作成や海外の大学で頻用されるディスカッション、プレゼンテーション等を通じて、高度な内容についても外国語で堂々と知見を述べることが出来る優れた外国語運用能力を涵養する。大学の寮やホストファミリー宅に居住し、現地の人々と交流を深める中で、異文化を背景とした異なる価値観に対する理解力を高め、協調性と同時に交渉力・問題解決力も伸長させ、真の国際人の資質を涵養する。また海外での生活を通して自己や日本を見つめ直すとともに、自主性や行動力を養う。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 異文化理解	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 海外旅行事故対策費用保険ならびに留学生危機管理サービスの大学包括契約	国際教育センター事務室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
245	南山大学	私	南山短期アジア留学プログラム	各自学生が選択したアジアの国で4週間に渡って現地の言語を集中的に学ぶ。学生は、学内での事前指導の後、引率教員と共に渡航し、現地の大学などで午前中に語学の集中講義を受け、午後には現地の生活や文化に触れる様々なプログラムに参加し、フィールドワークをおこなう。これらの体験学習によって、国際社会の中のアジアや自分たちの暮らす日本についての理解がより一層深まることを期待している。現実のアジア社会を目の当たりにし、体験することで、机上では得られない広い視野と行動力を身につけて欲しい。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4、5、6年	認定される	100名以上200名未満	語学力 主体性 異文化理解	プログラム終了後、参加学生に対し、事後アンケート調査をおこなっている。各アンケート項目は、5段階形式のものとし、自由記述のものがあり、5段階形式のものは、統計をとっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	総合政策学部事務室
246	皇學館大学	私	セント大学短期語学留学	留学先大学が準備するカリキュラムにより、3週間の語学研修を受けるとともに、様々な異文化体験のプログラムにも参加する。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学生支援部国際交流担当
247	成安造形大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外で芸術の実習に参加する。日本の実習とのプロセスやロジックの違いまたは共通点から、専門分野に関する多角的な視野を育む。	6か月以上～1年未満	留学	3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流室
248	大谷大学	私	大谷大学留学制度	学生は、学術交流協定校をはじめ、高等教育機関の正規課程又は語学プログラムへ6か月間から1年間の留学ができる。留学先で取得した単位の認定も受けることができ、また、留学中も本学の在学期間とみなされ4年間での卒業が可能である。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 協定により、授業料を免除を実施(交換留学)。助成金(給付)を設けている(交換留学除く)。	企画・入試部企画課
249	京都外国語大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先大学の学部の専門科目または大学付属の語学学校での授業科目の履修	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	100名以上200名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
250	京都嵯峨芸術大学	私	海外美術実地研究	海外の提携校で、版画、デザイン等の実習を行なう。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務課
251	京都精華大学	私	交換留学	本プログラムは、学生が生活面、教育面ともに異なる環境において専門分野を学ぶことによって、異文化と自国文化の理解を深めることや直面する諸問題を解決することを通して新たな視点を獲得するとともに、多様な価値観を有する人々と共存し協働する力を獲得すること、また帰国後にはその経験を学内や社会に還元するとともに、世界を視野に入れて活躍する人材の育成を目指す。	3か月以上～6か月未満	留学	3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険は義務化	国際課
252	京都橘大学	私	海外協定校への派遣プログラム	英語強化クラスの受講や地域文化研究、テーマ別調査研究や小学校、幼稚園でのボランティア、インターンシップなどを現地実施している。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2年	認定される	50名以上100名未満	語学力 学問への動機づけ 異文化理解	帰国前後のTOEICの得点比較で平均31点上昇した。また、50点以上アップした学生の割合は50%を超えている。	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 独自の給付奨学金制度を設けている	京都橘大学グローバル教育課
253	京都ノートルダム女子大学	私	海外協定校への派遣プログラム	本プログラムは、本学との間に協定を締結する英語圏5か国の大学群の中から希望する大学を選択し、セメスター単位で語学や専門分野の学習を目的に留学するプログラムである。本プログラムの中で学生は、語学や専門科目の授業を履修するとともに、滞在国の歴史、文化、社会事情等に関する知識を身につけ、ホームステイ体験や現地の学生との交流を通して異文化への理解を深めるもので、1セメスター又は1学年間を海外の学習環境で学ぶ。これにより、英語のスキルや知識を深めるだけでなく、現地での生活や文化への洞察力を高め、主体性や積極性、問題解決力を高め異文化社会への適応力を身につけて帰国するものである。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 状況把握力	プログラム終了後にTOEICまたはTOEFLを受験させ、プログラム開始前に受験した際のスコアと比較して学習成果があったかどうかを確認している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際教育課
254	京都薬科大学	私	フライブルク大学が主催する日本人のためのサマープログラム	ドイツの大学における語学研修プログラムを受講し、修了者には評価付の修了証書が交付される。ドイツ語学修のほか、地域・文化研究、歴史、文化、環境、政治などを学ぶ。事前にガイダンスを実施し、研修後はレポート提出を課し、修了証書およびレポートの提出をもって単位認定をしている。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	研修後のレポートでは毎年満足度が高い結果となっている。	企業、NPO等の外部支援機関に委託している	教務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
255	花園大学	私	短期留学(英語コミュニケーションプログラム)	カナダカルガリーに1ヶ月強滞在し、語学を中心に海外文化に触れる。	1か月以上～2か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務部教務課
256	佛教大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学センターでの現地語学習と異文化の理解と友好交流	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	教育推進部国際交流課
257	佛教大学	私	デザートカレッジ派遣留学プログラム	デザートカレッジの正規授業を登録し、一般の学生と一緒に授業を受ける。また、1年間ホームステイにて過ごすことにより、アメリカ文化を理解する。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 現地アドバイザー常駐	教育推進部国際交流課
258	佛教大学	私	英米学部ディーキン大学留学プログラム	ディーキン大学のプログラムに参加し、一般の学生と一緒に授業を受ける。滞在は、ホームステイ先から大学に通い、オーストラリアの文化を理解する。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	帰国後、TOEFL-ITPテスト受験。語学力向上の確認を行う。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	教育推進部国際交流課
259	龍谷大学	私	Berkeley Intercultural English Program	BIE (Berkeley Intercultural English) Programは龍谷大学のRUBeC(Ryukoku University Berkeley Center)を利用した本学独自の留学プログラム。英語学習、ボランティア活動、講義を組み合わせた留学で、5週間のプログラムと半年間のプログラムの2種類がある。英語運用能力の向上と共に、広い視野と柔軟な発想を学ぶことを目的とした現地コミュニティでのボランティア活動や講義科目などにより、学生は、多民族共生社会について、知識と体験の両面から学ぶことができる。なお、ボランティア先は、「Senior Services」「Elementary Education」「Social Welfare」「Environmental Protection」の4つから選択。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2年	認定される	50名以上100名未満	語学力 アメリカ社会への理解、教養力	2013年度BIE 5-week summer Programにおける満足度調査では、参加者22名中20名が、5段階評価で、4または5と回答している。(5が最も満足)	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 成績優秀者に奨学金を給付	国際部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
260	大阪音楽大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	<p>本学の協定校への派遣プログラムは、音楽の専門性を深めることを趣旨としており、学生は各提携校において、著名な教授陣からの音楽指導、学生同士でのアンサンブル等の実技・演習を中心に学ぶ。その中で、本学教員との実技指導の相違を意識しつつ専門性を深め、留学先での学生との演奏交流を通して音楽的視野を広げている。また、様々な芸術体験の他に、博物館や史跡等の見学を通じて海外の文化に関する理解を深めている。</p>	2か月以上～3か月未満	留学	2、3、4年	留学先の学修内容による	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	<p>専門の支援機関・専門スタッフを設置している</p> <p>大学が一部費用を負担している</p> <p>保険を紹介している</p>	学務事務部門学生生活担当
261	大阪学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	<p>このプログラムを通して留学する学生は、ほとんどの場合が、派遣先大学において語学を学ぶことになるが、一定以上の語学力のある学生は専門科目も学ぶことができる。ほとんどの提携大学では、様々な国からの留学生を多数受入れており、おのずと異文化交流も体験できる。また、学生は日本を離れて生活することで、全てを自分で考え、判断して行動せねばならないため、語学力の向上や専門知識の修得だけでなく、判断力、行動力、問題解決力、コミュニケーション力、主体性などが培われ、わずか4ヶ月から1年の経験であるが、大きな自信をつけて帰国している。また同時に海外から自分の母国を振り返る貴重な機会ともなっている。</p>	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	<p>専門の支援機関・専門スタッフを設置している</p> <p>現地派遣の前に研修等を行っている</p> <p>大学が一部費用を負担している</p>	国際センター
262	大阪学院大学	私	Project 700 海外留学プログラム	<p>1年次後期は、語学学校で研修し語学力をのばす。3年次後期は、英語による正規科目を履修し、専門的な知識をのばす。</p>	3か月以上～6か月未満	留学	1、3年	事前・事後の講義とあわせて、成績評価する。	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識	TOEIC: 留学前570点で、留学中の最高点710点	<p>現地派遣の前に研修等を行っている</p> <p>資金の貸与制度を設けている</p> <p>保険を紹介している</p>	教務課
263	大阪経済大学	私	派遣・認定留学制度	<p>海外留学をすることで、語学力の修得と同時に、異なる文化・価値観に触れ、幅広い視野を身につけることができる。また他国の学生との交流を通じて、コミュニケーション力や積極性、主体性を養うことができる。</p>	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	帰国後レポートにて、満足度の高い留学体験談を提出する学生が多い。	<p>専門の支援機関・専門スタッフを設置している</p> <p>奨学金を支給している</p>	教務部教務二課国際交流室
264	大阪経済法科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	<p>現地留学先の語学授業および政治、経済、社会に関する専門的な授業、現地ホームステイ先での交流、異文化交流体験を通して、国際的な視野を養成するプログラムを行っています。</p>	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4、5、6年	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	留学後、TOEIC専門スコアが、留学前と比べ76点アップしました。	<p>専門の支援機関・専門スタッフを設置している</p> <p>現地派遣の前に研修等を行っている</p> <p>現地派遣の後に研修等を行っている</p> <p>大学が一部費用を負担している</p> <p>保険を紹介している</p>	国際部

プログラム ナンバ ー	大学名	学校 区分	プログラム 名称	プログラム 内容	派遣 日数	プロ グラ ムの 種 類	対 象 学 年	単 位 認 定 さ れ る か	プロ グラ ム の 定 員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	主体性	専門的な知識			
265	大阪工業大学	私	海外研究支援プログラム	本プログラムでの参加学生は、海外の大学や研究機関等で1ヶ月以上の研究や実務の体験を行う。派遣先は指導教員の協力を得て決定し、現地では卒業論文と関連する研究活動や正課授業の受講、インターンシップ、共同研究を行う。また、現地学生・教員との交流や休日を利用した校外研修、宿泊施設での一人暮らし等、国際意識や自主性等を涵養する効果が期待される。	1カ月以上～2カ月未満	留学	4年	認定される	平成25年度より開始	語学力	主体性	専門的な知識	平成25年度より開始した制度であるため、現時点では客観的な指標はない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター
266	大阪国際大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学では、22カ国・地域65大学と協定締結を行っており、そのうち34校とは学生交流、学生派遣に関する協定を締結しています。これらの協定に基づき、本学からは学生を1ヶ月間、「日本語教員アシスタント」として派遣するプログラムや、半年から1年間の現地大学に留学するプログラムを実施しています。留学プログラムについては、基本的には留学先では現地の学生と同じく専門科目を履修しますが、学生の語学力によっては、現地留学先大学の付属語学教育機関において、集中的に語学習得をするプログラムに参加する場合があります。いずれも現地留学先の大学での取得単位は本学で認定され、4年間での卒業が可能となります。	6カ月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	定めていない	語学力	自己管理能力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 奨学金制度	国際交流課
267	大阪観光大学	私	ハワイパシフィック大学へ1ヶ月滞在し、教学学習、フィールドワーク等を実施	英語研修の他に、異文化体験的課外活動、空港・ホテル見学などの観光施設の見学および観光文化に関する講義を受講。	1カ月以上～2カ月未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力	交渉力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 教員の付添	国際交流事務室
268	関西大学	私	BestA(ベスタ)	本プログラムでは、ヨーク大学と提携し、学生の英語力を強化するためにイギリスに4週間ホームステイをしながらビジネス英語を学ぶことができる。教室での学習だけでなく、現地企業や商業施設を訪問しインタビューをはじめ、トラベルプロジェクトが用意されており、イギリスのビジネスの現場を実際に体験する機会が設けられていることが特徴である。	1カ月以上～2カ月未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力	柔軟性	専門的な知識	英語でのプレゼンテーション能力の向上および海外のビジネスに触れて国際感覚を養うことができる	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学長課
269	関西外国語大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	主として提携先大学の授業を履修する留学プログラム	6カ月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	問題解決力	主体性	専門的な知識	TOEFL、TOEIC等の成績向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教務部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
270	近畿大学	私	交換・派遣留学	長期留学(1年)として、交換留学(韓国1校)と派遣留学(アメリカ1校、カナダ1校、イギリス2校)を実施している。韓国語圏となる交換留学では、留学当初から専門科目を受講することとしており、英語圏となる派遣留学では、語学力に応じて、「1年間専門科目受講」の場合と「半年間英語集中コース+半年間専門科目受講」の2パターンがある。専門科目は、本人の専門を主軸に興味・関心に基づき科目を履修することが可能である。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4、5、6年	認定される	定めていない	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 海外リスク管理登録及び海外旅行保険加入を義務付け	国際交流室
271	近畿大学	私	Intensive International Program(経営学部セメスター派遣留学)	世界各国の留学生に交じって少人数クラスの授業を受講する。英語での発言の機会が多く与えられている。専門科目のビジネスの授業では、アメリカのマーケティング手法などについて詳述される。アメリカンカルチャーという授業では、ハロウィン、サンクスギビングデーやアメリカンフットボールなどの起源を通じて米国の歴史と文化を学ぶ。正課以外の課外活動では、ハロウィンパーティーやワシントンDCへの施設見学を兼ねた観光旅行やピッツバーグへのMLB観戦などが含まれる。現地での滞在先はホームステイであり、ホストファミリーと夕食をともにすることにより、アメリカの文化や生活習慣などを肌で体験する。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	留学前と留学後に受検したTOEICやTOEFLの得点を比較して、得点が向上している。大学における学業成績が向上している(取得単位数の増加、平均点の向上など)。卒業論文の研究内容が、他の学生と比較して、海外の時勢や状況を勘案・調査した記述が含まれており、諸外国の経営や流通、マーケティング、経済情勢に踏み込んだ調査ができていて、就職の内定先においても、語学力を必要とする就職先の内定を得ている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 海外リスク管理登録及び海外旅行保険加入を義務付け	経営学部事務部
272	摂南大学	私	海外の協定校へのプログラム	本学と協定を結ぶ海外の大学に半年、または1年留学し、大学で所定の授業プログラムを受けます。日本語を学ぶ現地学生や他国からの留学生とも交流が深められるので、楽しく学ぶことができます。教師の対応も親切で熱心であると満足している学生が多いです。滞在はホームステイが中心となっています。休日は友人と観光やショッピングをしたり、ホストファミリーがイベントに連れて行ってくれたり、よい環境で異文化を体験できています。留学先大学での成績評価を基に帰国後本学課程で単位認定しています。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	外国語学部事務室
273	相愛大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定先大学の正課の授業を履修/協定先大学の語学学校のプログラムを履修	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流部
274	常磐会学園大学	私	海外保育研修、語学研修	・現地幼稚園における保育研修、ホームステイ先での生活体験等 ・現地と大学の英語コースにおける能力別クラスでの語学力向上のためのコース学習と、ホームステイ先での生活体験等	3か月以上～6か月未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際こども教育学部 こども教育学科 海外研修担当

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
275	阪南大学	私	協定・交換留学制度	英語圏留学の場合、協定先大学の集中英語プログラムを受講する。学生の能力に応じたレベルでクラスが設定され、英語を母国としない学生と学ぶ。一定のレベルまで達すると学部授業の一部受講、インターンシッププログラム参加等の機会もある。また、ランゲージパートナー制度という現地の方と英語を勉強できる制度を利用し、英語力向上を図ることも可能。中国・韓国語圏留学の場合も中国語・韓国語を母国としない学生と共に学び、英語圏同様の内容となっている。3圏ともプログラムの一環として現地の文化・習慣を理解するアクティビティや観光に参加可能。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	TOEICの数値が留学の出発前と帰国後でスコアが上がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	教務部教務課
276	関西学院大学	私	交換留学・認定留学	関西学院大学は、世界的視野を持ち、確立した自己と他者への思いやりを持つ、"スクールモットー" Mastery for Service"を体現する世界市民の育成を目指した教育を行っている。交換留学・認定留学は、大学時代の1年間または1学期間、海外の大学で、専門科目において多種多様な価値観を持つ世界各国の学生と交流する中で、自己との考え方や視点の違いを学び、専門知識や自己の視野を広げることができるプログラムである。現在、29カ国の協定大学に152名の学生が留学している。交換留学以外の1学期以上の留学プログラムとして海外インターンシップ(同参加者15名)や英語・フランス語の中期留学(同参加者256名)などもある。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3年	認定される	200名以上	問題解決力 忍耐力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際連携機構事務部
277	甲子園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	交流協定大学と相互に留学生を派遣・受入をし、それぞれの国や地域の文化を学び当該国学生・教員のみならず、地域社会との人的交流を活発にすることで相互の理解を促進することを目的としたプログラムである。派遣学生が、学習や交流に不可欠な当該国(韓国)の語学力を身につけることを第一の目的としつつ、その能力をさらに応用発展させ、いかなる社会においても必要とされる多角的視点による論理的思考力、科学的分析力、適切な言語によるプレゼンテーション能力とコミュニケーション力を身に付けさせることを最終的なゴールとしている。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学生課
278	甲南大学	私	甲南大学マネジメント創造学部 特別留学コース アカデミック留学プログラム	留学先の大学において専門科目を学ぶ	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 忍耐力	TOEFLおよびTOEICスコアの向上	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	甲南大学 西宮キャンパス事務室
279	甲南大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	・文化体験授業(専門、語学)・フィールドワーク、フィールドトリップ、インターンシップ	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	・事後アンケート・学生からのレポートおよびそれに基づき留学先担当者との情報交換	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	甲南大学 国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
280	甲南女子大学	私	海外協定校への派遣プログラム	大学付属の語学学校で語学や文化について学び、ホームステイ体験を通じて現地人々と交流し、文化や習慣を理解する。	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題発見力 問題解決力	事後アンケートを実施しているが、多くの学生が語学力の向上だけではなく、異文化体験や異文化交流に満足しているという結果がでている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	対外協力センター 国際交流室
281	神戸学院大学	私	海外への協定校への派遣プログラム	海外で生活し、大学で授業を受けることにより、語学力の向上、異文化理解、国際交流等の体験をしている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 奨学金制度を設けている	国際交流支援グループ
282	神戸女学院大学	私	海外協定校への派遣プログラム	(1) 派遣留学は、協定校に派遣され、派遣先大学の授業料全額の奨学金を受けるといったサポートが充実した留学である。(2) 認定留学は、留学先大学の授業料は自己負担、本学学費は3/4が免除だが、自ら留学する大学を選ぶ。(3) 中期英語留学は、米国に約7ヶ月間留学し、英語研修を中心に一般科目も学び、英語力の向上と異文化に対する理解を深める。(4) 中期海外研修は、豪州又は米国にて、語学研修約2週間と地元企業でのインターンシップ約4週間、もしくは語学研修約24週間の7ヵ月間にわたる集中英語研修で、英語力向上と異文化理解を目指す。(5) 語学研修は夏期・春期休暇を利用した3～5週間の滞在で語学や異文化に触れる	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流センター
283	姫路獨協大学	私	長期留学(交換留学)	海外の協定校において、学生の希望する専攻語学・専攻分野を学習することを第一の目的とし、協定校から提供された大学生活を通して、異国での生活環境に順応しつつ、真摯に学業に取り組み、学力を高め、語学能力のスキルを磨きながら、専攻分野の知識も高める。留学先での異文化交流・国際交流のなか、コミュニケーション能力を高め、学内外のイベントや課外・地域活動にも参加し、国際感覚もより刺激を受け洗練されることとなる。また、異国の文化・風土・風習に直に触れることにより、自身の視野と見聞を更に広め、自己の意識改革と将来の展望へと繋げていくことができる。	6か月以上～2年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	留学先及び帰国後の語学能力検定試験の結果	外郭団体からの留学支援金(奨学金)の申請を試みる、学内での留学支援奨学金を一定の条件を満たした学業優秀者に支給する	国際交流課
284	兵庫医科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	海外の医療施設で実際に現地の医学生等と共に臨床実習を行い、国際感覚を増やす。	1か月以上～2か月未満	留学	5、6年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
285	武庫川女子大学	私	アメリカ分校への派遣プログラム	ホームステイや地域での文化的行事への参加を通して異文化理解を深める	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	200名以上	語学力 チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	TOEICスコアが平均140点アップしている	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	文学部事務室
286	武庫川女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定大学において自大学で受講できない科目を受講したり、異文化に接しながら英語でコミュニケーションをとる能力を高められる	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 学問への動機づけ プレゼンテーション能力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 外部機関の奨学金制度を利用している。	国際交流室
287	流通科学大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	提携大学の寮やホームステイで生活しながら、その国の語学プログラムを受講することができます。海外生活・異文化を同じ大学の仲間と共有することによって、学生同士の間には強い絆が生まれる研修です。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学事部教務課
288	帝塚山大学	私	海外留学奨学生(語学留学)	外国語による授業、留学生活(ホームステイ、課外活動など)	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	留学先の成績は教授会審議により認定できる	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している 奨学金を支給	学生生活課国際交流担当
289	帝塚山大学	私	海外留学奨学生(正規留学)	外国語による授業、留学生活(ホームステイ、課外活動など)	1年以上～2年未満	留学	1、2、3年	留学先成績は教授会審議により単位認定できる	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している 奨学金を支給	学生生活課国際交流担当

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
290	天理大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	大学附属語学機関(ESLなど)での語学勉強、各種異文化実習、学部での授業出席、寮やホームステイ先での様々な体験、各地への旅行・見学など	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 柔軟性	英語圏への留学経験者は帰国後TOEICやTOEFLの点数の向上が見られる。また中国語やスペイン語圏への留学経験者は帰国後その語学の検定試験○級に合格などの結果が見られる	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流部
291	天理大学	私	認定留学制度	交換留学と同様、大学附属語学機関での語学勉強、異文化実習、寮やホームステイ先での様々な体験、各地への旅行・見学など	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 忍耐力	留学帰国後のTOEICや学内語学テスト、外部の語学検定などで成績向上が見られる	大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流部
292	奈良産業大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	現地(海外)においての語学学習と文化交流。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター
293	岡山商科大学	私	アジアビジネスプログラム	中国語を中心とした語学を現地で学び、講義を受けたり、文化を体験する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 現場力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
294	岡山理科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学が主である。学生交流・文化体験・クラブ活動等の体験ができる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学務部教務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
295	川崎医療福祉大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	ホームステイ、語学研修、各施設の社会見学等	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力	事後アンケートで満足度が高かった	現地派遣の前に研修等を行っている	川崎医療福祉大学 事務部 学生課
296	倉敷芸術科学大学	私	韓国教育交流協定大学短期交換留学	韓国の教育交流協定校の希望する学部学科に所属し、韓国語をはじめ所属学科の専門科目の修得をめざす。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	インターナショナルセンター 留学生課
297	山陽学園大学	私	長期留学	(1)語学学校(語学堂)での語学研修。(2)協定校での授業を履修。(3)協定校や協力校の学生との交流。(4)異文化体験。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 柔軟性	JASSOなどの奨学金受給者に関してはレポートあり	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 大学間協定校と連携している。	国際交流委員会
298	山陽学園大学	私	短期語学研修	英語の語学研修、ホームステイ、異文化体験	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 問題発見力 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流委員会
299	ノートルダム清心女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	全7か国14大学と留学協定を結び、長期(1年もしくは半年)と短期(夏季休暇中の約4週間)の留学プログラムを有する。長期留学期間は在籍期間として認められ、単位も認定されるため、休学することなく外国語を集中して学び、異文化を体験して国際的な視野を養うことができる。宿舎は現地の大学が斡旋するホームステイや寮が充てられる。短期留学は、カナダのピクトリア大学で実施している。少人数クラスに在籍し、カナダの歴史や文化などについて意見を交わすなどして英語力を高めることができる。全日程ホームステイとなっている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
300	広島文化学園大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	現地の文化習慣について勉強する。語学以外の科目を履修する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	HSK5級・6級合格	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	社会情報学部
301	広島経済大学	私	長期派遣語学留学プログラム	派遣先国第一言語の語学学習	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4年	都度協議	10名以上50名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流室
302	広島工業大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	語学学習はもちろん、自身の専門性を生かした活動も行う。例として、派遣先の正規科目を受講し、単位認定を受けたり、自身の卒業研究の内容について、派遣先の教員から直接指導を受けたりすることもある。語学力が不足する場合は、単位認定を受けずに聴講することもあるが、派遣先の正規学生と共に授業を受けることは、学生にとって大きな刺激となっている。また、授業以外では、派遣先のサークル活動に参加し、スポーツや文化的活動をとおりて現地学生との交流を深める。さらに、派遣先の学生寮に滞在し、多国籍の学生と共同生活することにより、異文化への適応力、協調性、自己発信力などを身につける。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	一定の条件を満たした学生は単位認定される。	1名以上10名未満	問題解決力 自己管理能力 主体性	学生には、派遣先での目標を定め、2週間ごとにポートフォリオを作成させ、提出を義務付けている。学生は、2週間ごとの成果を自己採点し、研修終了時に成長度合いが見える形となっている。このポートフォリオをもとに、学生は報告書を作成し、学長をはじめ学内の教職員、学生が参加する報告会で発表する。報告会では、留学への意欲や研修中の取組みについて、教職員が50点満点で評価し、結果は概ね40点以上の評価を得ている。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している 奨励金制度(給付)を設けている。	教育支援室
303	広島修道大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	ウォリック大学で英語の集中講義を受けながら、その一環としてプロジェクト・ワークが組まれている。参加者でグループを組んで課題設定・調査・プレゼンテーションを行う。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 奨学金給付	国際交流センター
304	広島女学院大学	私	広島女学院大学在籍留学制度	留学先の大学の寮に滞在し、日本人以外の多くの留学生と交わり、本当の意味での異文化交流を経験することで、視野を広げコミュニケーション能力を高めるとともに多様な価値観を認めることができるようになっている。また帰国後の学修にも前向きな態度で臨んでいることが確認できる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している	国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
305	福山大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	①専門教育及び語学教育 ②異文化体験 ③ホームステイもしくは学生寮体験 ④オプションツアー体験	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	各外国語検定の取得	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部国際交流課
306	福山平成大学	私	海外協定校への派遣プログラム	一般家庭にホームステイしながら、留学先の学校に通い、アメリカ文化を体験するとともに語学カアップを目指すもの。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務課
307	安田女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	(4つのプログラムのうち最長のプログラムについて回答)平成25年度の場合、計16単位分の授業を留学先で受講する。中には、演劇をしながら英語を学ぶ授業や、プレゼンテーションの技法を学んだ後、現地の小学校で日本文化についてプレゼンを行う授業や現地メディアを教材にした授業など多彩である。滞在はホームステイでホストファミリーとの密度の濃い触れ合いの中で、生きた英語を学ぶ。加えて現地学生との交流のセッションやカリフォルニアの主要な名所を訪れる小旅行も企画されている。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3、4、5年	認定される	200名以上	語学力 主体性 柔軟性	TOEICの得点の上昇。事後アンケートの自由記述コメントから読みとれる人間的成長。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	教務部教務課
308	四国大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校にて語学研修プログラムを受講。語学研修に加えて小旅行等の様々な実地研修が組み込まれている。プログラム終了後は修了証書が授与され、帰国後本学指定科目への単位互換が可能である。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	社会連携・国際課
309	四国大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	中国の湘潭大学にて「外国人のための中国語養成課程」に入学。内容は、初級中国語会話、初級中国語聴解、中国語総合課程、初級中国語読解、中国文化、その他観光地見学などの実習。帰国後履修科目の内容に即して本学の関係科目との単位互換が可能。	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	社会連携・国際課

プログラム ナンバ ー	大学名	学校 区分	プログラム 名称	プログラム 内容	派遣 日数	プロ グラ ムの 種 類	対 象 学 年	単 位 認 定 さ れ る か	プロ グラ ム の 定 員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	柔軟性	忍耐力			
310	四国学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	体験内容は大学、派遣年度によって異なり、その内容も派遣大学に一任している。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力	柔軟性	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	企画課
311	松山大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学と大学間協定を結んでいる中国・ドイツ・韓国・台湾の大学における長期修学(1年または半年)の機会を通じて、その国の言語での理解力、表現力を高め、異文化に直接触れながら学習を行っている。学生寮に滞在し、主に平日は現地の学生と同一クラスで講義を受講し、週末には、観劇や観光などを通じてその土地の文化体験を行ったり、更なる語学力向上に向けて勉強に励む者もいる。これらの留学経験により、行動力や精神力もレベルアップさせることができ、広い視野で物事を見る目を養うこともできるほか、新たな価値観を創造することもできている。何よりも、海外から日本を見ることができるようになったことが貴重な体験となっている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力	問題解決力	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際センター事務局
312	九州共立大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本プログラムは、カナダ・オーストラリア等の海外の協定校で、現地での語学・文化研修に参加するものである。本プログラムには、語学修得のための座学のみならず、社会体験活動も多く盛り込まれている。例えば、週末旅行や文化施設見学を通して見聞を広め、知識の向上を図ったり、スポーツ活動を通じて現地の学生等と交流を深めたりする。また、ホームステイをして、ファミリーの一員として現地の家族の中で一緒に生活することによって、日常生活の中で生きた語学力を身につけながら、生活習慣や文化の違い、ものの考え方の違いを実体験し、異文化理解を深められる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力	問題解決力	自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流・留学生支援室
313	九州情報大学	私	2+2複学位教育プログラム	国際交流を通じて、グローバルな人材、専門的な人材を育成するために、韓国の2つの大学2+2複学位教育プログラムを実施している。これは、3年次に提携大学に転入学(留学)して、2年間で所定の単位を修得すれば、本学と提携大学の両方の学位を取得できるものである。	1年以上～2年未満	留学	3年	認定される	定めていない	語学力	主体性	専門的な知識	参加者がいないため不明	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流センター、国際交流支援室
314	九州女子大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本プログラムは、カナダ・オーストラリア等の海外の協定校で、現地での語学・文化研修に参加するものである。本プログラムには、語学修得のための座学のみならず、社会体験活動も多く盛り込まれている。例えば、週末旅行や文化施設見学を通して見聞を広め、知識の向上を図ったり、スポーツ活動を通じて現地の学生等と交流を深めたりする。また、ホームステイをして、ファミリーの一員として現地の家族の中で一緒に生活することによって、日常生活の中で生きた語学力を身につけながら、生活習慣や文化の違い、ものの考え方の違いを実体験し、異文化理解を深められる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力	問題解決力	自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流・留学生支援室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
315	久留米大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(留学)	協定を締結している大学へ、半年または1年間、本学へ在籍したまま学生を派遣し、各自の専攻分野に応じた課程で勉強する。言語を取得し学生生活を体験することにより、日本語及びその言語で物事を見聞き話し考えることになり、より豊かなグローバル感覚を持つ人材へと成長することができる。多くの派遣留学先には日本語学科があり、そこに在籍する学生との交流が行われる。日本語学科に所属する学生は、日頃から日本語を話す機会が少なく、日本人学生と交流を望むことから、言語の個人交換授業を行ったり、日常の世話をしてくれたり、交流が活発に行われている。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	英語圏協定校への留学後、TOEFLやTOEICを受験する学生が多く、全員が留学前よりもかなり高い点数を取得している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター 事務室
316	西南学院大学	私	海外派遣留学生制度	協定大学への留学を体験する。	6か月以上～1年未満	留学	不問	プログラムに参加することに対する単位認定ではなく、派遣先大学で取得した単位を換算することができる。	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	事後アンケートで効果を検証している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際センター事務室
317	西南女学院大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	人文学部の1・2年生を対象とした自由参加型のプログラムである。参加者は、学部・学科の教育目的及び教育目標に掲げた内容を理解した上で、1年間、あるいは2年間の学習成果が体験できる。研修期間は約1ヶ月で、研修先は英国、カナダ、ニュージーランドなどの大学(本学協定校)の中から毎年1校を選び、実施している。参加者は午前中、大学で英語学習に励み、午後はフィールドトリップなどをとおしてさまざまな体験をする。滞在期間中はホームステイをしながら、英語でコミュニケーションをとることで、貴重な異文化体験が身につく。研修終了後は、受け入れ大学の成績評価に応じて、本学の科目の単位(2単位)が認定される。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	1・2年生に対しては、授業外個別学習プログラムとして、多読を強く推進している。その学習過程は読んだ語数がコンピュータに記録されるシステムになっている。一般的には、海外で語学研修を体験した学生は、積極的に取り組む傾向がみられる。加えて、英会話関連授業における受講姿勢にもモチベーションが高くなる傾向がある。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 大学がJCSOS緊急自己支援システム加入費用を負担	人文学部教育支援室
318	日本経済大学	私	ROSE	イギリスのオックスフォード、ケンブリッジ大学で語学研修を受け、両大学寮に滞在し、現地の文化等を体験する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際部
319	中村学園大学	私	流通科学部海外留学スカラーシップ制度	語学研修、文化体験、文化調査、インターンシップ等	6か月以上～1年未満	留学	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	帰国後1ヶ月以内に提出する「海外留学スカラーシップ報告書」からの満足度が高かった。語学検定上級の合格およびTOEIC点数のアップ。	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学部・大学院事務室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	主体性	柔軟性			
320	福岡大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(語学研修)	イギリスの協定校が準備する語学研修プログラム(English and Culture course)を4週間受講する。初日に自分のレベル診断テストを受験し、自分に合ったレベルのクラスで世界各国の留学生と共に授業を受ける。また、異文化を体験することで、国際的視野を持つことを目的とする。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力	学問への動機づけ	多文化理解	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	人文学部事務室
321	福岡大学	私	海外の協定校への派遣プログラム(交換留学)	海外の大学との協定に基づいて協定校から学生を受け入れると同時に、本学の学生を学籍上「在学」の扱いで協定校に派遣する。派遣学生には本学より留学奨励金が助成され、留学先大学での授業料も免除される。また、留学先大学で履修した授業科目は本学の授業科目として単位認定の対象となる。留学先では本学での専攻分野に関連のある科目を受講するので、授業内容を理解できるだけの語学力と学力が必要である。現地の学生と一緒に授業を受けると共に、世界中の留学生と交流することができ、異文化理解、国際的な視野を育む絶好の機会にもなる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	50名以上100名未満	語学力	主体性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際センター事務室
322	活水女子大学	私	イギリスの協定校への語学研修プログラム	1. 語学研修やイギリスの暮らしと文化についてのフィールドワークの授業を受ける。2. ホームステイを体験し、ホストファミリーを通じてイギリス文化や生きた英語を学ぶ。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力	主体性	柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学生生活支援課 国際交流・留学センター
323	長崎ウエスレヤン大学	私	交換留学	留学先の言語習得を第一とし、文化や伝統などを学んでいる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力	自己管理能力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教育企画課
324	九州ルーテル学院大学	私	海外留学Ⅰ	語学学習、学部の授業を聴講、文化体験(韓国料理作り、テコンドー、民俗村見学など)	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力	主体性	柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	グローバルセンター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
325	九州ルーテル学院大学	私	海外留学II	ホームステイ、語学学習、文化体験(オーストラリアの各種伝統行事に参加)	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 柔軟性	TOEIC	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 民間企業の給付型奨学金を利用	グローバルセンター
326	尚綱大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	短期語学留学では、中国語以外に、週末以外はすべて交流プログラムが組まれ、語学の実践力アップと異文化理解力の向上を目指している。交換留学では、正規の授業にも参加し、また、学生寮での共同生活等によって語学力アップとともに、深い異文化理解につなげることを目的としている。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 忍耐力 学問への動機づけ	交換留学においては、漢語水平考試(HSK)5級に2名合格し、短期語学留学においては、中国語検定試験4級に全員合格した。	現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	教務課(楡木キャンパス)
327	立命館アジア太平洋大学	私	海外協定校への派遣プログラム	100を超える海外協定校に半年または1年間学生を交換留学生として派遣する。留学期間中、派遣学生は正規科目を現地学生と一緒に履修し、専門分野に関する知識を身に着けることができる。派遣先大学では、国・地域にかかわらず授業は英語で提供される。派遣地域によっては英語と現地の母語を習得することが可能となる。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	100名以上200名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	アカデミックオフィス
328	立命館アジア太平洋大学	私	言語イメージングプログラム	5週間の短期留学プログラム。主に語学力向上を目指す学生が参加をする。協定大学の中にある施設で英語学習を中心とした授業を受講し、大学内の学生寮、またはホームステイ先に滞在する。座学だけでなく、サービスマーケティングやボランティア活動も組みこまれ、参加学生は学んだ語学を実際の社会の中で使いながら、生きた英語を習得することが可能となる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 学問への動機づけ	言語担当教員による事前・事後のテストを実施。エッセイやインタビューテストを行い、言語運用能力についての伸びを見ることが目的。結果については、事後では、事前から比べて参加者平均約14点の伸び(100点満点中)が見られた。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	アカデミックオフィス
329	九州保健福祉大学	私	ハワイ大学ヒロ校留学プログラム	英語の能力によって、学部の授業や英語の専門教育を1学期間受講し、終了後1か月間のインターンシップに参加している。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学関連の奨学金制度を設けている	学生課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
330	宮崎国際大学	私	海外研修	研修先大学の英語集中課程に所属し、英語の勉強をする一方、本学が課す課題(ポートフォリオ(英語、自由研究、地域研究というセクション毎に分かれたエッセイ、研究レポート等をまとめたファイル))を作成する課程で、各海外地域についての理解、見識を拡げる。また、大学によってはサービスマン(ボランティア活動)を必修としているため、学生は社会貢献活動を通し、地域、住民に係ること他国のことを学ぶ。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題発見力 学問への動機づけ	英語力の伸長度をTOEICテストを使って測定している。例えば平成22年を例に取ると、海外研修前の学生の平均点は464.4点であったが、戻ってからの平均点は580.9点となり、116.5点伸びている。また、卒業時に実施される満足度調査では、海外研修が大変良かった、素晴らしい良かった、を合わせ、常に80%以上の学生が満足していることがわかっている。	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等) 専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際教育部
331	宮崎国際大学	私	セメスター交換留学制度	現地の言語(韓国語)を学ぶとともに、その地域(国)に係る教科を学ぶことで、その国に対する理解を深める。また、他国からの留学生と共に学ぶことで、多くの他国に対する理解を深めることもできる。履修科目は英語で行われ、また、クラスメート、寮生とのコミュニケーションは英語を使用することになるため、英語力も向上する。	3か月以上～6か月未満	留学	3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際教育部
332	鹿児島国際大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学から帰国した学生のアンケートや報告によれば、次のようなことが体験できたと思われる。・海外協定校への派遣留学を通して留学先の語学力がアップし、異文化体験ができたと思われる。海外で一人で生活するため、違う考え方を学び、現地の人々と交流を回り、人間として大きく成長できる。また、今までの自分を見つめることができ、将来の自分についてより具体的なビジョンを持ち、次の学習や就職にプラスの働きがある。・本学のプログラムは学生に海外での語学の勉強だけでなく、自分の専攻にもチャレンジするよう動いている。多くの海外協定校では語学がある程度できたら正規授業も受けられる。	3か月以上～6か月未満	留学	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 留学期間中に協定校と連携を取りながらサポートする。	学生課(国際交流支援室)
333	志学館大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	現地言語力の向上。地域限定で、日本語教育チューデントトレーニーとして日本語教師として従事することも出来る。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている	学務課
334	沖縄国際大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	事前学習や現地での生活を通して、留学先国・地域の歴史や文化等に関する理解を深める。日本での語学教育を受けた上で、当該言語を母語とする国・地域での語学研修を受けるため、学習法の幅が拡がり、モチベーションや語学力がアップする。また、現地の人や様々な国からの留学生との出会いや交流を通して、言語・文化の多様性に触れ、自己アイデンティティの確立と他者への受容性に意識を向けられるようになる。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 奨学金給付、留学先大学の授業料免除、留学先での宿舎確保	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
335	尚綱学院大学	私	海外の協定校への派遣	協定を結んだ大学への留学を行い、語学、他国の社会環境等の吸収をし、さらに留学している他国の学生との交流を深める。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	総務課
336	清泉女学院大学	私	漢陽女子大学セメスター留学	韓国ソウルの漢陽女子大学と姉妹校提携を結び、半年、または1年間、毎年本学から数名が留学へ行っている。国際語学センターへ所属し、基礎的な韓国語を勉強しながら、大学でも文化体験の授業に参加している。学生は留学先では生活も含めて自分で主体的に行動することが求められ、主体性、自己管理能力等が養われる。語学力を含めて帰国後はかなりの成長がみられる。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	留学期間中の本学授業料等の半額を免除する。	学生支援課
337	畿央大学	私	短期語学留学	協力大学でセミナー、語学レッスン等を受講する。宿泊は、ホームステイを基本とし、現地での生活体験をする。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生支援部
338	横浜薬科大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本プログラムは、提携校である台湾にある中国医薬科大学に1か月間留学します。大学においては中国語の語学研修や台湾人学生と一緒に英語・体育・書道などの授業も受講できます。また、台湾の文化や風習を知ることができます。3日間ではあるがホームステイもあり、充実したプログラムとなっています。目国を出ることにより様々なことが見えてくるようになり、豊かな視野と国際感覚を身につけることができます。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	プログラムの紹介	都築学園グループ窓口(日本薬科大学教学グループ)
339	環太平洋大学	私	海外姉妹大学への留学	英語で行われる英語の授業、世界20カ国以上の国から集まる留学生との交流、各種学内イベントの企画、運営、赤十字やガン患者のための慈善事業参加などのボランティア活動、地元の学校を訪問しての文化交流、ホームステイ、アウトドア活動など多種多様で、日本ではなかなか出来ない活動	6か月以上～1年未満	留学	1、2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	TOEICを定期的実施し、200点から300点の得点向上が見られた	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										語学力	柔軟性	学問への動機づけ			
340	三育学院大学	私	夏季海外研修	米国の最先端の看護技術や設備を見学、体験できる。ホームステイを通して、異文化の体験ができる。英語の授業を通して、語学力の向上ができる。	1か月以上～2か月未満	留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力	柔軟性	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部
341	松山大学	私	国内の協定校への単位互換プログラム	この制度は本学に在籍したまま、他の大学で一定期間学ぶことができる制度です。協定校での留学期間は半年もしくは1年で、修得した単位のうち、本学の卒業単位として認められるものもあります。すでに多くの学生がこの制度を利用しており、お互いに当大学では味わえない環境のなかで、学習に意欲をもって励んでいます。また、違う環境の中で、自分を見つけ直し、新たな気づきや発見を促す機会となっている。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	問題発見力	チームワーク、リーダーシップ	主体性	事後のアンケートを実施。満足度は高い結果が出ている。	大学が学費を負担している	教務部教務課
342	名城大学	公	国内交流単位互換協定に基づく留学	本学では開講していない科目を体験する。また、沖縄では体験できない生活観を経験する。	6か月以上～1年未満	留学	2、3、4年	認定される	定めていない	問題発見力	問題解決力	自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している	教務部教務課
343	清泉女学院大学	私	清泉女子大学姉妹校留学制度・上智大学交流学生制度	清泉女子大学は平成17年度から、上智大学は平成22年度からそれぞれお互いに1年間国内留学生を受け入れる提携を結び、本学からは毎年各大学へ1名の学生が留学している。地元の長野を離れ東京で一人暮らしをすることとなり、主体性、自己管理能力が養われる。また、留学先の学部学科によりいろいろな勉強ができると同時に、留学先大学で熱心な学生達の影響を受け、自らの勉学への意欲が向上するという効果がある。また、学生によっては本学では取得できない「図書館司書」や「学芸員」の資格をとるための単位を修得してくる場合がある。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	1名以上10名未満	自己管理能力	主体性	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	国内留学先での授業料等は本学と同額。留学中の単位を認めるため1年間留学しても本学を4年で卒業できる。	学生支援課
344	鳥取大学	国	メキシコ海外実践教育プログラム	メキシコにある二つの本学の協定校において、語学と講義及びフィールドワークを融合させた教育実践カリキュラムを展開し、国際的に活躍出来る人材を育成する。本プログラムでは、本学のこれまでの教育研究上の蓄積を活用・発展させ学際的・実践的教育を展開し、人間力を備えた国際的に通用する人材育成を教育目標とする。学生は正課において専門的語学、学際的講義及び実践的フィールドワークに取り組み、正課外においても学生相互及び現地の人々と積極的に協働し、本プログラムの教育目標の達成を目指すこととする。また一ヶ月間メキシコ家庭にホームステイをすることによりメキシコの文化や生活習慣にも直接触れる機会を提供する。	3か月以上～6か月未満	フィールドワーク	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力	問題解決力	主体性	数値で客観的に示す為のアンケート調査を実施して、回答をとりまとめている	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	グローバル人材育成推進室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
345	高知大学	国	インドネシアと日本の農山漁村で展開するサービスラーニングプログラム	インドネシアの農村に現地学生と共に滞在し、その村の問題点の掘り起こしと、解決に向けた活動を行う。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題発見力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	高知大学農学部学務課
346	琉球大学	国	岸本奨学基金:工学部東南アジア派遣奨学生	本奨学生制度は、(株)エヌ・テック・システムズ代表取締役岸本政善氏の寄附により工学部に設立された。その趣旨は、若い人材の東南アジアへの視野を拡大し、将来、同地域においてリーダーシップを発揮する有能なエンジニアの育成を目的としている。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題発見力 専門的な知識	学生の課題やテーマに関連した成果等を記載した報告書を提出させ、報告会を行っている。	大学が一部費用を負担している	琉球大学工学部
347	茨城県立医療大学	公			1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定される	平成25年度より開始	チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している	
348	福岡女子大学	公	フィールドスタディ スリランカ・Exploring™ Development™	「国際開発」を探究することをテーマとし、NGO・国際協力機構(JICA)・青年海外協力隊・世界銀行スリランカ事務所・在スリランカ日本大使館等で勤務する実務者との対話・協働や、それらについての日々のふりかえりを通し、学生が自らの生き方や働き方について考える。また、紅茶プランテーションでのタミル人労働者との交流・幼稚園建設、ペラデニア大学での学生や教員との交流、先住民族ヴェンタの居住区域における井戸掘り等を通しての対話・交流等により、「アイデンティティ」や「価値観」を見つめ直し、学ぶだけでなく、学生自らの役割について模索・探求し、帰国後、学んだことをもとに何らかの「アクション」を起こすことを求めている。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 主体性	発展学習の際、学生自身が学習目標及び評価指標、配点を定めたものに従って、自己・他者評価を実施し、目標遂行力の改善の必要性に気づいた。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務部教務企画班
349	宮崎県立看護大学	公	学生短期研修プログラム	現地での生活体験 現地での看護体験 様々な世代との交流	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	1、2、3、4年	認定されない	定めていない	語学力 問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	総務

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
350	聖学院大学	私	児童学科児童学海外研修(オーストラリア・フレインダース大学)	フレインダース大学の附属施設で、オーストラリアの保育、初等教育の考え方を講義や小学校やチャイルドケアセンターでの訪問、実習を通して学ぶことができる。なお、25年度参加人数は、11名。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流課
351	恵泉女学園大学	私	フィールドスタディ	実体験学習を通して、問題意識を高めつつ課題を設定し取り組みながら、現地の人々との交流を深めていくことで人間的に豊かな成長を得る。	3か月以上～6か月未満	フィールドワーク	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	問題発見力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている	教務課
352	名古屋商科大学	私	Gap Year Program	例年4月に事前研修として計画書の作成、英語指導、生活指導などを行い、4月下旬に出発。パリにてツアーウィークに参加して、海外の雰囲気慣れる。その後、ヨーロッパ各地(「渡航可能国」参照)で2ヶ月をかけて調査、ボランティア活動、企業訪問など各自の計画に従って生活。7月に帰国し、事後研修と報告書の作成などを行う。	2か月以上～3か月未満	フィールドワーク	1、2年	認定される	10名以上50名未満	自己管理能力 主体性 国際的な視野の獲得	プログラム修了者は本学における他の留学プログラムへの参加度が高い。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している 危機管理のため期間中に職員を現地に駐在させている。	学生支援部門国際交流担当
353	京都外国語大学	私	TECSOL & J-SHINE(小学校英語指導者資格)	小学校英語指導者としての必要な知識と実践的スキルの修得	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	企業、NPO等の外部支援機関に委託している	教務部
354	広島経済大学	私	興動館プロジェクト(インドネシア国際貢献プロジェクト、カンボジア国際交流プロジェクト)	インドネシア国際貢献プロジェクトは貧困地域の伝統工芸品を使用した新商品を現地の企業と共に開発したり、現地の雑貨を買い付けて日本で販売するビジネス活動を行っている。カンボジア国際交流プロジェクトは戦後70年になるとうる広島の復興プロセスを記した副読本を製作し、副読本を使った授業を現地の教員や学生たちと行うことで子ども達に、将来に夢や希望を持ってもらえるための活動を行っている。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定されない	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	社会人基礎力の12の要素の伸長度をはかるプログレスシートの記入を実施している。プログラム前後において比較しており概ね事前を上回る評価結果となっている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	興動館

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
355	四国学院大学	私	外国事情(米国)	米国において、集中語学研修を通しての語学力向上、ホームステイや文化研修を通して米国に対する多面的関心を深め見識を広げることを体験する。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	1, 2, 3, 4年	認定される	定めていない	語学力 問題発見力 問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	総合教育研究センター事務課
356	東京医科歯科大学	国	プロジェクト・セメスター	興味を持った研究分野に集中的に学ぶことにより、科学的視点を有する医師としての基盤を形成する。学内の研究室以外の国内外の他の連携大学、研究施設で研究・研修をする。	3か月以上～6か月未満	フィールドワーク	4年	認定される	50名以上100名未満	問題発見力 問題解決力	事後にアンケートを実施し、「教育目的からみたプロジェクト・セメスターの妥当性を評価」する項目に「普通」以上と評価している学生は、過去5年で85%以上である。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務部教務課医学教務掛
357	佐賀大学	国	建築・都市デザイン特別講義(まちなか再生プロジェクト)	佐賀市、鹿島市、唐津市、嬉野市、小城市やNPO団体と連携し、まちなか再生に関わるプロジェクトに参画させ、実体験や企画提案を通じて、地域の問題などを学習し、学問に対する関心を高めさせる。例えば、学生自らが住むまちなか居住施設の企画計画に参加し、自分の居室の計画を行ったり、その工事現場で現場体験したり、自らできる工事に取り組み、地域住民とも交流を行う。また、まちなか活性化のためのライトファンタジーの企画計画を行い、設営の実験も行う。これによって、講義や単なる設計演習では知ることができない知識や技術を体験的に学ばせる。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	1, 2, 3, 4年	認定される	10名以上50名未満	チームワーク、リーダーシップ 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	保険を紹介している	工学系研究科
358	松本大学	私	企業・自治体等と連携して高齢者を対象とした運動指導による健康づくり	企業で働く方々や市民を対象として、それぞれの体力や体調に合わせた運動処方を提示している。その処方に従った運動を継続することにより、BMI、血糖値などの各種指標がどの様に改善されているかを観察しながら、健康増進を図っている。学生はこうしたプロセスを経験することにより、講義等で学んだ知識や技術に磨きを掛け、社会へ出たときの即戦力としての指導能力を高めている。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	3, 4年	認定される	10名以上50名未満	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	GPAの年次変化をみており、学びへの意欲が上っていると判断している	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	総務課
359	西九州大学	私	あすなろう体験Ⅲ(応用実践)	本プログラムは課題解決型学習(PBL)を実施するものであり、市民社会組織(CSO)と協働して地域活性化や地域社会の課題に対して、学生が主体的に活動を行う。そのことにより、学生は地域社会の仕組みを理解し、社会貢献に対する真摯な姿勢や社会人に必要とされる自律的能力を獲得し、総合的な社会的知性を身に付けることができる。主な内容として、地域の生産者や企業等とプロジェクトチームを組み行う商品開発、市民主体のまちおこし事業への参画(イベントの企画・運営)等を行っている。	6か月以上～1年未満	フィールドワーク	1, 2年	認定される	定めていない	交渉力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	西九州大学 学生支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
360	関西学院大学	私	キャリアゼミB・C	キャリアゼミBは、協力企業から与えられる経営課題にチームで取り組むプロジェクト型のプログラムである。企業の課題解決には、世界情勢や社会の仕組み、企業の特徴を理解すること、メンバーで協力して情報収集や分析を行うこと、様々な情報を統合してプレゼンテーションにまとめあげることなどが必要となる。これらの活動を通して、社会で活躍するために必要なスキルや考え方を学ぶことを目的とする。課題発表の後、各グループでリサーチ等を行い、中盤では講師との個別相談会で現状報告、課題の洗い出しを行う。最後は東京で2泊3日の合宿を行い、協賛企業への最終リサーチ、先輩からのアドバイスを元に、発表会を行って締めくくる。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	1年	認定される	10名以上50名未満	問題発見力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	事後アンケートで満足度が高かった。	現地派遣の前に研修等を行っている	キャリアセンター
361	福島大学	国	Intensive Oral Communication II	生きたビジネス英語を学ぶ。個人およびグループの目標を設定し、海外の企業でインターンシップを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4、5、6年	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	教務課
362	埼玉大学	国	グローバルキャリア開発特別プログラム	大学教員による講義、関連組織での実習(インターンシップ)、民間、政府、非営利各セクターの専門家やリーダーと会って、一連のイベントに参加することが義務付けられている。また、参加期間中に市民活動プロジェクトをひとつ完了することが課される。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	教養学部学務係
363	千葉大学	国	スキップワイスプログラム グローバルインターンシップ	海外の日系企業において、多文化の中でコミュニケーションを必要とする就業体験を行う	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4、5、6年	認定される	定めていない	自己管理能力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	学務部教育企画課 グローバルリソース
364	東京海洋大学	国	海外派遣キャリア演習	本実習では日本との経済関係が密接な国々に滞在させ、滞在国の産業や暮らしを体験し帰国後レポートの提出を義務づけています。少なくとも1か月間単身で滞在し、異文化に触れていく中でタフで実学の世界で活躍するグローバル人材の育成を図っています。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 異文化理解・適応力	事後の報告書での満足度が高かった	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 海外留学生安全対策協議会に大学として加盟	学務部教務課教務係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
365	電気通信大学	国	海外インターンシップ	本プログラムは、キャリア実践教育の一環として海外大学・企業・団体の協力を得て行う就業体験であり、同時にグローバル人材育成も兼ねる。学生の主体的な意思に基づき、海外のグローバル企業での実務型研修を通して、グローバルな舞台でICT産業振興に向けて積極的に課題を発掘し、挑戦し、活躍できる若手高度人材を育成する。併せて派遣大学及び派遣企業の指導者と派遣学生の研修テーマの整合や専門知識の予備教育を行い、更に派遣先国の歴史・文化・言語・地誌等の事前学習や現地で体験を通じて、海外企業での研修効果の向上を図る。これら体験を通じて海外における職業観や勉学の重要性などを認識し、将来の進路決定に役立たせる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	派遣学生についてアンケートを実施し、満足度が高いことを確認している。また、海外派遣学生全員にプレゼンテーションを義務づけることで、海外インターンシップの目的・成果・反省・達成度などを明確化させている。派遣先機関からは派遣終了時にインターンシップ学生の評価及び意見要望事項を回収し、次年度計画へ反映している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	キャリア教育部会インターンシップ推進室
366	一橋大学	国	短期海外研修(スペイン企業派遣)	短期海外研修(スペイン企業派遣)は、春季休業期間(5週間)にスペイン・Berge社にてグループスタディ形式で異文化に触れ、社員研修、実習(インターン)、日西韓文化交流に参加する。(参加者は日本人学生6名+韓国学生4名)。プログラムを通じて視野を広げ、文化の違いを越えて協働する力を蓄え、アウェー実力を発揮できる自信を体得することを学習目標とする。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	1名以上10名未満	地域社会への貢献、アウェーで実力を発揮できる自信 チームワーク、リーダーシップ	効果の評価ツールを開発している初期段階だが、自らの「自信」を測定するツールにてPre-Post-の比較を行った。結果、留学前に比べ、留学後の自信度が下がるという結果がでた。単純に留学にいかば自信がつかないわけではなく、中にはチャレンジ>サポートの環境に身を置くことで、自信、能力が低下する可能性もあるのではないか。(サッカーや野球など、アスリートの海外リーグへの挑戦例など)	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	学務部国際課派遣担当
367	愛知教育大学	国	海外日本語教育インターン派遣プログラム	派遣先大学の日本語教師の指導の下、授業の指導案作成や教材の準備、模擬授業実習を行うとともに、他の大学における日本語の授業見学等を行う。また、現地の学生との授業外での交流活動のほか、日本語キャンプにより、現地の高校生との交流も実施する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	1名以上10名未満	専門的な知識 学問への動機づけ	実施後の報告書により、自己評価をさせているがほとんどの学生がプログラムに満足し、その後の自身の学習への意欲向上につながっている。また、このプログラムの体験者で卒業後に海外の日本語教師の仕事に就いた者もいる。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 国際交流基金による「海外日本語教育インターン派遣プログラム」に申請し採択されている。	愛知教育大学教育創造開発機構運営課
368	鹿児島大学	国	海外短期留学	サンノゼの日系企業でインターンシップを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	法文学部
369	鹿児島大学	国	国際プロフェッショナル養成プログラムinカリフォルニア	本プログラムは、将来国際的な場で活躍できる研究者、技術者、医師、教育者、起業家、弁護士、会計士など国際的プロフェッショナル養成のためのプログラムで、プログラム参加者はカリフォルニア州サンノゼ市近郊の企業や教育機関にインターンシップを行う。また、米国の大学や研究所、ベンチャー企業を訪問し異なる文化や価値観に触れる。現地で活躍する起業家やコンサルタントによる講演会、研究者や技術者とのディスカッションを行い、国際的な広い視野と専門知識の習得を目的とする。さらに、現地大学にて、フォーラムを開催し、英語によるプレゼンテーションを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	単位認定は、学生が所属する学部の決定	10名以上50名未満	専門的な知識 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 大学が、学生の海外旅行保険の加入手続き、全学費用を負担している。	研究国際部国際事業課

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
370	首都大学東京	公	マレーシア春期短期語学研修 インターンシップ付プログラム	渡航前の事前研修、海外大学での短期集中的な英語コースの受講(42週間)、オプションプログラムとしてのインターンシップへの参加(2週間)、帰国後の事後研修まで、総合的に英語学習を行い、インターンシップ先の企業では海外での就業体験を得るプログラムである。語学研修先では、各自の英語力に応じた英語コースを受講し、各国から参加する様々な国籍の大学生と共に勉強する。インターンシップ先では、理系の学生は工場内の業務あるいは技術系、情報系の一部の業務、また文系の学生は人事・総務部門での業務に参加する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	平成25年度より開始	語学力 主体性 状況把握力	事前及び事後に英語力測定試験を実施し、英語力伸長度の効果測定を行うこととしているが、平成25年度からの新たなプログラムであるため、まだ結果は出ていない。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際センター事務局
371	横浜国立大学	公	ディズニー・バレンシア国際カレッジプログラム	米国フロリダ州オーランド市にあるバレンシア大学の科目を履修しながら同市のWDWでの就業体験(実習)を行うプログラム。派遣中、学生はWDW実習生専用の寮で他国からの実習生と共同生活をします。寮内に教室が完備され、ウォルト・ディズニー・カンパニーとバレンシア大学による授業を週約8時間受講し、WDWで週37時間程(時期により異なる)の就業体験(実習)を行うプログラムです。本プログラムは、ウォルト・ディズニー・カンパニーと提携している米国の大学とMOU(覚書)を結んだ米国以外の大学に在籍中の学生が対象となる、限られたプログラムです。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	認定される	平成25年度より開始	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	キャリア支援課
372	名古屋市立大学	公	国連食料農業機関(FAO)インターンシップ	◎国連食糧農業機関(FAO)インターンシップとは、国連関連機関で働くことのできる、インターンシッププログラム。派遣部署や派遣時期、派遣期間に関しては、先方機関との調整により決定される。また、渡航費や滞在費の補助を行っている。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	事務局学生課国際交流係
373	神戸市外国語大学	公	香港インターンシップ派遣プログラム	商品の仕入れから店頭に至る業務プロセスを体験する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	事後アンケートで満足度が高かった。	大学が一部費用を負担している	キャリアサポートセンター
374	広島市立大学	公	広島東洋カープアカデミー企業インターンシップ	広島東洋カープがドミニカ共和国に設置している「広島東洋カープアカデミー」という若手の選手を育成する訓練センターにおいて、同センターの事務処理のほか、現地従業員の識字教育、日本語教育等の企業体験をする。併せて、現地の大学、小中学校との交流や日系移民の方との交流を通じて、発展途上国の文化に触れる。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	2、3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 柔軟性	満足度等、数値等で客観的に効果を測定できるデータは含まれていないが、プログラムに参加した学生に報告書の提出を求め、プログラム実施の効果や意見等を徴収している。	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	広島市立大学国際学部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
375	高知工科大学	公	海外インターンシッププログラム	海外インターンシッププログラムは、海外の国際交流協定締結校における1週間の文化(語学)研修と、日系企業の海外支店や工場で実施する3週間の企業実習(インターンシップ)で構成されている。また、プログラム参加者は実習に先立ち、大学が定める事前研修(語、海外生活の心得、危機管理、ビジネスマナー等)を受講する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	認定される	平成25年度より開始	語学力 問題発見力 異文化適応力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 保険を一部負担している	学生支援部就職支援課
376	東北福祉大学	私	ベトナムインターンシッププログラム	本プログラムは、ベトナムにおいて事業展開する日系企業等でのインターンシップと、本学と交流協定を結んでいるベトナムの大学の学生との交流機会(ワークショップ)を体験するものである。事業所でのインターンシップにおいては、受入れ事業所と本学で調整の上、デザインされたプログラムに基づいて実践的な研修を行っている。併せて、現地ベトナムの大学の学生とのワークショップを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	問題発見力 問題解決力	15の評価項目で構成される評価シートを用い、インターンシップ派遣前、派遣後それぞれについて、自己評価と担当教員評価を行い、効果測定を行った。総じて大学における学びへの意欲が向上する結果を得た。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 日本学生支援機構 留学生支援制度(短期派遣)	キャリアセンター
377	獨協大学	私	ドイツにおけるインターンシップ・プログラム	まずインターンシップ実施に先立ち関連する演習科目を本学で受講後、ドイツに渡って1週間の事前研修を経てから、6週間のインターンシップを体験する。ドイツの企業や機関で働く際のマナーや心構えを習得し、海外で働くために必要な精神的逞しさを育て、更に現地の人々との人間的交流を通して異文化への理解を深める。ホームステイを組み込まれており、生活も仕事もすべてドイツ語漬けの毎日を送る。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定されない	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	獨協大学ドイツ語学科
378	麗澤大学	私	英語圏・ドイツ語圏インターンシップ	英語圏またはドイツ語圏にて動物保護、環境保護、児童プログラム、コミュニティサポート等を体験する。プログラムによってはホームステイするものもあり、自主性、コミュニケーション能力が高められるプログラムとなっている。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学務部教務グループ
379	国際基督教大学	私	アメリカ国立公園インターンシップ	アラスカやサンフランシスコなどの国立公園で、6月末～8月末の2ヶ月間、観光案内所でのガイドや、実地調査などの活動に従事する。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	帰国後に参加報告書の提出とミーティングへの参加を義務づけ、担当教員と職員に対し、各自の体験を報告してもらう。それぞれ、派遣先で唯一の日本人インターンとして業務をこなし、英語力、主体性、強調性をのばしてきたことが確認できた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	国際教育交流グループ

プログラム 番号	大学名	学校 区分	プログラム 名称	プログラム 内容	派遣 日数	プロ グラ ムの 種 類	対 象 学 年	単 位 認 定 さ れ る か	プロ グラ ム の 定 員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題 発 見 力	問 題 解 決 力	グ ロ ー バ ル 人 間 力 、 コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン 力			
380	芝浦工業大学	私	海外インターンシッププログラム	主に日系企業の海外店所・工場を中心とした海外の企業で、学生が自分の専門分野に応じた内容のインターンシップに取り組む。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	各学部での判断	10名以上50名未満	問題発見力	問題解決力	グローバル人間力、コミュニケーション力	事後アンケートでの満足度が高い	企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	国際部国際プログラム推進課
381	白百合女子大学	私	海外企業実地研修	「世界」を市場として活躍する日系企業を中心に、グローバル化・多国籍化する現場を視察し企業実習を行う。プログラム内では、現地の若手ビジネスマンとともにキャリアについて考えるフォーラムへの参加も義務づける。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2年	認定される	定めていない	語学力	主体性	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	グローバルビジネスプログラム支援センター
382	創価大学	私	海外インターンシップ	まず、大学付属の語学学校にて3週間に渡り、実践的なビジネス英語を学習する。その後各インターンシップ先に派遣され、各人で4週間のインターンシップに従事する。インターンシップ先は、学校や旅行者、公共施設や博物館、一般企業など多彩で、事前に学生から希望を聞き、英語力を鑑みてマッチングをしている。また、現地に滞在する7週間は各人がそれぞれのホームステイ先に宿泊することとなる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	問題発見力	問題解決力	チームワーク、リーダーシップ	事後アンケートにより、自身が事前に受けた意識調査と重ね合わせ、どのような学習効果があったのか、専門家に説明を交えてもらいながら、自身の変化を知ることができる。また、次の課題を自身で明確化する事により、目標設定をできる。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際部国際課
383	東海大学	私	タイ・SIAM大学ホスピタリティー研修	講義：①タイの歴史②タイ語の学習③タイ料理④ホスピタリティー⑤各宿泊先ホテルについて⑥現地機関・企業担当者より(日本大使館・日本学生支援機構・HISバンコク支店・東急ストアバンコク等)体験学習：タイ料理実習②フルツーカーピング実習③バンケット実習④タイ音楽・ダンス⑤医療⑥各宿泊先ホテル見学	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	10名以上50名未満	語学力	問題発見力	問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	湘南キャリア支援課
384	東海大学	私	ワシントンセンターインターンシップ	ワシントンセンターでのレクチャーを受けながら、様々な業種で就業体験を行う。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力	専門的な知識	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	国際部国際課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
385	東京慈恵会医科大学	私	選択実習	国外の医療機関・研究室では、日本国内の医療機関などは異なる環境にあるので、幅広い知識や物事の考え方を身につけることができる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	6年	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	国外で臨床実習を希望する学生には、英語の語学能力基準を設けている(TOEFL:ibt72以上、IELTS6.0以上)。これにより自己学習して基準をクリアする努力をしている。	国外で実習する学生10名に奨学金を支給している(選抜)	大学事務部学事課
386	東京理科大学	私	IAESTE 海外インターンシップ	国際組織であるIAESTEのプログラムに大学として参加し、広い国際的視野を有するエンジニアを養成することを目的に、海外の企業や研究機関等で参加学生の専門分野に特化した実習を行っている。派遣先は、IAESTE加盟国内にある企業または大学・研究所などの教育・研究機関である。滞在先は、引受機関の提示する条件により異なるが、原則として引受機関もしくは現地のイアエステ委員会が滞在先を斡旋する。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	帰国後に参加学生には全員、留学先での学習や研究についての研修報告書を提出してもらうが、参加者の満足度は高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	学務部国際交流課
387	武蔵大学	私	グローバルインターンシッププログラム	一定の基準を満たした学生が、オーストラリア・シドニーにおいて職業体験を行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	平成25年度より開始	語学力 問題発見力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	国際センター
388	立教大学	私	海外インターンシップ(Overseas Internship)	アメリカ合衆国シアトルでホームステイをしながら、セミナーとインターンシップとを体験する。本プログラムは、経営学部とシアトルの青少年リーダーシップ研修期間であるNPO法人ILEAPとで準備されたものである。セミナーはILEAPによって実施され、専門科目としても、英語力向上にも資する内容である。インターンシップは民間企業や非営利団体などで行われ、プログラム全体としてセミナーとの高い関連性を持ち、異文化環境における興味深い就労体験を学生に提供するものである。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	教務学部事務4課
389	神奈川大学	私	海外インターンシップ(1か月以上は欧米圏のみ)	欧米圏はすべてホームステイで文化・語学の習得をする。さらに実習先は原則1人での参加となり、派遣先は学校でのボランティアやレストラン、ホテルのフロント、ショップ店員、空港でのインフォメーションスタッフなど幅広い。参加した学生は派遣期間中は同業務を実施する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 奨学金制度	就職課

プログラム 番号	大学名	学校 区分	プログラム 名称	プログラム 内容	派遣 日数	プロ グラ ムの 種 類	対 象 学 年	単 位 認 定 さ れ る か	プロ グラ ム の 定 員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										自己 管理 力	主 体 性	柔 軟 性			
390	名古屋学芸大学	私	名古屋学芸大学 ヒューマンケア学 部オーストラリア研 修プログラム	オーストラリア(ブリスベン)のチャイルドケアセンター(保育施設)でのインターンシップを主たる目的とするが、ホームステイを通しての異文化体験、小学校視察等も行う。	1カ 月 以 上 ～ 2カ 月 未 満	イン タ ー ン シ ッ プ	不 問	認 定 さ れ る	10名以上50 名未満	自 己 管 理 力	主 体 性	柔 軟 性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等 を行っている 大学が一部費用を負担 している 保険を紹介している	ヒューマンケア学部 子どもケア学科(学 科長)
391	藤田保健衛生大学	私	CM- E(Comprehensiv e Medicine- Elective)	これまでに学んできた学習内容を踏まえて、医療分野の実際を体験する。	1カ 月 以 上 ～ 2カ 月 未 満	イン タ ー ン シ ッ プ	6 年	認 定 さ れ る	50名以上 100名未満	専 門 的 な 知 識	学 問 へ の 動 機 づ け	国 際 性	実施後、報告書を提出させている。そこでの報告では満足は極めて高い。	大学が一部費用を負担 している	医学部事務部学務 課
392	京都外国語大学	私	夏期海外インター ンシップ(メキシコ)	メキシコ合衆国グアダハラ市にある日系企業で①食品卸・小売業での販売業務・事務作業補助②プラスチック製品製造・販売・輸入業での事務作業補助③日本食レストランでの接客業務④レストランでの接客業務のいずれか1か所を学生が選択し、スペイン語の語学レベルを考慮して大学が実習(配属)先を決め、2回のオリエンテーションと2日の事前学習を受けたのち事前レポートを提出する。そして4週間から5週間現地研修を受け、一日の事後学習を踏まえ最終レポートを提出する。	1カ 月 以 上 ～ 2カ 月 未 満	イン タ ー ン シ ッ プ	2、 3、 4 年	認 定 さ れ る	1名以上10 名未満	語 学 力	忍 耐 力	専 門 的 な 知 識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等 を行っている 現地派遣の後に研修等 を行っている	キャリアセンター
393	京都学園大学	私	グローバル・イン ターンシップ・プロ グラム	中国上海での長期インターンシップを実施することにより、語学力の向上、異文化理解、東アジア経済事情、他国でのビジネスの機会を体験する。	1カ 月 以 上 ～ 2カ 月 未 満	イン タ ー ン シ ッ プ	3、 4 年	認 定 さ れ る	平成25年度 より開始	語 学 力	主 体 性	学 問 へ の 動 機 づ け	自己セルフチェックによる測定により、概ね参加前より成長度が伸長した。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等 を行っている 現地派遣の後に研修等 を行っている 大学が全額費用負担を している 保険を紹介している	教育開発センター
394	京都産業大学	私	海外の協力校へ の派遣プログラム	海外における日系企業等での実習体験とその事前と事後に学内で授業を行う。事前授業では、ビジネスマナー、人権研修、インターンシップ実習における目標設定、意識づけ、異文化交流についてのディスカッション、プレゼンテーションなどを行った。実習体験は、各実習先(今年度は旅行業、高校、大学、建設業)で用意された実習プログラムを行う。ホームステイ等での生活を基盤に異文化に触れながら、語学を活かした実習体験を行う。事後授業では、実習体験の振り返り、成果を共有する。また、インターンシップ科目受講生全体で行う報告会で、国内のインターンシップ体験者の成果も共有する。	3カ 月 以 上 ～ 6カ 月 未 満	イン タ ー ン シ ッ プ	2、 3、 4 年	認 定 さ れ る	10名以上50 名未満	交 渉 力	自 己 管 理 力	主 体 性	プログラムとして、インターンシップ実習体験と事前・事後授業を行っている。事前授業後、事後授業後にプログラムに対する期待度、満足度、成果があったかについて、調査している。全員がプログラム参加に満足しており、自身の成長や語学の必要性を感じたなど、貴重な体験であったことがわかった。また、期待度の高かった働くことへの意識づけや進路選択のきっかけとなった学生が多かった。	現地派遣の前に研修等 を行っている 現地派遣の後に研修等 を行っている 大学が一部費用を負担 している	共通教育推進機構 (キャリア教育担当)

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
395	追手門学院大学	私	ディズニー・国際カレッジプログラム at Rollins College	世界各国から集まる学生と、学ぶ、クラス、を実現しながら、国際ビジネスの真髄を実践と理論の両面から習得することを目指すプログラムです。世界でも定評のあるディズニーでの国際インターンシップと米国大学でのキャンパスライフの両立を体験できるのが大きな魅力です。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	1, 2, 3年	認定する方向で検討中	平成25年度より開始	チームワーク、リーダーシップ 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	該当項目なし	法人事務局総務課
396	関西大学	私	国際インターンシッププログラム	本プログラムでは海外での実習をより多き成果とするため事前及び事後の研修受講を必須としている。実際の実習ではメーカーや広告代理店、サービス業など様々な業種の日系企業または現地企業において、各企業から設定された課題を探索するとともに一般社員と同様の仕事を体験する。また、現地の本学校友をはじめとしたビジネスパーソンとの交流会等によってグローバル人材の意識高揚をはかるプログラムも組み込んでいる。さらに、実習期間中は業務内容を含め、課題への対応を報告する業務日誌作成を義務付けて自身を捉えることが可能となるようしている。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	10名以上50名未満	交渉力 問題発見力 問題解決力	国際インターンシップへの参加成果については、実習報告書や受入先の評価等によって厳正に評価しており、必ずしも定量的考課にのみ判定すべきものではないと考えています。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	キャリアセンター事務グループ
397	近畿大学	私	国際インターンシッププログラム	ビジネス研修、企業訪問、企業・学生とのフォーラム、3週間のインターンシップ	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 忍耐力	事前事後でTOEICスコアが58点アップした。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 海外リスク管理登録及び海外旅行保険加入を義務付け	キャリアセンター
398	阪南大学	私	海外インターンシップ(オーストラリア)	グローバル化する現在の社会情勢とニーズに対応できる能力とスキルを修得し、国際的な感性を養うことにあり、海外での生活や就職を視野に入れたライフプランを志向する学生にとって、その手がかりを提供するための実習科目で①action②thinking③teamworkの三つの能力を養っている。インターンシップはオーストラリア・シドニーにある数カ所の企業、団体で実施している。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3, 4年	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	数値等の調査は行っていないが、就職への意欲はあがっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	教務部教務課
399	神戸女学院大学	私	KCC/KC海外インターンシップ	インターン先での体験は、派遣先とその仕事内容によるが、例年派遣している日米協会では電話対応のほか、翻訳、クレジットやキャッシュの決済、一般事務、イベント実施の補助等。日本庭園では接客、販売、案内、日本文化紹介等、小売店では接客、販売、商品の搬入やディスプレイ、倉庫管理、イベント準備等を経験する。宿泊も一般家庭でのホームステイなので、終日英語しか通じない環境に1か月置かれることで、英語でのコミュニケーション力、主体性、積極性、課題解決力なども身につけることができる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2, 3年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	キャリアセンター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
400	九州産業大学	私	KSU海外ジョブトレーニング	オーストラリアシドニーにて集中英語研修および現地企業へのインターンシップ。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 主体性	プレテスト、ポストテストにTOEIC IPを採用、点数の伸びをはかる。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	語学教育研究センター
401	熊本学園大学	私	海外インターンシップ	現地の企業、NPO法人、老人施設などで実際にスタッフの一員として働き、上司から毎日コメントや助言をもらいながら勤める。最終的には、職場から推薦状をもらえる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 状況把握力	帰国後、TOEICのスコアアップ、満足度が高くさらに海外への志向が強くなった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している 保険を大学で包括契約している	教務課
402	鹿児島純心女子大学	私	日本語教員アシスタントプログラム	オーストラリアのバース内の中等教育機関にて日本語を教える助手を務める。	6か月以上～1年未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 外部機関から補助金を受けている。派遣先の機関が一部費用を負担している。	学生支援課
403	畿央大学	私	海外インターンシップ	現地小学校、企業等でのインターンシップ。ホームステイ先での交流など。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学生支援部
404	滋賀県立大学	公	インターンシップ	ガイダンス、事前研修として「企業・団体研究」レポート作成、ビジネスマナー研修を受けた後に、就業体験を行う。就業体験期間中は、毎日、日誌を記録するとともに、現地に於いて仕事の指導を受ける。就業体験後、報告書を作成し、報告会で各自の体験について発表する。また、「仕事、働くこと」のテーマでグループディスカッションを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	50名以上100名未満	問題発見力 問題解決力 学問への動機づけ	PROGテストをインターンシップの就業体験前と就業体験後に実施した。その結果、リテラシー基礎力の情報収集力や言語処理力、非言語処理力が向上した。コンピテンシー基礎力では、課題発見力の伸びが大きかった。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学生・就職支援グループ

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
405	電気通信大学	国	長期インターンシップ(国内)	本プログラムは、キャリア実践教育の一環として、企業・団体の協力を得ながら、以下①～④の就業体験(実習)をする。①実社会に必要な知識や技術、職場・通勤での安全性、勤労の尊さ、コミュニケーションの重要性など体験する。②自己の職業適性や将来設計について深く考える契機とし、職業意識を高め、あるいは更なる勉学の重要性を認識する。③研究・開発・製造・生産・流通・サービス等の各分野で、常にイノベティブな活動が要望されていることを理解し、社会が必要とするニーズに柔軟に対応できる意思と能力を身につける。④チームワークの重要性や職業人としての自立の在り方を考え、将来の職業人としての心構えと抱負を養う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識 実社会に必要な知識の習得、学生生活での課題発見と勉学の方向の再認識	企業・団体での研修/実習終了後、派遣学生及び受入企業に対し、アンケート調査を実施している。両者からインターンシップに対し高い評価を受けている。また、派遣先から修了書を提出してもらい、研修/実習の内容・態度・成果・効果等を確認している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	キャリア教育部会インターンシップ推進室
406	横浜国立大学	国	経営学部インターンシップ	企業等で1ヶ月以上の業務を行う中長期・実践型のインターンシップを実施。受入先の選定は学生自身が行うため、業務内容は受入先により異なる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3、4年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	社会科学系経営学務係
407	新潟大学	国	テクノロジー・インターンシップ	企業での実務を体験する	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3、4年	認定される	定めていない	主体性 専門的な知識 学問への動機づけ	事後アンケートでの満足度が高かった	専門の支援機関・専門スタッフを設置している	工学部、工学力教育センター
408	岐阜大学	国	地域協働型インターンシップ	リサーチマーケティング・インターン:企業の新商品や新サービスのリサーチマーケティングに取り組むプログラム。販路開拓に向けたリサーチに留まらず、営業にまで挑戦できる。地域活性化プロジェクト・インターン:NPO法人やソーシャルビジネスの現場でのインターンプログラム。多様な大人が関わりながら地域課題に取り組む現場に関わることで、地域の課題や成り立ちを学び、実際に問題を解決していく力を養うことができる。目標設定と振り返りに力点を置いた充実した内容の事前・フォローアップ・事後研修を実施している。最終報告会はインターン受講生による企画・広報・運営にて開催している。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	10名以上50名未満	問題解決力 主体性 学問への動機づけ	2013年度前期学期の「学生による授業評価・アンケート」における「授業満足度」の平均値が5.00(5点満点)であった。つまり、「授業は教員による意図が良く理解でき、将来的に勉学意欲が喚起されたなど、総合的に満足していくものであった」という質問に対して、アンケート回答全員が「大変満足」という5点を付けている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	岐阜大学工学部
409	大阪教育大学	国	インターンシッププログラム	就業体験を通して、広い視野をもち自分のキャリアについて考え、主体的に職業選択をする力を身につけることを目的として、インターンシップへの参加を奨励しています。インターンシッププログラムに参加する学生は、民間企業や地方自治体等において、職業体験を行います。実習前には事前研修を行い、実習での目標を明確にし、社会マナー等も学習した上で実習に臨み、体験内容は実習先によって様々です。また、実習後には、事後研修を行い、インターンシップで得たものを大学生活で生かすことができるように支援しています。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	学務部学生サービス課就職係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
410	和歌山大学	国	インターンシップ	インターンシップはアルバイトとは異なる社員と同じ立場で就業体験を行うものであるが、特に長期の場合は特定の部署の中で企画立案をしたり、実際に営業やプログラミングなどを行ったりして、ある程度の成果達成を目指す実践的なプログラムとなる。例えば、農業法人では、農作業から工房(加工)、梱包・発送作業まで現場を全般的に体験(全国から来ていた様々な研修生とも交流)し、その魅力を体感できる若者向けイベントを企画・募集・実行するなどである。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3年	認定される	定めていない	問題発見力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	参加学生自身による事後アンケート及び実習先からの学生に対する評価表により効果測定を行った結果、「働くということ」「仕事とは何か」を学生が自分なりにつかみ、自分自身を成長させていくといった学生のキャリア形成や今後の学修意欲に効果があったようで、参加して満足と回答した学生が約9割ある。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教育企画課
411	山口大学	国	協働型インターンシップ	<商品開発の仕事体験> 商品オーダー業務を体験し、売れる商品について学ぶ。その後、新商品の企画や販売店のコーナー作りなどに分かれる。【具体的な内容】各部門での業務を体験し、働くことについて考える。1)貿易:貿易部門の業務の中で、外国語を使った海外とのやり取りを体験する。2)商品開発:商品のオーダー業務を体験する。後半は新商品開発の部門や「観葉植物」を大手ホームセンターに売り込む方法を企画する部門などに分かれる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	平成25年度より開始	問題発見力 問題解決力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学生支援部学生支援課就職企画係
412	福岡女子大学	公	インターンシップ	就業体験(イベント等の企画、取材、事務、接客、清掃等)	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	定めていない	問題発見力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	大学が全額費用負担をしている	入試・広報・キャリア支援センター
413	札幌国際大学	私	中期インターンシップ	学生から社会人への移行を円滑にし、また秩序だった就業体験をすることにより、社会人基礎力を身につけ、キャリア形成の一助とする。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	認定される	定めていない	問題発見力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	教務学生課
414	十文字学園女子大学	私	インターンシップ	TV制作会社での実習。スタジオ収録やロケからその後の編集作業にも携わり、制作業務全体に関わることが出来る。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3年	認定される	定めていない	問題発見力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	就職支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
415	明海大学	私	インターンシップ	学生の夏季・春季休暇中に総合教育センター(学内組織)においては、全学部学科学生を対象にホテル、旅行業界及び市役所等へ研修生を派遣している。その他学部では学部の特性を生かした研修機関へ派遣する就業体験も実施している。派遣前には事前研修会を実施し、業界等の知識、体験に当たっての心構え及び基本的なビジネスマナー等を修得させている。本研修では原則として研修先の社員と同様の勤務形態及び勤務時間で就業体験を実施している。派遣後には就業体験を踏まえ、その成果や得られたことを今後の学生生活でどのように生かしていくかについて事後報告会で発表させ、将来のキャリア形成につなげている。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	キャリアサポートセンター
416	川村学園女子大学	私	ちば！教職たまごプロジェクト	教職を目指している学生が、教員の現場を体験する。	6か月以上～1年未満	インターンシップ	3、4年	認定されない	定めていない	問題解決力 状況把握力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	修学支援室
417	麗澤大学	私	中国語圏インターンシップ	海外企業において外国語を使い企業実習を行ったり、日本国内の外資系企業で外国語を使った企業実習を行う。各派遣先にコネクションがある教員が積極的に関与し、学生を指導できるメリットがある。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学務部教務グループ
418	青山学院大学	私	単位認定科目「インターンシップ」	実社会における各種の組織や機関で行われる実習活動、フィールドワーク、実務経験およびOJT(On-the-Job-Training)活動を通じて、国際的な諸事象への関心を高め、知的活力を涵養し、同時に本学部の授業における教育効果の増進をはかることを目的とする。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3年	認定される	定めていない	主体性 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定は行っていないが、実施後のレポート・面談時に本人の意識変化・動機づけ等の確認をしている。	授業科目として実施	学務部教務課 国際政治経済学部担当
419	慶應義塾大学	私	インターンシップ	1ヶ月のインターンシップを通して「働くこと」「社会人としての責任」等を学ぶ。企業の方々とワークショップ、自らのキャリア開発・ライフプランの中へどう位置づけるか等の講義がある。体験的に理解する貴重な機会となる。湘南藤沢キャンパスには、1科目4単位となる上記のような科目が複数あるが、他にも休校期間中に行うフィールドワーク、インターンシップについて事前に研究計画書類を提出し、活動内容が認可された者に限り、申告すれば単位となる科目もある。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	問題発見力 自己管理能力 主体性	事後アンケート等で満足度が高かった等の感想がある	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している	慶應義塾大学学生部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
420	成蹊大学	私	成蹊大学丸の内ビジネス研修(MBT)	多業種・多職種企業と連携し、文系・理系の学生が一つのプロジェクトに協同で取り組むことを大きな特徴とし、1. 学内準備研修(問題解決能力、コミュニケーション力、マナーの育成)、2. 都心のサテライトオフィスにて企業の方々を講師に迎え、企業からの課題にグループで取り組む課題解決型研修並びに企業の方とディスカッションも行う講演とグループワークを組み合わせた研修、3. 課題設定型のインターンシップ。以上の3ステップを経て、参加学生全員による学内個人発表会を実施し、さらにそこで選ばれた学生は関係した企業の方々に対して成果発表会で発表を行う。その後、希望者へのフォローアップ講座を実施。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	平成25年度より開始	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	事後アンケートにより、参加満足度を測り高い結果を得られたこと、就職活動への前向きな意識が育ち、積極的に取り組んでいることが確認できている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	キャリア支援センター
421	拓殖大学	私	インターンシップ	実習内容については、①接客の体験、②営業の体験、③デスクワークの体験、④商品製造・管理に関わる業務・作業の体験の4種類が体験できる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3年	学部によって認定される	100名以上200名未満	主体性 忍耐力 状況把握力	基礎力測定検査を行い、インターンシップを通じて目標設定(事前)・振り返り(事後)を行い、体験の成果を言語化できるようになりました。特にホテル系の実習では、辛い経験を乗り越え、基礎力伸長へ繋げることもできている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	就職キャリアセンター 就職部
422	東京女子体育大学	私	インターンシップ	自身の希望する職業に関連した職業体験を一定期間積む。空港ラウンジにおける接客、ホール業務、パントリー業務等を体験。言葉づかいを含めた接客のマナーや立ち居振る舞い、チームワークの大切さ等を学び、社会人となる一歩前の実践体験をした。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	3年	認定されない	10名以上50名未満	自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	キャリア支援課
423	東京電機大学	私	インターンシップ	企業等において、就業体験を行う。この体験を通し、これまでに学んだ専門分野の基礎知識を深め、応用力を高める。また、関連技術を修得するとともに、問題解決に取り組み、社会人としての視点、就業力を身につけるとともに、実社会のニーズや問題点を理解する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	自己管理能力 専門的な知識 職業観、勤労観の養成	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 受入先企業の紹介を行っている。	工学部・未来科学部 事務部/理工学部 事務部 学生厚生・就職担当
424	法政大学	私	キャリアデザイン学部「キャリア体験学習」	「キャリア体験事前指導」の授業を踏まえ、実際に企業や公共団体などの現場で仕事を体験する。志望動機の作成・履歴書への記入に始まり、教員・アドバイザーとの面接、インターン先の調査、マナーの研修、インターン先に関わる書類作成・提出、日誌の作成、「社会人とは何か」などをテーマとしたグループワーク、夏休みの実習、体験の情報共有、報告スピーチなどを行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	100名以上200名未満	問題発見力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務部 教学企画課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
425	立教大学	私	国内インターンシップ(学部が主催する正課型とキャリアセンター主催の立教型がある)	①ホテル系のインターンシップ。内容はホテルの各種業務やイベントの準備、接客補助、アンケート集計、印刷物作成補助等②eラーニングを用いた企業内教育・研修サービス。内容は、営業同行、営業支援業務、市場調査のための情報収集、分析、総務経理作業、データ管理・整理・加工・分析等。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1、2、3年	正課インターンシップは単位認定型、キャリアセンター主催のインターンシップは単位認定されない。	1名以上10名未満	チームワーク、リーダーシップ 問題解決力 主体性	事後研修のアンケートやインターンシップ報告書に参加した学生が提出した「インターンシップを体験して」、「インターンシップを振り返ろう」を読むと、実習を通して価値観や異なる文化、世代の異なる人たちと接し、仕事や「働くこと」について向き合うとともに、その課題を認識し、その後の学生生活への目標設定につなげていることがわかる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	キャリア支援課
426	早稲田大学	私	提携プログラム	業界・団体によってプログラム内容が様々です。(業務体験型・問題解決型等)	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	実働日数15日以上で、事前の単位申請が必要	定めていない	問題解決力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が学内の補償制度に登録	キャリアセンター
427	静岡理科大学	私	長期インターンシップ	実習内容は企業側と大学で打ち合わせをして決定するが主に以下の内容で実施している。①期間限定の正社員と同等とし正社員と同じ業務を遂行する②社内プロジェクトチームの一員として働く③大学または企業によって与えられたテーマについて研究検討するこれらにより学生は以下の体験をする④大学での学修内容を実務に結びつけ、学修内容に対する応用能力や実務能力を獲得する⑤企業の仕組み、仕事の内容・流れ・求める人材像、職場環境などを体験し、職業適性や将来設計を考える⑥労働の意義と厳しさを認識する⑦高度な専門技術に触れることで学修意欲を向上させる⑧多様な社会人の集団の中で共に働くことで、社会人としての基礎力を身につける	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識 社会人基礎力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	総合情報学部 学部長
428	愛知工科大学	私	インターンシップ	・研修先が就職内定先ということもあり、実際に就職した際に行うことについて体験することができる。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	4年	認定される	10名以上50名未満	学問への動機づけ 社会人としての自覚	資格取得の必須項目である	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学務課
429	福山女学園大学	私	インターンシップ	実習先で就業体験を通し、将来適切な職業選択をする上での知識や考え方を学び、大学で身に付けた知識・研究テーマを深める。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 主体性 学問への動機づけ	事後アンケートで満足度が高かった	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題解決力	主体性	専門的な知識			
430	中部大学	私	地育地活による人材育成プログラム報酬型インターンシップ	本プログラムの目的、概要等を理解するための事前の説明会に参加し、理解した上で企業への申込用紙を提出します。企業にて選考された後、プログラムに参加します。企業は育成計画に基づき学生の育成を図り、学生は実際の現場で働くことを通じて学びます。企業によって育成計画は異なりますが、社会人としての基本的マナー(電話応対、接客、接遇)、コミュニケーション能力、パソコンを使った事務処理などが身に付くとして育成されます。長期型(6ヶ月×1社)、多業種型(2ヶ月×3社)の2コースがあり、研修が終了した学生は報告書を提出し、評価をもらいます。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	平成25年度より開始	問題解決力	主体性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 春日井商工会議所と連携	学生支援課
431	名城大学	私	長期実践型インターンシップ	自ら自信を持ち、卒業までの大学生活及び卒業後も目的意識を持って主体的に活動できることを目的としたプログラム。具体的には受入企業の抱える課題を社員の一人として、例えばクライアントへのヒアリング調査などから課題の本質が何かを導き出し、その改善策を含めた企画立案、実施までを責任を持って担当する現場での課題解決型プログラムで構成される。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	不問	インターンシップ科目開講学部学年において認定	定めていない	問題発見力	問題解決力	主体性	インターンシップ終了後に学生に対して、参加したプログラムの詳細を確認するアンケートを実施。その中にインターンシップ参加前後で自身の成長度がどのように変化したかを数値で回答させている。結果は、該当学生全員の主体性、課題発見力、実行力など概ね評価が上がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が学生に実習中の保険をかけている	キャリアセンター
432	大谷大学	私	インターンシップ1 大学コンソ京都	就業体験	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	定めていない	主体性	専門的な知識	キャリアアップランニング	効果測定の方法が定まっていない	事前・事後講義	企画・入試部企画課
433	京都学園大学	私	アドバンスド・インターンシップ・プログラム	企業が長期のインターンシップを行うことにより、実務を通じて、リアリティショックを乗り越える経験をし、社会的自立に必要な「考え抜く力」を体験する。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	3年	認定される	平成25年度より開始	自己管理能力	主体性	学問への動機づけ	自己セルフチェックによる測定により、概ね参加前よりも成長度が伸長した。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教育開発センター
434	京都女子大学	私	インターンシップ	各インターンシップ受入先企業にて指定された実習内容を体験する。例えばホテルにてベル業務、清掃業務、レストラン業務など。その他の企業では事務職、営業職などを体験する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	両方(される、されない)ありうる	10名以上50名未満	自己管理能力	主体性	柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務課 キャリアセンター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
435	立命館大学	私	インターンシップ	就業体験	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3年	認定される	10名以上50名未満	主体性 学問への動機づけ 就業観の涵養	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	教育学部 共通教育課
436	大阪学院大学	私	企業実習	ホテルの現場で300時間就労する。この現場就業体験を通じて、これまでの講義などで学んでいたこと、これから学ぶことを肌で実感し、ホスピタリティ・マネジメントを頭と体で理解していく。また、企業実習のプロセスは、就職活動の予行演習になる、ビジネスマナーも学ぶ。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 有給	教務課
437	大阪商業大学	私	地域連携教育活動	東大阪市市内小・中学校にて、学習支援などを含む学校現場体験	6か月以上～1年未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	定めていない	自己管理能力 主体性 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
438	関西大学	私	学校インターンシッププログラム	本プログラムは、学生が小・中・高校・幼稚園など教育現場の日常的な教育活動、課外活動などを幅広く実地体験させていただくことを通して、自己の適性の把握や人間的成長の向上を目指している。学校現場での研修については、7月下旬から12月中旬の間に36時間以上の研修を行うことを課している。インターンシップ期間中の業務については、受入学校・園に策定いただいております。主な研修内容は授業補助、補習・勉強会補助、行事補助、部活動指導補助、図書館業務補助、支援学級補助など、学校業務を幅広く体験させていただいております。なお、研修前に大学で学生の選考および事前指導を行い、終了後には事後指導で研修の振り返りを行っている。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	定めていない	問題発見力 状況把握力	効果測定については、学生および受入校対象に事後アンケートを実施している(回答率は学生82.6%、受入校74.4%)。プログラムの効果については、学生および受入校ともに満足度が90%を超えている。また、受入校については、次年度の受入予定についても、肯定的な意見が約90%となっており、学校現場で研修を行う学生だけにメリットがあるだけではなく、受入校にも学校業務の補助人員として学校現場へ一定の効果があったと判断できる。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	高大連携センター
439	関西外国語大学	私	インターンシップ	民間企業でのインターンシップ	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	定めていない	問題解決力 主体性 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような能力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
440	甲南大学	私	ビジネス・リーダー養成プログラム(ビジネス・プロフェッション・コース)	基礎的な専門知識やプレゼンテーション能力をマスターした後、有力上場企業などにおいて原則3か月間経営管理の現場でフルタイムのインターンシップを経験します。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	3年	認定される	10名以上50名未満	問題発見力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	甲南大学 経済・法・経営学部合同事務室
441	広島工業大学	私	学外研修(産学連携実習)	本プログラムは、技術者教育における体験学習の重要性を踏まえ実施している。事前研修として、「企業研究、業界研究及び関連企業の研究、その結果発表及び討論」「目標と課題への取組についての考察、その発表及び討論」及び「学生による実習企業の紹介、課題、目標及び決意表明発表会」を行う。20日以上と定めている実習中に教員が実習先に赴き、受入れ責任者とともに中間報告会を行う。事後研修として、「目標の達成度の確認、今後の大学での学習、卒業研究などへの展開について発表と討論」及び「最終報告発表会」を行う。これらのプロセスを経て、「問題発見・解決力」及び「プレゼンテーション能力」等の能力を身につける。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	問題発見力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学務部
442	広島修道大学	私	国際機関インターンシップ	インターンシップ生として、後期の一定期間、週3日程度ユニタール広島事務所に赴き、実務のアシスタント業務を行う。会議・研修の開催準備や実施サポートが主な内容である。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	平成25年度より開始	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際交流センター
443	長崎国際大学	私	長期インターンシップ	本学の国際観光学科では、観光に関する幅広い視野を育むと同時に実践力を学生に身につけてもらうため、観光資源に恵まれた長崎県という立地の魅力を最大限に活用し、ハウステンボスで長期インターンシップを実施します。学生は、ホテルコース、パークコースの二つで実習を行い、実務経験豊かな教員・現場職員による講義での知識に加え、多様な観光現場での実習を体験します。このことにより、実践力はもとより、座学だけでは理解することの難しいチームで働く力を身につけることが可能となり、責任感と自立心の育成と就職活動への心構えを身につけることができます。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	1、2、3年	認定される	定めていない	問題発見力 問題解決力 主体性	実習報告会を行い将来のキャリアデザインに結びつけ、他の学生と経験を共有している。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
444	熊本学園大学	私	3か月間の長期インターンシッププログラム	原則、9時～17時まで。火～金曜まで正規雇用社員同様に勤務。業務内容は受け入れ企業の指示により異なる。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	2、3年	認定される	50名以上100名未満	自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	学生一人ひとりの就職内定先とインターンシップ先企業を対応させた資料を作成。インターンシップへ行った学生の就職率は100%。	現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	総務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
445	鹿児島国際大学	私	協同実践型インターンシップ	鹿児島県内の企業、NPO等が抱える企業課題を題材に問題解決の実践に参加する。実社会に触れることによって、学習意欲を向上させるとともに「社会の中での自己」の理解を深める。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	定めていない	問題解決力 主体性 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	経済学部
446	サイバー大学	私	シゴト体験プログラム	実際にシステムやネットワークのエンジニア、もしくは営業、企画、管理などの仕事を体験しながら、就職後に活かせる実践的な知識やスキルの習得を目指します。	1年以上～2年未満	インターンシップ	3、4年	認定されない	1名以上10名未満	チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識 学問への動機づけ	インターン終了後学内でのプレゼンテーション評価	現地派遣の前に研修等を行っている	学生部
447	室蘭工業大学	国	長期インターンシップ	3年次の夏期休業期間中の4週間程度(以上)を利用して、道内外の企業等の現場において積極的に就業体験を積むものである。与えられたテーマまたは希望のテーマに基づき、実習を行う。実習前に事前指導を行うほか、当該企業ならびに業界や分野について、各自調査研究を行う。また、実習終了後は、学外実習報告書を作成し、実習の振り返りを行い、課題の解決に努める。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	教務グループ
448	長岡技術科学大学	国	実務訓練	企業、官公庁の現場で活動する人々と交わり、現場指導者の監督のもとに自らもその活動に参加することによって、「技術に対する社会の要請を知り、学問の意義を認識するとともに自己の創造性発揮の場を模索すること」と「実践的・技術感覚を養うこと」を目的としている。具体的には第4学年で大学院修士課程進学予定の者に第2、第3学期の教育課程で8単位の実務訓練を必修科目として履修させて、約5か月間、企業等の現場で実務を行い、これによって得られた成果をもとに、大学院修士課程での研究テーマや職業への基礎的な認識を経験させ、将来の技術の創造展開に大きく役立たせようとするものである。	3か月以上～6か月未満	インターンシップ	4年	認定される	200名以上	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	本学のプログラムは、学部4年次の10月から約5か月間に渡り、国内外の企業等において長期インターンシップを行うものであるが、学部4年卒業時、大学院修士修了時、修士修了5年後の社会人に対し、その都度、その成果について、事後アンケート(質問事項は、「社会と自分自身を知ること」、「意思伝達能力の修得」、「知識の修得」、「実務能力の修得」等)による調査を行っているが、概ね肯定的な回答が多数を占めている。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学務部学務課教育交流係
449	豊橋技術科学大学	国	実務訓練	現実の社会での技術者や研究者の問題への取り組み方を学び、実践的技術感覚を養うため、産業界で長期の実務を体験する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	4年	認定される	定めていない	問題解決力 自己管理能力 主体性	企業に教育に関するアンケートを実施しており、本学学生に対して高評価を得ている。また、学生には実習体験に関するアンケートを実施しており、実習への満足度が高いことが確認された。	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	学生課キャリア支援係

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
450	奈良教育大学	国	インターンシップ	歴史民俗資料の整理、データベース化、展示物の作成や特別展の開催準備、古写真類の整理、その他博物館運営や調査補助などの各種学務	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	10名以上50名未満	専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	該当なし	学生支援課
451	高知大学	国	CBI(長期社会協働インターンシップ)	・事前学習のCBI企画立案(1年第2学期・2単位)では、「働くこと」の本質理解やCBI実習の活用で獲得・実現を目指す自身の目標の設定を通してCBI実習に対する「覚悟を持った本気」の醸成を図る。・半年間に及ぶCBI実習では、日常の業務を通して「働くこと」や信頼獲得の本質理解、さらには企業が社会的ニース実現の担い手であることへの理解促進を目指している。・実習中にキャリア開発講座B(4月～8月の月1回土曜日)では、実習に関するPDCA支援を行うほか、実習後に自身が取り組むべき社会的課題を具体的に探究することも目的としている。・事後学習(CBI自己分析)では、実践経験を内省し暗黙知へと昇華することを目的としている。	6か月以上～1年未満	インターンシップ		認定される	10名以上50名未満	問題発見力 主体性 学問への動機づけ	本学は独自に、思考行動特性(8要素)と知識技術特性(8要素)に関わる16要素で構成する自己評価型(EIP)アセスメント(5段階評価自己評価法)を開発している。CBIの授業については、このアセスメントを事前学習(CBI企画立案)、事後学習(CBI自己分析)に適用し授業で設定する「場」の効果の測定結果を授業改善に活用するほか、実習から得た実習生の成長実感要素の定点観測を行っている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 実習中に、現地で本学の教員による授業(キャリア開発講座B・月1回土曜日)を行っている。	総合教育センター キャリア形成支援部門
452	広島市立大学	公	在日アメリカ大使館での学生インターンシップ	アメリカ大使館スタッフの補助業務(電話での顧客対応、レポート作成、データ入力、企業リサーチ、展示会・会議などのイベントサポート等)への従事を通じて、異文化や国際的に活躍する人材と交流する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	認定されない	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	広島市立大学社会連携センター連携推進室
453	共栄大学	私	国内・海外インターンシップ	就業体験	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	定めていない	自己管理能力 主体性 就学意欲	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
454	千葉商科大学	私	インターンシップ	公式サポーター企業を中心に就業を体験する。インターンシップの就業までに学習した、経済学、経営学、マーケティング、会計、財務、情報などの成果を手がかりに、企業での仕事を通して、教室では学べない現場を経験する。派遣先企業の担当者及び本学教員の双方から指導を受け、理論と実践の関わりを理解する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	50名以上100名未満	学問への動機づけ 勤労観、労働観	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 協定を結んだ企業にて受け入れ体制を取ってもらっている	教務オフィスサービス創造セクション

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力に身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
455	杏林大学	私	インターンシップ	自治体でのインターンシップ コミュニケーション力及び問題発見・解決力の向上等	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1, 2, 3, 4年	認定される	定めていない	問題発見力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	
456	東京神学大学	私	夏期伝道実習	派遣された教会(キリスト教)で、その教会の牧師の指導の下、日曜日の礼拝説教や祈禱会での奨励、夏期キャンプ等の実習を行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	4年	認定されない	定めていない	自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ 状況把握力	学習動機の明確化	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 受入れ教会が宿泊等の手配・支援を行っている	教会実習委員会
457	武蔵野大学	私	長期インターンシップ	学科横断ゼミ形式で、大学内における座学の「産学連携ゼミ」、各企業と官公庁との連携による1か月以上ないし1年間の「長期インターンシップ」、「総合研究」をゼミ形式でセットで行う。大学と企業が本気で協働・連携を行う「完全オーダーメイド」のプログラム体験を行う	6か月以上～1年未満	インターンシップ	3年	認定される	50名以上100名未満	チームワーク、リーダーシップ 主体性 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	就職・キャリア開発課
458	金沢工業大学	私	インターンシップ	Android版スマートフォンアプリの開発業務。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	学生自身による自己評価の仕組みとしてルーブリックを整備している。ルーブリックにより、これまで定性的な評価を行っていた能力を、定量化している。これにより、学生の現時点での能力レベルと目標とする能力レベルが明確になると考えている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	大学事務局庶務部庶務課
459	金沢工業大学	私	インターンシップ	開発設計サポート業務	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定されない	定めていない	主体性 学問への動機づけ 専門的な知識	学生自身による自己評価の仕組みとしてルーブリックを整備している。ルーブリックにより、これまで定性的な評価を行っていた能力を、定量化している。これにより、学生の現時点での能力レベルと目標とする能力レベルが明確になると考えている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	大学事務局庶務部庶務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
460	豊田工業大学	私	学外実習Ⅰ	工業における活動成果が集約されている企業のものづくり現場を体験し、工業活動のありのままの姿、工学と工業の関わり合いを学ぶ。また、社会人としてのマナー・規律・倫理、協調性とコミュニケーション能力の重要性を理解し、技術者としての自己を確立する動機づけとする。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1年	認定される	50名以上100名未満	自己管理能力 忍耐力 学問への動機づけ	必修科目として開講している	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学生部学生グループ
461	豊田工業大学	私	学外実習ⅡおよびⅢ	企業における具体的な技術的課題を解決する過程において、各自が修得した工学知識の成果を問題解決に応用する。問題解決の過程において工学知識と創造性を一層高め、解析力、判断力および問題解決能力を磨く。併せてコミュニケーション能力の大切さを学ぶ。また、より高度な学修への動機づけとする。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3年	認定される	50名以上100名未満	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	必修科目として開講している	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学生部学生グループ
462	名城大学	私	地域協働型インターンシップ	学生の「主体的に考える力」「地域社会の抱える課題に対する当事者意識」を醸成すること、自らの専攻分野での学びをより理解し、社会的責任能力を養うことを目的とするもの。具体的には、複数人での活動を通じて地域や社会の課題・本質が何かを導き出し、その改善策を含めた企画立案・実施までを責任を持って担当する実践型プログラムで構成される。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	インターンシップ科目開講学部学年において認定	定めていない	問題発見力 問題解決力 主体性	インターンシップ終了後に学生に対して参加したプログラムの詳細を確認するアンケートを実施。その中に、インターンシップ参加前後で自身の成長度がどのように変化したかを数値で回答させている。結果は、該当学生全員の主体性、課題発見力、実行力など、概ね評価が上がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が学生に実習中の保険をかけている	キャリアセンター
463	名城大学	私	インターンシップ	自らが自信を持ち、大学での専門分野の学びを更に深化させるための動機づけ及び、卒業後も目的意識を持って主体的に活動できることを目的としたプログラム。具体的には、受入企業が提供する実習プログラムにそって社員の一人として現場で実習するものが多く占めている。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	インターンシップ科目開講学部学年において認定	定めていない	問題解決力 主体性 学問への動機づけ	インターンシップ終了後に学生に対して、参加したプログラムの詳細を確認するアンケートを実施。その中にインターンシップ参加前後で自身の成長度がどのように変化したかを数値で回答させている。結果は、該当学生全員の主体性、課題発見力、実行力など概ね評価が上がっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が学生に実習中の保険をかけている	キャリアセンター
464	広島経済大学	私	能力開発科目インターンシップⅡ(海外)	夏季休暇中約4週間の就業体験と、通年で30回の事前・事後学習を行います。事前学習では研修先企業や業界の研究をはじめ、渡航先についての学習やビジネスマナー講習、プレゼンテーションのトレーニング等を行います。事後学習では、海外での体験や研修成果を報告書にまとめるとともに、報告会で発表を行います。また、現地では企業での就業体験とあわせて、研修先国の文化や社会についても学習します。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	3、4年	認定される	定めていない	自己管理能力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	インターンシップ推進室

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
465	上智大学	私	国連ユースボランティア実習	グローバル人材育成の一環として生活様式や習慣の異なる地域での活動を通じて、語学力のみならずコミュニケーション力、交渉力、異文化理解力、柔軟性、忍耐力、創造性、企画力等を増進することを目的とする。	3か月以上～6か月未満	ボランティア	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	交渉力 問題解決力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	学事局学事センター
466	早稲田大学	私	早稲田大学平山都夫記念ボランティアセンター公認ボルネオプロジェクト	マレーシアのサバ州では、年々移民は増加し続けていて、インドネシアやフィリピンなど周辺国から不法入国する人々が後を絶たない。マレーシアの経済成長は周辺国と比較して著しく、低賃金労働の需要を確保するため積極的に移民を受け入れてきた。移民とサバの人々の間では、労働・医療・教育など様々な軋轢が生じている。そこでこのプロジェクトでは、「様々な背景を持つ人々が共に暮らしやすい社会を目指す。サバ社会の中で学校に通えない移民の子供へ教育支援、移民に偏見を持っている現地の学生への啓発活動に取り組む」という理念の下、移民の人々とサバの人々の両者にアプローチし、両者が互いを認め合える環境を作ることを目指している。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定されない	定めていない	問題発見力 問題解決力 学問への動機づけ	分析を通じた批判的思考力、問題を社会の仕組みに位置付ける力を身に付けている	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	早稲田大学平山都夫記念ボランティアセンター
467	中京大学	私	海外大学体験プログラム(ボランティア研修)	大学付属のESLプログラムで月から木は英語を学び、金曜日は地域でボランティア体験をする1か月強のプログラム	1か月以上～2か月未満	ボランティア	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 主体性	H24から開始のため効果不明	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際センター
468	桃山学院大学	私	インド異文化・ボランティア体験セミナー	前半は、北インドのアーグラ城、ガンジス川、タージ・マハル等、偉大な世界遺産や未知の宗教文化に触れ見聞を広める。移動には寝台列車を利用し、現地市民の生活に触れる。後半はインドコルカタのマザーハウスにてボランティア登録を行い、現地施設にてボランティア活動を行う。引率教員が1時間程度の個人面談を2度実施し、学生本人が自分について振り返りながら自分自身と向き合う時間を設けている。更に、インド滞在期間中に総領事館やロレット・スクールの訪問、現地で日本語を学習する学生との交流など様々な体験ができる充実したスケジュールとなっている。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定される	10名以上50名未満	自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	桃山学院大学 国際センター事務課
469	関西学院大学	私	国際ボランティアプログラム(国連ユースボランティア(UNYV)・国際社会貢献活動)	未知の世界でのボランティア活動を通じ、世界の中での日本、またその中で自己を知る機会を提供するプログラムである。2013年度、国連ユースボランティア(UNYV)を通じ、ウクライナ、サモア、ボスニア・ヘルツェゴビナの3か国3名、国際社会貢献活動ではインドネシア、カンボジア、スリランカ、ラオスの4か国に13名派遣。UNYVの業務は、若者へのHIV予防啓発プロジェクトの企画・運営やWebサイト制作、ICT支援、広報活動などを含む。一方、国際社会貢献活動では、小学校での教育補助(日本語・日本文化紹介)、エコツーリズムをベースとしたスタディーツアーの開発・調整、現地住民の健康増進プロジェクトに関する活動等多岐にわたる。	3か月以上～6か月未満	ボランティア	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	自己管理能力 主体性 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際連携機構事務部

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題発見力	問題解決力	専門的な知識			
470	横浜国立大学	国	JICA・横浜国立大学連携短期ボランティア派遣(ザンビア)	ザンビア地方都市における国際協力活動	1か月以上～2か月未満	ボランティア	3、4年	認定される	平成25年度より開始	問題発見力	問題解決力	専門的な知識	語学力の向上、履修科目の成績(GPA)の向上が認められた	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	都市イノベーション研究院
471	富山大学	国	科学ボランティア活動	地域の小学校、中学校に派遣され、理科の実験、観察の準備、授業の補助を行う。	3か月以上～6か月未満	ボランティア	不問	認定される	定めていない	自己管理能力	主体性	状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	理学系支援グループ
472	仙台大学	私	東日本大震災災害ボランティア	東日本大震災被災地(宮城県女川町、亘理町、美里町)の仮設住宅を定期的に巡り、仮設住宅居住者(主に高齢者)に以下の活動をしている。①健康づくり運動指導 ②健康チェック ③茶話会 これらの活動を通じて、学生は、高齢者への健康運動指導方法の実務を学び、茶話会を通じて、自分の祖父母世代との交流を体験する。ボランティア参加開始時は、未だごちない学生も、回を重ねることに被災者との交流が親密になっていく過程も経験する。また、被災者から感謝されることで、弱者の役に立つことが結局は自身の幸福感にもつながることも学ぶ。	6か月以上～1年未満	ボランティア	不問	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ	主体性	柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	仙台大学スポーツ健康科学研究実践機構
473	明海大学	私	ボランティア活動(国内活動、海外活動及び東日本大震災被災地復興支援活動)	国内における活動として、千葉県浦安市との間にボランティア協定を締結し、市内の幼稚園、特別養護老人ホーム等に学生を派遣し、保育補助や利用者との交流などの活動を行っている。海外における活動としては、国際教育交換協議会(CIEE)のメンバー校として、自然遊歩道の整備や孤児院の子供たちの世話といった世界各国で行われるプロジェクトに学生を派遣している。また、東日本大震災被災地復興支援活動としては、岩手県釜石市に学生ボランティア及び教職員を派遣し、遊歩道の整備及び地域行事の手伝いなどの活動を行っている。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	1、2、3、4年	認定される	定めていない	問題発見力	問題解決力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	浦安キャンパス事務部学生支援課(学生支援担当)
474	杏林大学	私	ボランティア活動	・障害を持つ子供たちを対象としたキャンプへの同行。 ・小中学校の保健室での養護教諭の補助。 ・特別支援学級の児童に対する学習補助。 ・小中学校の行事補助。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	1、2、3、4年	認定される	定めていない	問題解決力	主体性	学問への動機づけ	報告書やプレゼンテーションで評価し、単位を付与しているが、数値化はできていない。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	八王子事務部教務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題解決力	主体性	忍耐力			
475	関西外国語大学	私	ボランティア実習	民間の特別養護老人ホームやボランティア団体での活動	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定される	定めていない	問題解決力	主体性	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務部
476	滋賀県立大学	公	地域産学連携実習	自治体、民間の設計事務所やシンクタンク等で研修を行い、実社会で環境・建築デザイン分野の活動がどのように行われているか体験学習する。また、東日本大震災の被災地でボランティア活動を行う。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定される	定めていない	問題解決力	チームワーク、リーダーシップ	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	教務グループ
477	青山学院大学	私	青山学院大学ボランティア・ステーション 塩竈市復興支援活動	塩竈市の保育所、小中学生の子供達への教育支援を実施。4つの島、5つの地域の離島において、浅海漁業、海岸清掃、泥掻き、草刈り、仮設住宅にお住いのお年寄りの心のケアなどのボランティアを行いつつ、塩竈市にある5つの島の自然・環境を調査し、塩竈市の経済復興のプランニングを具体化する。また島内において行われる夏のお祭り等催しのボランティアも行う。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定されない	100名以上 200名未満	チームワーク、リーダーシップ	主体性	状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 活動の引率、事前計画の相談など	政策・企画部 政策・企画課
478	明治学院大学	私	「Do for Smile@東日本」プロジェクト	東日本大震災発生後、現地からの要請もありいち早く現地入りして現在に至るまで復興支援活動を行っている。岩手県大槌町ではボランティアに関する協定を締結し、学習支援、子どもやお年寄りへのメンタルケア、地域振興等の活動を行っている。陸前高田市、宮城県気仙沼市でも地域の要請に基づいた活動を行っている。当初は教職員主体であったが、時期を経るにつれて学生主体で活動を行えるよう成長している。	2か月以上～3か月未満	ボランティア	不問	一部の学部のみ認定される	200名以上	チームワーク、リーダーシップ	柔軟性	状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	ボランティアセンター
479	帯広畜産大学	国	帯広-JICA協力隊連携事業(短期派遣)	本プログラムはJICA青年海外協力隊の短期隊員(派遣期間1ヶ月半)として南米パラグアイ国へ学生を派遣し同国の酪農技術発展を図ると共に、グローバルな視点を持った人材育成に資することを目的としています。派遣期間中の活動は長期隊員(本学大学院生及び卒業生対象、派遣期間2年)と協力して実施し、対象地域の酪農家へのインタビュー調査を基に主として搾乳衛生、飼料管理、繁殖管理の分野に関する同地域での課題を発見し、その解決に向けた提案や技術指導を行っています。	1か月以上～2か月未満	ボランティア	3、4、5、6年	認定される	1名以上10名未満	問題発見力	チームワーク、リーダーシップ	柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務課留学生係

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果 ～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題解決力	チームワーク、リーダーシップ	状況把握力			
480	愛媛大学	国	日本・インドネシアの農山漁村で展開する6大学協働サービスラーニングプログラム	本プログラムでは、日本・インドネシアの6大学(愛媛大、香川大、高知大、ガジャマダ大、ボゴール農業大、ハサヌティン大)が構成するコンソーシアムを基盤として、日本及びインドネシア双方の農山漁村で3週間におよぶサービスラーニング形式の実践活動を行う。学生が主体となり地域コミュニティの人々にリアリティーながら地域社会が直面する課題群を把握し、多様な主体との協調・協働を通じて問題解決に向けた活動を行う。この実践的な教育プログラムを導入することにより、グローバル社会においてサーバントリーダーとして活躍するための素養と、能動的に学ぶための姿勢を身につけさせると同時に、大学教育の国際化を推進する。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	不問	認定される	平成25年度より開始	問題解決力	チームワーク、リーダーシップ		効果の根拠となるデータとして学生のGPA、アンケート、TOEIC等英語能力試験があるが現在取組1年目であるためまだ集計結果が出ていない。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 日本学生支援機構奨学金(海外短期派遣)	国際連携支援部 国際連携課
481	東京基督教大学	私	異文化実習	アジアで活動している現地NPO等の活動に参加します。できるだけ受入機関の「日常」を体験できるようプログラムが工夫されています。実習先の国の文化についての学び、現地家庭でのホームステイ、家庭訪問等の調査への参加、子供向けプログラムの企画と実施、様々なNPOの見学等が含まれています。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	3、4年	認定される	1名以上10名未満	主体性	柔軟性	状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 始めの1週間教員が引率	教務部
482	国際基督教大学	私	国際サービス・ラーニング(海外の協定校への派遣プログラム)	国際サービス・ラーニングは、中国、韓国、東南アジア、インドのパートナー大学・機関のプログラムに参加し、現地のNGOや公的機関でサービス(奉仕)活動を行う教育プログラムである。開発、教育、福祉など様々な分野で、学生の関心に合わせて世界をフィールドにサービス活動を実施している。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	問題解決力	主体性	学問への動機づけ	サービス・ラーニングの長期的インパクトについて卒業生を対象に調査を実施した。その報告から見えてくるのは、在学中にサービス・ラーニングを体験した卒業生がサービス・ラーニング体験によって自分の人間的な成長を感じ、サービス・ラーニングが将来の職業選択に影響し、現場で直面した社会問題に関心を深めたことと認識していることである。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際基督教大学 サービス・ラーニングセンター
483	エリザベト音楽大学	私	サービスラーニングプログラム	夏期休暇を利用して海外での地域奉仕活動と学習に、他の大学の学生と共に参加する。アジアパシフィックイエズス会大学連盟加盟の大学がホスト校となり、8月5日から25日の日程で貧しい人々への愛をテーマに奉仕活動を行う。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	1、2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	問題発見力	問題解決力	チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	総務
484	広島修道大学	私	PIAセミナー	前半は英語の集中講義を受けながらサービスラーニングのオリエンテーションやプレースメントを行う。後半は6週間のサービスラーニングで実際に各種団体での活動に参加する。	3か月以上～6か月未満	サービスラーニング	1、2、3、4年	認定される	平成25年度より開始	語学力	問題解決力	主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 奨学金を給付	国際交流センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
485	大分大学	国	田舎で輝き隊!	入学時から農山漁村を訪問・滞在し、少人数ゼミでの学習と活動を通じて、地域住民と協働して学生が地域課題解決に取り組むことで、高齢化少子化・六次産業等地域社会の諸問題への実践的な学びを深め、同時に、社会性を柱とする豊かな人間性の涵養をはかるものである。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	不問	認定される	50名以上100名未満	交渉力 問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	経済学部総務係
486	筑波学院大学	私	「つくば市をキャンパスに」社会力育成プログラム	外部団体(企業、自治体、NPO等)と面接して、その活動に参加して働き、単位とする。	2年以上	サービスラーニング	1、2、3年	認定される	200名以上	問題発見力 自己管理能力	平成18年に開始して以来、毎年レポート、アンケートを集計	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している	OCP推進室
487	恵泉女学園大学	私	コミュニティサービスラーニング	大学周辺地域あるいは学生の出身地域の社会福祉活動を知り、継続的な実体験活動を通じて、課題を発見しそれに取り組んでいく。	3か月以上～6か月未満	サービスラーニング	1、2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	交渉力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
488	国際基督教大学	私	コミュニティサービスラーニング	コミュニティサービスラーニングは、国内のNPOやNGO、自治体などの公共機関、福祉施設等でサービス活動を行う教育プログラムである。学生が自分の興味と関心に合わせて活動先を新しく開拓し、自ら受入れの交渉をする。本学とパートナー関係にある機関で、サービス活動をアレンジすることもできる。	1か月以上～2か月未満	サービスラーニング	2、3、4年	認定される	10名以上50名未満	問題解決力 主体性	サービスラーニングの長期的インパクトについて卒業生を対象に調査を実施した。その報告から見えてくるのは、在学中にサービスラーニングを体験した卒業生がサービスラーニング体験によって自分の人間的な成長を感じ、サービスラーニングが将来の職業選択に影響し、現場で直面した社会問題に関心を深めたと認識していることである。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際基督教大学サービスラーニングセンター
489	清泉女子大学	私	地域協力演習	品川区がおこなっている放課後全児童対策事業である「すまいるスクール」に年間60時間従事し、品川区の児童教育指導の一翼を担う。教職志望の学生にとっては学校や児童の実情に触れる貴重な機会となる。	6か月以上～1年未満	サービスラーニング	2、3、4年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学務課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
490	芝浦工業大学	私	企業等との共同研究・プロジェクトへの参画	研究室単位で実施している企業との共同研究や競争的資金プロジェクトに学生が参画し、実際の企業従業員とのやり取りを通じて、実社会での課題解決に取り組む。	6か月以上～1年未満	企業等との共同研究	4年	卒論、修論として認定	定めていない	問題発見力 問題解決力	卒論、修論に対する評価	研究室担当教員による指導	豊洲学事部産学官連携・研究支援課
491	久留米大学	私	文学部産学連携事業(酒活プロジェクト)	地元の酒蔵と共同で地元久留米の農作物を使い、新しいリキュールを作成します。実際に酒蔵へ行き、酒蔵の歴史、お酒ができるまでの工程を学びます。また、実際に田植えを行い、リキュールの原料となる生産農家を訪問するなどして、地元企業と関わります。そして、酒蔵の若手社氏の指導を受けながらリキュールの原料、味等は自分達で考え作成し、完成したものを天満天神梅酒大会に出展し入賞を目指します。このプログラムを通じて学生達に普段学んでいる学問がどのように役立っていることができるか知ってもらうことを1つの目的としています。	1か月以上～2か月未満	企業等との共同研究	不問	認定されない	10名以上50名未満	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	久留米大学文学部 社会福祉学科
492	久留米大学	私	文学部産学連携事業(スイーツプロジェクト)	地元久留米市の洋菓子店と共同して久留米の農産物を使い、久留米を代表するお菓子を作ります。学生達は商品の企画を行い、完成した物を博多駅(市場テスト)で販売します。そこの売れ行き、お客さんの声を実際に聞いて、最終的に商品を作成します。このプログラムを通じて学生達に普段学んでいる学問がどのように役立っていることができるか知ってもらうことを1つの目的としています。	1か月以上～2か月未満	企業等との共同研究	不問	認定されない	10名以上50名未満	問題発見力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	久留米大学文学部 社会福祉学科
493	東北大学	国	スタディアブロードプログラム	プログラムテーマ(多民族多文化社会、ボランティア、アカデミック英語等)に沿った講義や体験学習のほか、コミュニティメンバーや派遣先大学学生との交流、文化体験やフィールドトリップ、ホームステイを体験する。	1か月以上～2か月未満	その他＝短期海外研修	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 問題解決力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 一部の参加者に対する給付型の奨学金の支給	東北大学教育・学生支援部留学生課
494	亜細亜大学	私	アジア夢カレッジキャリア開発中国プログラム	中国人ルームメイトとの5か月間の共同生活を通じて、中国文化、中国人理解の促進、将来に続く友情関係の構築。また、インターンシップにより、職業観を涵養し、海外で働くことを理解することが可能。さらに中国語学習では、HSK5級を取得させるべくプログラムが構築されている。	3か月以上～6か月未満	その他＝留学	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 交渉力 主体性	GPA、語学試験の受験級等の他に、本学独自のアセスメントシステムにより把握が可能。また、インターンシップに関しては、考課システムを利用しており、数値での評価が可能。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流センター 国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
495	成城大学	私	成城大学夏期マレーシア短期海外研修	本研修は、①海外インターンシップ研修に向けての企業研究を行う事前研修、②実践的英語研修と海外日系企業でのインターンシップ実施、③事後研修としての自ら見つけた課題についての報告、の3構成からなる主体的問題解決型プログラムである。経済成長著しいマレーシアの首都クアラルンプールで活躍している現地日系企業にてインターンシップを行うことにより、日本人として世界に誇れるホスピタリティや協調性を大切にしながら、外国人相手にも通用する対応力を身につけるという事を目的としている。	1か月以上～2か月未満	その他＝語学研究及びインターンシップ	不問	認定されない	平成25年度より開始	語学力 チームワーク、リーダーシップ 状況把握力	学生の「就職」に関する意識が高くなっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	キャリア支援部
496	武蔵大学	私	外国語現地実習	海外協定校や協定を締結した語学学校において、語学を集中的に学ぶ。また、地域によっては宿泊形態がホームステイとなるため、その地域の文化や社会を直接体験することができる。	1か月以上～2か月未満	その他＝語学研修	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際センター
497	南山大学	私	アメリカ事情、フランス語、ドイツ語、アジア言語、スペイン語の各実習	大学で講義を受けるほか、フィールドワークを通して異文化体験をする。	1か月以上～2か月未満	その他＝異文化体験、語学実習	1、2、3、4、5年	認定される	100名以上200名未満	語学力 問題発見力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	外国語学部事務室
498	帝塚山大学	私	海外短期語学研修	学校内外で実施する語学授業のほか、アクティビティ、ホームステイ	1か月以上～2か月未満	その他＝語学研修	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	学生生活課国際交流担当
499	福岡大学	私	TOEIC 600 Challenge	アメリカのハワイ大学マノア校で実施されるNICE (Newly Intensive Courses of English) Programに参加し、様々な国から参加している学生とともに英語及び文化研修を受けます。研修内容としては、1日4時間の英語授業、ハワイ大学の学生との交流、課外活動、ハワイアンフラを通じた文化研修など様々です。さらに、研修期間中は現地のホストファミリーの家にホームステイしますので、現地の人々とその生活に触れることは、異文化理解を深めるともよい体験になります。また、大学内外問わず、常に英語によるコミュニケーションが必要となりますので、英語力とともに実践的コミュニケーション能力向上も期待できます。	1か月以上～2か月未満	その他＝語学研修	不問	認定されない	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している e-learning課題	言語教育研究センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
500	南九州大学	私	海外の学術交流協定校への派遣プログラム	上海師範大学にて中国語の語学研修や中国文化体験を行う。修了試験に合格すると修了証が授与される。また、多国籍の研修生と生活をともにすることを通して異文化理解を図る。	1か月以上～2か月未満	その他＝語学研修	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	南九州大学人間発達学部子ども教育学科
501	四日市看護医療大学	私	海外研修	看護に関する教育、英語の講義、現地、看護学生との交流、市内の病院・老人施設等の訪問	1か月以上～6か月未満	その他＝研修	2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 専門的な知識	特になし	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている	事務局 庶務課
502	京都薬科大学	私	医大研修プログラム	学術交流包括協定締結先の医科大学の臨床講座(医局)および基礎研究室に所属し、研究活動を行う。医療の最前線である医局や基礎研究室での研究活動、病棟診療活動の見学やカンファレンス参加の体験を積み重ねることにより、医療活動および研究に必要な問題解決能力、ディスカッション力、コミュニケーション力、文献検索力、発表能力等を養成する。	3か月以上～6か月未満	その他＝学術交流包括協定締結先の医大での研修	5年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	このプログラムに参加して、どのような成果を挙げられたと思うか等について事後にアンケートを取っている。本プログラム導入以降、毎年満足度が高い結果となっており、この体験により、医療チームの一員として将来医療や研究に貢献したいとの意識を更に強く持つようになっている。また、アンケート結果は次年度の学生が応募する際の参考になっている。	医局および、学生が所属する本学の分野主任との連携	教務課
503	京都薬科大学	私	医大研修プログラム	学術交流包括協定締結先の医科大学の臨床講座(医局)および基礎研究室に所属し、研究活動を行う。医療の最前線である医局や基礎研究室での研究活動、病棟診療活動の見学やカンファレンス参加の体験を積み重ねることにより、医療活動および研究に必要な問題解決能力、ディスカッション力、コミュニケーション力、文献検索力、発表能力等を養成する。	3か月以上～6か月未満	その他＝医局での研修	5年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	このプログラムに参加して、どのような成果を挙げられたと思うか等について事後にアンケートを取っている。本プログラム導入以降、毎年満足度が高い結果となっており、この体験により、医療チームの一員として将来医療や研究に貢献したいとの意識を更に強く持つようになっている。また、アンケート結果は次年度の学生が応募する際の参考になっている。	現地派遣の前に研修等を行っている 本学の分野主任と研修先主任との連絡体制	教務課
504	浜松学院大学	私	DiCoResプログラム	1年次で附属のこども園・幼稚園へ出掛け、実際の現場を観察し、キャリア意識の形成を行う。2年次に乳児、幼児、小学生を対象とするイベントを学生自身が企画・実施する。運営力や他者との協調性を身に付け、子供たちの興味・関心を引き出す方法も学ぶ。3年次は、2年次の経験を発展させ、外部機関との調整力を身に付ける。現場が求める時代のニーズ・地域のニーズ把握する。4年次では、地域公開の成果発表会を実施し、プレゼンテーション能力を磨くとともに、地域に自分自身の学びの成果を還元します。	1か月以上～2か月未満	その他＝教育者養成	不問	認定される	100名以上200名未満	問題解決力 自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ	四年制大学を卒業する学生に求められている実践力を、本学が独自に定めた基準に照らしながら卒業前に専門の教員が判定する。来年度より卒業生を輩出する。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	名倉研究室・総務入試グループ

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
505	筑波大学	国	高度専門職業人の養成や専門教育機能の充実-多領域と芸術による創造的復興に向けた人材育成プログラム	本プログラムでは様々な演習や講義が用意されている。中心となる演習では、教員と学生がチームを作り被災地での活動を行う。具体的な例では、仮設住宅での祭りの企画・運営や、災害時避難マップの作成、地域コミュニティの強化、復興及び再生に向けた様々な取り組みを行っている。文化的記憶や地域の景観を大切に活動と語る。その他、映画の製作や作品と発表等を通じて、被災地の現状を広く社会へ伝える活動も行っている。また、本プログラムは専門的な知見を持つ様々な分野の学生と、やわらかな知性と感性を持つ芸術やデザインの学生の協働を促進させる目的を持っている。	6か月以上1年未満	その他＝復興支援プログラム	不問	認定される	定めていない	問題発見力 問題解決力 柔軟性	事後アンケートで満足度が高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	筑波大学 芸術系 創造的復興プロジェクト室
506	多摩美術大学	私	海外協働教育プロジェクト:Pacific Rim (パシフィック・リム)	様々なデザイン分野で学ぶ学生たちが交流を深めながら、新しいデザインの可能性を追求していく。国境・文化を超え、様々な角度から重ねた調査・分析、また互いの完成を刺激し合いながらデザイナーとして提案した成果を、全世界に発信していく。	3か月以上6か月未満	その他＝民間企業を含めた学生間の協働研究	3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題発見力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している	教務部国際交流室
507	宇都宮大学	国	工学系学生グローバル化推進事業「ものづくり」を通じた相互理解教育:韓国・台湾	東日本大震災をふまえ、災害時に身の回りにある物を使って発電や人々の役に立つものを作る。避難所での生活を想定し、人々を助けられる「ものづくり」や、避難に役立つ「ことづくり」を行う。日本からの派遣学生と、訪問国の大学生達が力を合わせて「ものづくり」をすることで、協力する姿勢や、相互理解を深める。また、「ものづくり」と並行して解説PPTを作成し、プレゼンテーション力も養う。	1か月以上2か月未満	その他＝ものづくり研修	不問	認定される	平成25年度より開始	問題解決力 柔軟性 状況把握力	実用新案 申請中(現在の申請数:1件)	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	工学研究科 機械 知能工学専攻
508	埼玉大学	国	特別教育プログラム「Global Youth」	それぞれが所属する学部の専門分野に加え、地球規模の問題や開発の課題について4年間で学ぶ本プログラムでは、全員が2年次夏より10ヶ月米国に留学し、当該分野の講義を履修するとともに、現地での学生や地域住民を対象とした様々な日本紹介プログラムや途上国からの留学生との交流活動に従事する。また、帰国後途上国の様々な公的、民間の機関においてインターンシップを実施することにより、偏らないグローバルな視点を身につける。	6か月以上1年未満	その他＝全学部から選抜した学生を対象とした地球規模の問題を4年間で学ぶ特別教育プログラムで留学(10ヶ月)と途上国インターンシップが必須	1、2、3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	英語力に関してはTOEIC卒業時800点以上目標	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際開発教育研究センター
509	東京大学	国	初年次長期自主活動プログラム (FLY Program)	・大学4年間で充実させるための目的意識を醸成することを目的とし、釜石市役所でのボランティア活動を通して被災地の復興状況を肌で感じ、復興に貢献(国内)・海外での長期滞在と様々な国籍を持つ人々との交流を通して、自分の価値観を相対化するとともに、これからの国際社会における文化交流の方法を模索(海外)	6か月以上1年未満	その他＝長期性・継続性・社会性・国際性・公共性・規範性の観点から推奨された自主的な活動	1年	認定されない	平成25年度より開始	問題発見力 主体性 学問への動機づけ	平成25年度から開始のため、具体的実績が無いが、学生は本プログラムを有効に活用し、のびのびと楽しんでいるようである	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教育・学生支援部 学生支援課体験活動推進チーム

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
510	東京大学	国	体験活動プログラム	オーストリア第2の都市グラーツ市でインターンシップ	1か月以上～2か月未満	その他＝ボランティア、国際交流、就労体験、農林水産業などに関する地域体験活動、フィールドワーク等、多岐にわたる	不問	認定されない	200名以上	社会体験を通じて視野を広げる	事後アンケートで満足度が高いものが多かった	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険費用及び必要な予防接種費用を大学が負担	教育・学生支援部 学生体験活動推進チーム

◎短期大学

511	岐阜市立女子短期大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	海外の協定大学で講義を受講し単位を取得する。	6か月以上～1年未満	留学	2年	認定される	1名以上10名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	岐阜市立女子短期大学 総務管理課
512	大分県立芸術文化短期大学	公	海外の協定校への派遣プログラム	協定校での語学実習以外にも、近郊へのバスツアーやホームステイ、環境保全活動への参加、スキー体験、現地学生との交流など、体験型のプログラムで構成されている。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務学生部
513	國學院大学北海道短期大学部	私	海外の協定校への派遣プログラム	短大部との教育連携協定校、米国スプリングフィールドの提携語学学校等を通して英語を学び、基礎力を固め、併せて現地での体験の中で英語の応用力・運用力を養成することを目的としている。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	平成26年度入学生より単位認定	平成25年度より開始	語学力 問題発見力 問題解決力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	事務管理グループ
514	北星学園大学短期大学部	私	海外事情	英文学科学生の希望者全員を対象に「海外研修(短期留学)」を実施している。学生は4か月間、アメリカ、カナダ、イギリス、ニュージーランド、マレーシアのいずれかの大学附属語学学校で学ぶ。学生は、留学するために必要な申し込みにかかる作業、書類の作成、現地情報収集、その他の必要な事項を自らが行うことができるように事前指導される。また、現地での学習、ホームステイ、異文化体験を通じ語学力と総合的な国際交流の感覚を養うことができる。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2年	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生支援課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
515	北翔大学短期大学部	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校の科目等履修生として正規授業を受講しながら語学力を身に着ける。更に学内での課外活動及び地域でのボランティア活動等を通して、現地で人的交流や生活文化などを直接体験して異文化理解を深める。同様に、他国から来ている留学生との交流も体験しながら、国際的視野を広げる。	6か月以上1年未満	留学	不問	認定されない	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	エクステンションセンター
516	北海道武蔵女子短期大学	私	海外短期留学制度	英語の授業(コミュニケーション活動を中心としたもの)を受けるとともに、ホームステイや課外活動を通じてその国の文化への理解を深める。	3か月以上6か月未満	留学	1年	認定される	定めていない	語学力 交渉力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 授業料を一定額免除している	国際交流委員会
517	青森中央短期大学	私	上海大学 夏期中国語研修プログラム	中国語の学習や中国文化の研修を行う。	1か月以上2か月未満	留学	1、2、3年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流課
518	常磐短期大学	私	国際文化研修(イギリス)	イギリス南部、歴史あるチチェスターカレッジが開講する英語研修に参加。ヨーロッパ、アフリカ、中東などから集まる学生等とともに、総合的に英語力を身につける。また、現地でホームステイを通して、イギリスの家族や文化を実体験し、日本文化の紹介にも努める。研修最後にはロンドン市内およびロンドン郊外を訪れ、各自設定したテーマに基づき自由研究を行い、イギリスの社会を通して日本について学びなおす機会を得る。	1か月以上2か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している	国際交流語学学習センター
519	城西短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	基本的に英会話を中心とした語学研修をおこなう他に、現地企業見学でアメリカの企業現場を体験したり、現地の小・中学校で日本の文化を紹介したり、病院の薬剤部で医療・保健の環境や取り組みを見学したりします。また、ホームステイではホストファミリーとの触れ合いの中で生きた英語を学べるのはもちろんのこと、外国の生活スタイルや文化を理解することで幅広い視野を身につけることができます。	6か月以上1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	語学力の向上、国際感覚を身に付けた。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際教育センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
520	青山学院女子短期大学	私	春期語学研修	ホームステイをしながらアデレード大学付属語学学校に通うプログラム。学校だけではなくホストファミリーとのコミュニケーションで語学力だけでなく主体性や交渉力を磨きます。多国籍文化な環境の中で肌で感じる異文化交流を通し視野を広げる体験をします。	1か月以上～2か月未満	留学	1, 2, 3年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している	事務部教務課
521	共立女子短期大学	私	・海外の協定校への交換留学プログラム・夏期海外研修プログラム・海外の提携校への派遣留学プログラム	英語、フランス語、中国語などの語学学習。現地文化体験。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	50名以上100名未満	語学力 自己管理能力 主体性	英語圏の留学における語学力の向上、留学前、後のTOEICのスコアを比較、検証、1年間の留学では平均157点、最大で320点向上した。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流室
522	実践女子短期大学	私	海外留学・インターンシップ	オーストラリア・メルボルンの語学学校に5か月間留学する。語学(英語)を中心に学び、後半約2か月間、現地小学校等でインターンシップを実施する(日本語授業のサポート)プログラムとなっている。留学期間中、学生はホームステイをし、現地の生活や文化等に触れ様々な異文化体験をする。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	国際交流センター
523	昭和女子大学短期大学部	私	ボストンプログラム	1988年より豊かな語学力と国際的な教養を培い世界に通用する人材を育成する目的で昭和ボストンを開校した。ボストン校の授業はすべて現地のアメリカ人教員が担当し、少人数クラスの徹底した指導が行われる。また、授業科目の一つとしてキャンパス外においてボランティア活動に参加したり、歴史や文学の名所へのフィールドトリップを行いアメリカの文化を実際に目で見て学んだりするなど、豊かな生活体験がプログラムに盛り込まれているのが特長である。	1年以上～2年未満	留学	不問	認定される	200名以上	語学力 チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	語学力(TOEIC等)の向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 指定した保険加入の義務付け	コミュニティサービスラーニングセンター
524	日本大学短期大学部	私	オーストラリア・スプリングスクール	英語を使って、異文化体験をします。具体的には、王立子供病院での、1日ボランティア体験	1か月以上～2か月未満	留学	1年	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 学問への動機づけ	満足度が高かった。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している 本学卒業生の協力を得ている。	本部学務部国際交流室

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
525	カリタス女子短期大学	私	短期・長期海外派遣奨学生留学、海外体験留学	学習している語学を海外でより一層勉強しながら異文化を他学生やホームステイ先などを通して体験する。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	TOEICの向上	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている	留学委員会
526	湘北短期大学	私	3ヶ月留学	英語研修、オーストラリア体験、ボランティア演習(老人ホーム、小学校等を訪問して日本文化の紹介)、ホームステイ等	2か月以上3か月未満	留学	1年	認定される	定めていない	語学力 主体性 コミュニケーション力	TOEICの点数が留学前と後では平均170点アップ	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	グローバルコミュニケーションセンター
527	新潟青陵大学短期大学部	私	人間総合学科短期留学	留学先のコミュニティ・カレッジに併設される英語課程に在籍し、アカデミックな英語力を養うための集中授業を受ける傍ら、同カレッジの学生の一員として、キャンパスで催されるいろいろな行事に参加し、他学生や教職員、現地の人々との交流を図ります。他国からの留学生も多く、共に学生生活を送ることで、世界について学び、国際理解を深めます。また学生はホームステイをすることで、英語をより多く使う環境に身を置いた上で、一般家庭での異文化コミュニケーションを体験します。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	TOEICでの英語力測定	現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学務課
528	清泉女学院短期大学	私	漢陽女子大学 Semester 留学制度	韓国ソウルの漢陽女子大学と姉妹校提携を結び、半年、または1年間、毎年本学から数名が留学へ行っている。国際語学センターへ所属し、基礎的な韓国語を勉強しながら、大学でも文化体験の授業に参加している。学生は留学先では生活も含めて自分で主体的に行動することが求められ、主体性、自己管理能力等が養われる。語学力を含めて帰国後はかなりの成長がみられる。	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	留学期間中の本学授業料等の半額を免除する。	学生支援課
529	中日本自動車短期大学	私	海外協定校への派遣プログラム	2月初旬から3月初旬までの4週間、提携校イタリア国立フェラーリ専門学校があるイタリアのマラネロ市に短期留学を行いフェラーリ本社工場や車体専門工場、製造実習や整備業務を体験し、フェラーリ車の基本技術を修得する。平成24年度の内容は、フェラーリ専門の修理工場で、社員と連携しながらフェラーリの修理全般を行った。研修の全日程に、本学が委嘱した専属の通訳が同行し、提携校の紹介によるホームステイも行いながら、イタリアの文化について修得する。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	本科生のみ認定される	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 資金の貸与制度を設けている	事務局

プログラム番号	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力に身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
530	静岡英和学院大学短期大学部	私	オーストラリア留学プログラム	初めに英語習熟度別の語学集中講座を10週間受講し、その後、現地企業・組織でインターンシップを2週間経験する。最後に現地の自然・文化に対する理解を深めるためのフィールド研修を行う。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流委員会
531	至学館大学短期大学部	私	海外への姉妹提携校への留学制度	なし。	6か月以上～1年未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力	効果測定の方法が定まっていない	一部姉妹提携校で寮費・授業料を免除	経営管理局 教務課
532	名古屋短期大学	私	オーストラリアにおける保育実習とオーストラリアの保育士資格の取得プログラム	オーストラリアに9か月間留学し、当初3か月はホームステイをしながら語学研修を受ける。一定の語学力に到達した者は、オーストラリアの保育士資格取得コースに入学して、6か月間でオーストラリアの保育士資格(Certificate III)を取得する。毎週膨大な英文のレポートを執筆するとともに、現地の保育園で50日間の保育実習を体験する。	6か月以上～1年未満	留学	3年	プログラムの一部が単位認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	(1)オーストラリアの保育士資格を全員が取得 (2)英語力の向上 試験で測定 (3)海外の保育園への就職者、英語を使う日本の幼稚園への就職者が増えている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	名古屋短期大学専攻科保育専攻
533	名古屋短期大学	私	英語留学実習	ESLのレッスン、ホームステイ、その他の課外活動	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	10名以上50名未満	語学力 問題解決力 自己管理能力	参加学生のTOEICの平均点が実施後、169.2点上昇した。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	英語コミュニケーション学科
534	大谷大学短期大学部	私	大谷大学短期大学部留学制度	学生は、学術交流協定校をはじめ、高等教育機関の正規課程又は語学プログラムへ6か月間の留学ができる。留学先で取得した単位の認定も受けことができ、また、留学中も本学の在学期間とみなされ2年間で卒業が可能である。	3か月以上～6か月未満	留学	1、2年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 保険を紹介している 協定により授業料免除を実施(交換留学)。 助成金(給付)を設けている(交換留学除く)。	企画・入試部企画課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
535	京都外国語短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	留学先大学付属の語学学校での授業科目の履修	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	1名以上10名未満	語学力 問題解決力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	国際交流部
536	京都嵯峨芸術大学短期大学部	私	海外美術演習	海外の提携校において、版画、デザイン等の実習を行なう。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務課
537	大阪音楽大学短期大学部	私	海外の協定校への派遣プログラム	本学の協定校への派遣プログラムは、音楽の専門性を深めることを趣旨としており、学生は各提携校において、著名な教授陣からの音楽指導、学生同士でのアンサンブル等の実技・演習を中心に学ぶ。その中で、本学教員との実技指導の相違を意識しつつ専門性を深め、留学先での学生との演奏交流を通して音楽的視野を広げている。また、様々な芸術体験の他に、博物館や史跡等の見学を通じて海外の文化に関する理解を深めている。	2か月以上～3か月未満	留学	2年	留学先での学修内容による	1名以上10名未満	語学力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	学務事務部門門学生生活担当
538	大阪学院短期大学	私	海外語学研修	このプログラムは、本学の学生を対象にした特別な英語プログラムで、英語初級者向けである。参加学生は、4週間に亘り、月曜日から金曜日まで毎日4時間、英語を集中的に学ぶ。授業以外では、既存のプログラムで学ぶ他国からの留学生とのBBQ/パーティーや、2泊3日のグレート・ケツベル島への旅行も体験する。また、2人1組でホームステイファミリー宅に滞在し、現地の生活を体験すると同時に、生きた英語を学ぶことができる。学生は日本を離れて生活することで、語学力の向上のみならず、主体性や積極性が培われ、わずか1ヶ月の経験ではあるが、大きな自信をつけて帰国し、この研修が次のステップにつながっている。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	10名以上50名未満	語学力 主体性 海外への興味	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	国際センター
539	大阪キリスト教短期大学	私	クロッシングボーダー・プログラム	米国姉妹大学付属英語学校(条件を満たした場合は同大学正規科目)修学。留学期間中大学関係者家庭ホームステイ、及び大学学生寮で生活する。	1年以上～2年未満	留学	不問(2年)	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 主体性	TOEIC得点上昇。事後アンケートで満足度が高かった。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 保険を紹介している 海外協定校のスタッフが支援。海外協定校が一部費用を負担。本学が学生を選抜して一部費用を負担。	国際教育センター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
540	大阪女学院短期大学	私	海外協定校へのセメスタ留学	留学先の大学で一般の現地学生との交流を図りながら英語で大学の授業を受講出来る。また、現地の言語も合わせて学習できる。	3か月以上～6か月未満	留学	3、4年	認定される	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識	TOEIC値の上昇	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流センター
541	関西外国語大学短期大学部	私	海外の提携校への派遣プログラム	主として提携先大学の英語集中プログラムを履修する	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定されない	定めていない	語学力 問題解決力 主体性	TOEFL、TOEIC等の成績向上	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	教務部
542	常磐会短期大学	私	海外幼児教育研修(オーストラリア)	語学研修(英語)、保育関連専門知識を含んだ講義、幼稚園等の保育施設への見学実習	1か月以上～2か月未満	留学	1年	認定されない	10名以上50名未満	語学力 専門的な知識 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教学課
543	神戸女子短期大学	私	ハワイ大学語学研修	語学の研修と異文化交流	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	学生課
544	神戸山手短期大学	私	カナダ留学制度	留学生として語学科目を受講しつつ、ホームステイや現地交流プログラムに参加し、異文化体験と語学力の向上が可能	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	キャリア・コミュニケーション学科

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
545	武庫川女子大学短期大学部	私	アメリカ分校への派遣プログラム	ホームステイや地域での文化的行事への参加を通じて異文化理解を深める。	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	100名以上200名未満	語学力 チームワーク、リーダーシップ	TOEICスコアが平均125点アップしている。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 大学が一部費用を負担している	文学部事務室
546	中国短期大学	私	Semester-留学	週5日一日約5時間の集中的な英語の授業を受けます。授業後のオプションで所在地近辺の探索するフィールドトリップに参加する。週末は滞在先のホストファミリーとアクティビティやホームページなどをして楽しく過ごします。	3か月以上～6か月未満	留学	2年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 主体性	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	英語コミュニケーション学科
547	安田女子短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	複数プログラムのうち昨年度参加者がいたものを回答。ホームステイをしながら提携先大学でビジネスを主体とした語学研修をし現地学生との異文化交流や、キャリアウーマンとの交流会、そして職場体験、企業・行政訪問、地域ボランティア活動等、多方面にわたる体験型学習を通し多様な人達と関わりを持つ。毎週末の内どちらか1日はフィールドトリップが計画され大自然の中でのスポーツ体験や農場体験、また観光地を訪れる等して有意義に過ごす。日本でも留学の事前・事後を含め計1年をかけて留学の為に必須科目や国際企業との実演型ビジネスプロジェクトを通して語学力向上以外にもグローバルビジネスにおける社会性を促す内容となっている。	1か月以上～2か月未満	留学	1年	認定される	100名以上200名未満	語学力 主体性 柔軟性	TOEICの得点の上昇。事後アンケートの自由記述コメントから読みとれる人間的成長。	現地派遣の前に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している	教務部教務課
548	宇部フロンティア大学短期大学部	私	交換留学	語学研修をうけたのち、現地の学生と一緒に講義を受講する。寮に入るので、寮生活を体験できる。また、講義時間以外に観光を体験できる。	3か月以上～6か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 柔軟性	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	総務課 学生支援課
549	四国大学短期大学部	私	海外の協定校への派遣プログラム	協定校にて語学研修プログラムを受講。語学研修に加えて小旅行等の様々な実地研修が組み込まれている。プログラム終了後は修了証書が授与され、帰国後本学指定科目への単位互換が可能である。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 主体性 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 資金の貸与制度を設けている 保険を紹介している	社会連携・国際課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
550	九州女子短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	本プログラムは、カナダ・オーストラリア等の海外の協定校で、現地での語学・文化研修に参加するものである。本プログラムには、語学修得のための座学のみならず、社会体験活動も多く盛り込まれている。例えば、週末旅行や文化施設見学を通して見聞を広め、知識の向上を図ったり、スポーツ活動を通じて現地の学生等と交流を深めたりする。また、ホームステイをして、ファミリーの一員として現地の家族の中で一緒に生活することによって、日常生活の中で生きた語学力を身につけながら、生活習慣や文化の違い、ものの考え方の違いを実体験し、異文化理解を深められる。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	語学力 問題解決力 自己管理能力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	国際交流・留学生支援室
551	東海大学福岡短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	韓国の大学との1セメスター(約4ヶ月)の交換留学における、語学力の向上と異文化体験。	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 異文化理解	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	事務室
552	佐賀女子短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	6ヶ月から1年間の留学を通じて、派遣大学での語学学習、文化体験、インターンシップも体験できる。	6か月以上～1年未満	留学	1、2年	認定される	1名以上10名未満	語学力 自己管理能力 学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 協定に基づき相互大学負担	国際交流センター
553	長崎短期大学	私	海外の協定校への派遣プログラム	母国を離れて多様な価値観を持つ他国からの留学生と接することにより、学生は異文化ストレスを克服する自己管理能力を身につける。違った価値観を理解し、尊重することで自国文化を再認識し、学習意欲がさらに喚起される。新たな体験の積み重ねにより、語学力が向上し、専門分野に関わる能力も向上することになる。	1か月以上～2か月未満	留学	1、2年	認定される	10名以上50名未満	語学力 自己管理能力 専門的な知識	海外協定校へ派遣する学生については事前オリエンテーションと事後プレゼンテーションを義務付けており異文化理解が深まったことが確認されている。語学力については渡航前と渡航後ではTOEICのスコアが約150点上昇している。	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 保険を紹介している	長崎短期大学事務局長総務係
554	南九州短期大学	私	単位認定留学	単位認定留学に参加する学生は1年次後期の半年間、アメリカ・ワシントン州にあるエドモンス・コミュニティカレッジに留学する。現地では秋学期と冬学期の2学期間、ESLと呼ばれる英語集中研修プログラムを週5日受講する。ESLの授業では言語知識、コミュニケーション能力だけでなく、世界各地から集まる多様な言語文化を持つ学習者との関わりの中で、異文化間能力の基礎を養うことができる。受講する授業によっては、幼稚園、小学校、老人ホームなどでボランティア活動を毎週行う。また、アメリカ人家庭に滞在し、日本とは異なる生活習慣、行事などを体験する。留学期間中は異文化交流の喜びや葛藤を数多く経験し、人間として大きく成長できる。	3か月以上～6か月未満	留学	1年	認定される	定めていない	語学力 自己管理能力 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	南九州学園学務部 国際交流課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題発見力	チームワーク、リーダーシップ	専門的な知識			
555	東京福祉大学短期大学部	私	アメリカ夏期短期研修(ニューヨーク・ホストン4週間)	フォーダム大学やハーバード大学の学生寮に滞在し、アメリカの進んだ社会福祉、心理学や保育、医療、教育に関する特別講義を受講。現地の多文化の福祉、保育の施設・機関、学校等を見学し、ボランティアの体験ができるプログラムを用意している。	1か月以上～2か月未満	留学	不問	認定される	定めていない	問題発見力	チームワーク、リーダーシップ	専門的な知識	単位認定される講義が、アメリカの文化と言語 I・II、多文化コミュニケーション等あり、GPAの向上につながる。	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している 優秀な学生に参加費用の一部を奨学金として免状	教務課
556	日本大学短期大学部	私	ヨーロッパ研修旅行(芸術学部)	ヨーロッパ諸国の文化に直接触れるとともに、世界的に有名な絵画・彫刻・建築物等を見学する。	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定されない	10名以上50名未満	主体性	専門的な知識	学問への動機づけ	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている	日本大学芸術学部学生課
557	東海大学医療技術短期大学	私	海外研修航海	全行程でグループ活動を行うので、集団の中でのリーダーシップ、メンバーシップが学べる	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定されない	50名以上100名未満	チームワーク、リーダーシップ	主体性	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	専門の支援機関・専門スタッフを設置している 現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	海外研修航海実行委員会
558	京都外国語短期大学	私	TECSOL & J-SHINE(小学校英語指導者資格)	小学校英語指導者としての必要な知識と実践的スキルの修得	1か月以上～2か月未満	フィールドワーク	不問	認定される	定めていない	語学力	専門的な知識		効果測定の方法が定まっていない	企業、NPO等の外部支援機関に委託している	教務部
559	大阪千代田短期大学	私	シンガポールこのはな幼稚園インターンシップ	日本、中国、カナダ等、多文化での言葉や生活習慣が混在する中での教育を経験する。受入幼稚園では、「多文化多言語化してゆく世界に対応できる子どもを育てよう」を教育目標とし、知・情・体のバランスのとれた子どもを育てるため「言葉と動きとリズム」を実践テーマとして言語(特にイマージョン教育)・体育・音楽の活動に力を入れている。そのため参加者の事前教育では、言語、生活習慣、多面的な保育に対応できるプログラムで取り組む。日本人幼児が多く在園しており、日本の行事も経験しながら海外での保育を学ぶ。このように異文化の教育、現場の学びを得られ、参加者が大いに成長する機会として非常に意義深いプログラムである。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1年	認定されない	1名以上10名未満	専門的な知識	学問への動機づけ		効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	学生課

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)	効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
560	日本大学短期大学部	私	ティーチング・インターンシップ・プログラム	海外の小・中学校を訪問し、現地の生徒達に日本語や日本文化を英語で授業する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2、3、4年	認定される	1名以上10名未満	語学力 柔軟性 状況把握力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 企業、NPO等の外部支援機関に委託している 奨学金を給付している。	日本大学国際関係学部教務課国際教育センター
561	國學院大学北海道短期大学部	私	インターンシップ	履歴書や身上書の書き方の実践的な作業等を事前演習で行い、インターンシップでは、身だしなみ・言葉使い・コミュニケーション・マナーなど、自身の就職活動を視野に希望職種・職種など、自分自身で開拓したインターンシップ先等の仕事を通して、自分の適性をはかり、社会へ出るための基礎と実社会の”仕事とは”を在学中に体験する。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1年	認定される	定めていない	問題解決力 チームワーク、リーダーシップ	インターンシップ先からの評価表をもとに、職業の適正など就職指導に活用し効果を上げている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	事務管理センター
562	北海道自動車短期大学	私	自動車実務実験実習	一級整備士に要求される技術コンサルタントとしての役割を担うための実務経験および企業での人間関係を学ぶため、企業指導のもと、工場内作業を行う。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	2年	認定される	定めていない	チームワーク、リーダーシップ 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	学生支援課
563	高崎商科大学短期大学部	私	長期インターンシップ	ホテルや結婚式場等において就業体験を行う。実際にシフトに組み込まれ、通常の従業員と同じ様に勤務を行うことになる。体験は実習先によって異なるが、主に接客等のサービス業務が主となる。学生はその日に体験した業務内容や所感をインターンシップ手帳に記し、最終日には実習先からの評価もある。実習後は体験内容の発表会を実施している。	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	1年	認定される	定めていない	自己管理能力 チームワーク、リーダーシップ 主体性	実習前と実習後に学生に社会人基礎力に関する項目の自己評価を行わせている。	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	教務課
564	京都外国語短期大学	私	バイトインターンシップ	一定の職業教育・訓練を受けた学生が、観光ビジネスの分野で必要とされる職業の知識と技能を実際に応用するため、協定を締結した京都4社と大阪1社のホテルの宿泊部門(ハウスキーピングやルームサービス対応など)や料飲部門(宴会・レストランでの業務)、フロント部門(ベルアテンドを含むロビーでの接客業務など)などで実習を行い、ホスピタリティマインドを磨く。2回のオリエンテーションと2日の事前学習を受け事前レポートを提出したのち、本人の希望を踏まえ企業と大学が決めたホテルで2～3ヵ月実習を受け、一日の事後学習を踏まえ最終レポートを提出する。	2か月以上～3か月未満	インターンシップ	1年	認定される	1名以上10名未満	自己管理能力 主体性 専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている	キャリアセンター

プログラムナンバー	大学名	学校区分	プログラム名称	プログラム内容	派遣日数	プログラムの種類	対象学年	単位認定されるか	プログラムの定員	どのような力が身に付くか(3つまで)			効果～プログラムを実施した結果、数値等で客観的に示せる効果の有無	参加学生のための支援体制(人的サービス支援、経済的支援等)	問い合わせ先
										問題解決力	主体性	忍耐力			
565	関西外国語大学短期大学部	私	インターンシップ	民間企業でのインターンシップ	1か月以上～2か月未満	インターンシップ	不問	認定される	定めていない	問題解決力	主体性	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務部
566	関西外国語大学短期大学部	私	ボランティア実習	ボランティア団体や民間の特別養護老人ホーム等での活動	1か月以上～2か月未満	ボランティア	不問	認定される	定めていない	問題解決力	主体性	忍耐力	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 保険を紹介している	教務部
567	神戸山手短期大学	私	KOBEパンのまち散歩	商品開発、広報、販売など	6か月以上～1年未満	企業等との共同研究	2年	活動のボリュームによって単位認定素材となりうる場合もある	定めていない	交渉力	問題発見力	チームワーク、リーダーシップ	地方自治体のアンケートで満足度が高かった	現地派遣の前に研修等を行っている 大学が一部費用を負担している	キャリア・コミュニケーション学科
568	神戸山手短期大学	私	The Wedding Presentation	商品開発、一般向けプレゼンテーション	2か月以上～3か月未満	企業等との共同研究	2年	ゼミ活動の中の一つとして単位認定素材となる。	1名以上10名未満	交渉力	柔軟性	専門的な知識	効果測定の方法が定まっていない	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 大学が全額費用負担をしている	キャリア・コミュニケーション学科
569	鹿児島純心女子短期大学	私	英語科海外研修	ホームステイして、ホームステイ先の学生と一緒に地域の学校に通い、通常の授業を受けたり、日本語クラスでボランティアを行う。	1か月以上～2か月未満	その他＝ホームステイして地元の学校通う	1年	認定される	定めていない	語学力	自己管理能力	主体性	TOEICの成績がアップ	現地派遣の前に研修等を行っている 現地派遣の後に研修等を行っている 教育ローンの紹介等、外部金融機関の紹介を行っている 保険を紹介している 鹿児島純心女子短期大学教務課	